

市内中小企業の景況について
(第 116 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 27 年 9 月
- ・ 調査対象期間 平成 27 年 7 月～9 月期 (3 箇月実績) / 平成 27 年 10～12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 368 社, 非製造業 432 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。481 社が回答(回収率 60.1%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	230 (47.8)	非製造業	251 (52.2)
西 陣	25 (5.2)	卸 売	65 (13.5)
染 色	29 (6.0)	小 売	52 (10.8)
印 刷	28 (5.8)	情 報 通 信	22 (4.6)
窯 業	15 (3.1)	飲 食 ・ 宿 泊	27 (5.6)
化 学	22 (4.6)	サ ー ビ ス	47 (9.8)
金 属	22 (4.6)	建 設	38 (7.9)
機 械	31 (6.4)	不 明	0 (0.0)
その他の製造	58 (12.1)	合 計	481 (100.0)
※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)			48 (10.0)

- =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき、業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については、インターネットホームページでも御覧いただけます。

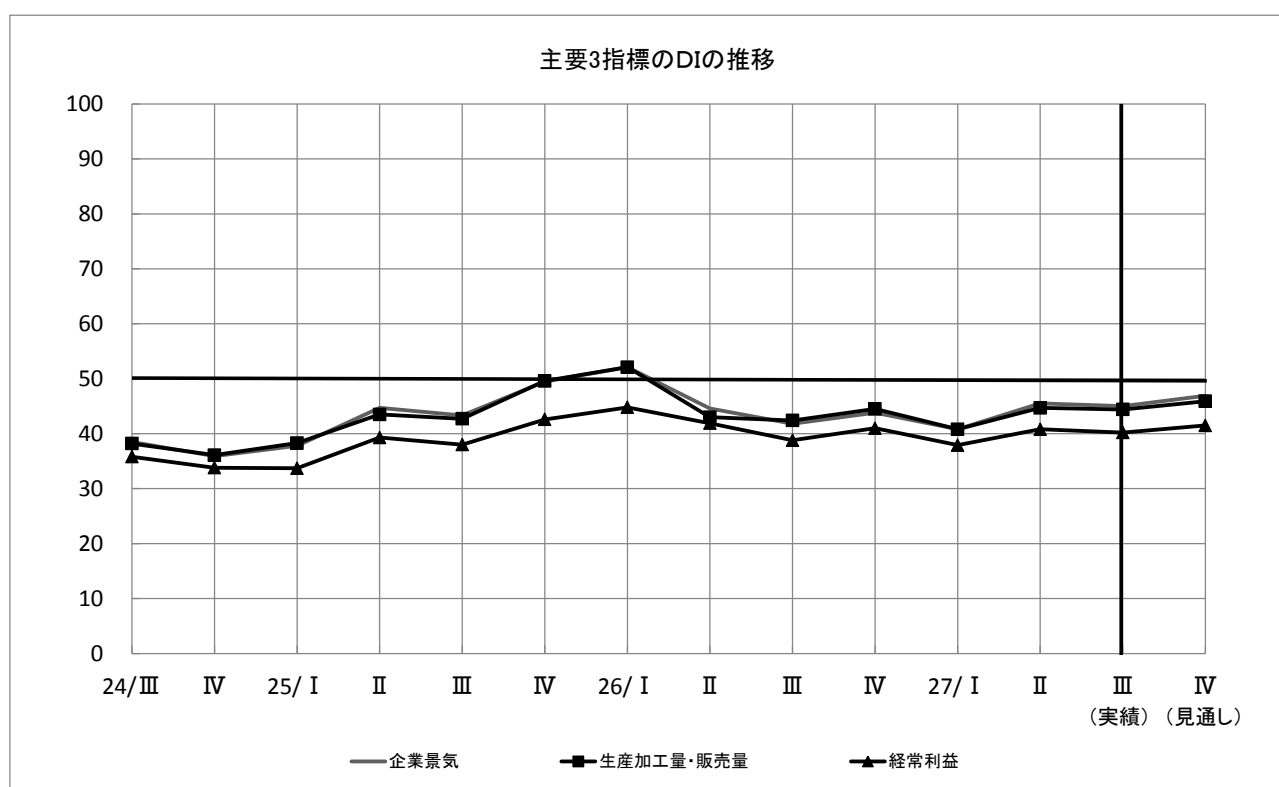
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で0.5ポイント低下した。製造業で0.4ポイント低下、非製造業では0.6ポイント低下。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で1.9ポイント上昇。製造業では2.5ポイント上昇、非製造業では1.1ポイント上昇。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (4-6月)		今期 (7-9月)		来期 (10-12月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	45.5	△4.7	45.0	▼0.5	46.9	△1.9
	製造業	43.4	△4.4	43.0	▼0.4	45.5	△2.5
	非製造業	47.6	△5.2	47.0	▼0.6	48.1	△1.1
生産加工量・販売量DI	全産業	44.7	△3.9	44.4	▼0.3	45.9	△1.5
	製造業	43.2	△2.9	42.9	▼0.3	44.8	△1.9
	非製造業	46.4	△5.1	45.9	▼0.5	47.0	△1.1
経常利益DI	全産業	40.8	△2.9	40.2	▼0.6	41.5	△1.3
	製造業	38.5	△3.6	39.6	△1.1	41.3	△1.7
	非製造業	43.1	△2.2	40.8	▼2.3	41.7	△0.9

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	43.0	▼0.4	45.5	△2.5	42.9	▼0.3	44.8	△1.9	39.6	△1.1	41.3	△1.7
西陣	27.1	0.0	34.8	△7.7	29.2	0.0	37.0	△7.8	20.8	△2.0	32.6	△11.8
染色	27.6	△0.2	37.9	△10.3	25.9	▼1.5	34.5	△8.6	22.4	▼1.8	25.9	△3.5
印刷	40.7	△2.7	44.4	△3.7	37.5	△1.5	44.6	△7.1	41.1	△1.1	42.9	△1.8
窯業	40.0	0.0	33.3	▼6.7	42.9	△11.6	28.6	▼14.3	40.0	△2.5	30.0	▼10.0
化学	45.5	△4.6	47.7	△2.2	45.2	△2.0	42.9	▼2.3	47.6	△11.2	45.2	▼2.4
金属	54.5	△6.6	52.3	▼2.2	56.8	△8.9	52.3	▼4.5	45.5	△6.4	50.0	△4.5
機械	53.3	▼13.9	51.7	▼1.6	53.3	▼15.5	53.3	0.0	51.7	▼12.4	48.3	▼3.4
その他の製造	48.3	△0.7	50.9	△2.6	48.3	△0.7	50.9	△2.6	44.0	△3.7	46.4	△2.4
非製造業	47.0	▼0.6	48.1	△1.1	45.9	▼0.5	47.0	△1.1	40.8	▼2.3	41.7	△0.9
卸売	39.8	▼1.0	43.4	△3.6	40.8	▼1.9	43.1	△2.3	33.1	▼3.4	36.7	△3.6
小売	46.1	▼1.6	49.0	△2.9	42.7	▼2.4	47.9	△5.2	35.7	▼9.5	41.7	△6.0
情報通信	54.5	▼17.2	55.0	△0.5	55.6	▼12.6	58.8	△3.2	55.0	▼14.6	52.6	▼2.4
飲食・宿泊	66.7	△21.5	55.6	▼11.1	63.5	△15.3	55.8	▼7.7	54.0	△9.0	46.0	▼8.0
サービス	47.8	▼9.5	50.0	△2.2	47.1	▼7.4	44.1	▼3.0	43.9	▼2.4	41.5	▼2.4
建設	40.5	△7.6	43.2	△2.7	40.0	△9.1	42.9	△2.9	40.3	△10.9	41.7	△1.4
観光関連企業	68.1	△13.4	56.4	▼11.7	65.2	△9.2	56.5	▼8.7	64.4	△13.4	54.4	▼10.0

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

<設備投資DI推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	24.5	▼2.9	22.0	▼2.5

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 平成27年7月～9月期

企業景気DIの今期実績は、全産業で0.5ポイント低下した。

製造業全体の企業景気DIは0.4ポイント低下した。「海外の設備投資が下降気配」（右京区／機械）などの要因により、機械が低下した。一方、「外国人観光客の増加」（中京区／印刷）、「新規顧客の増加」（伏見区／化学）、「自動車生産関連の受注が回復」（中京区／金属）などの要因により、染色、印刷、化学、金属、その他の製造の5業種が上昇した。西陣、窯業の2業種は前期と同水準であった。

非製造業全体の企業景気DIは0.6ポイント低下した。「販売量が減少し販売価格も安くなっている」（中京区／卸売）、「仕入れ価格や電気代などの上昇」（左京区／小売）、「国内景気の悪化」（中京区／情報通信）、「顧客の減少」（中京区／サービス）などの要因により、卸売、小売、情報通信、サービスの4業種が低下した。一方、「外国人観光客の増加」（北区／飲食・宿泊）、「企業設備投資の増加」（中京区／建設）などの要因により、飲食・宿泊、建設の2業種が上昇した。

観光関連については、前回調査より13.4ポイント上昇しており、引き続き、外国人観光客の増加が寄与しているものと見られる。

今回の調査では、製造業は8業種のうち5業種が前期比で上昇、2業種が同水準であったが、機械が13.9ポイント減と大きく低下し、製造業全体としては0.5ポイントの低下となった。非製造業は6業種のうち2業種が上昇、4業種が低下しており、飲食・宿泊が21.5ポイントの大幅な上昇をする一方、情報通信が17.2ポイント低下するなど、業種間の差が大きい結果となった。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中6業種であり、いずれも低下した業種は5業種である。

今期:主要3指標DIいずれも上昇した業種 14業種中6業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	40.7 (△ 2.7)	37.5 (△ 1.5)	41.1 (△ 1.1)
化学	45.5 (△ 4.6)	45.2 (△ 2.0)	47.6 (△ 11.2)
金属	54.5 (△ 6.6)	56.8 (△ 8.9)	45.5 (△ 6.4)
その他の製造	48.3 (△ 0.7)	48.3 (△ 0.7)	44.0 (△ 3.7)
飲食・宿泊	66.7 (△ 21.5)	63.5 (△ 15.3)	54.0 (△ 9.0)
建設	40.5 (△ 7.6)	40.0 (△ 9.1)	40.3 (△ 10.9)

今期:主要3指標DIいずれも低下した業種 14業種中5業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
機械	53.3 (▼ 13.9)	53.3 (▼ 15.5)	51.7 (▼ 12.4)
卸売	39.8 (▼ 1.0)	40.8 (▼ 1.9)	33.1 (▼ 3.4)
小売	46.1 (▼ 1.6)	42.7 (▼ 2.4)	35.7 (▼ 9.5)
情報通信	54.5 (▼ 17.2)	55.6 (▼ 12.6)	55.0 (▼ 14.6)
サービス	47.8 (▼ 9.5)	47.1 (▼ 7.4)	43.9 (▼ 2.4)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成27年10月～12月期

企業景気DIの来期見通しは、全産業で1.9ポイント上昇している。

製造業全体の企業景気DIは2.5ポイント上昇している。「販売先の経営堅調につき業績上昇」(西京区/印刷)、「自社開発商品が売上に寄与」(南区/化学)、「新規取引先の増加」(左京区/その他の製造)などの要因により、西陣、染色、印刷、化学、その他の製造の5業種が上昇している。一方で、「販売量の減少」(左京区/窯業)、「受注の減少」(伏見区/金属)、「為替、株価等の経済状況が不安定」(南区/機械)などの要因により、窯業、金属、機械の3業種が低下している。

非製造業全体の企業景気DIは1.1ポイント上昇している。「受注の増加」(山科区/卸売)、「京都市プレミアム券の効果」(下京区/小売)、「セキュリティソフトの需要増」(下京区/情報通信)、「企業設備投資の増加」(中京区/建設)などの要因により、卸売、小売、情報通信、サービス、建設の5業種が上昇している。一方、「原材料費の上昇」(東山区/飲食・宿泊)などの要因より、飲食・宿泊が低下している。

観光関連では、11.7ポイントの低下となっており、「仕入れ価格の上昇傾向」(印刷/南区)、「株価下落等による国内外の不安定要素」(中京区/小売)などの声も聞かれた。

国内景気は、このところ一部に弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いており、先行きも、雇用・所得環境の改善傾向が進む中で、緩やかに回復していくことが期待される。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、景気が下押しされるリスクや金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。

京都の中小企業においては、今期の企業景気DIが0.5ポイントとわずかながら低下したものの、先行きは多くの業種で上昇を予測し、全体としても改善が見込まれている。業種別に見ると、機械、情報通信のように今期の企業景気DIが大幅に低下したものの相対的に高い水準を推移する業種がある一方で、西陣、染色など厳しさが続く業種も存在する。

また、先行きについても、今期の景気DIは上昇した業種が来期は慎重な姿勢を示す一方で、今期の景気DIは低い値であった業種が来期は大きく上昇を見込んでいるなど、業種間で差が見られる。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中7業種であり、いずれも低下と予測している業種は2業種。

来期見通し:主要3指標いずれも上昇と予測した業種 14業種中7業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	34.8 (△ 7.7)	37.0 (△ 7.8)	32.6 (△ 11.8)
染色	37.9 (△ 10.3)	34.5 (△ 8.6)	25.9 (△ 3.5)
印刷	44.4 (△ 3.7)	44.6 (△ 7.1)	42.9 (△ 1.8)
その他の製造	50.9 (△ 2.6)	50.9 (△ 2.6)	46.4 (△ 2.4)
卸売	43.4 (△ 3.6)	43.1 (△ 2.3)	36.7 (△ 3.6)
小売	49.0 (△ 2.9)	47.9 (△ 5.2)	41.7 (△ 6.0)
建設	43.2 (△ 2.7)	42.9 (△ 2.9)	41.7 (△ 1.4)

来期見通し:主要3指標いずれも低下と予測した業種 14業種中2業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	33.3 (▼ 6.7)	28.6 (▼ 14.3)	30.0 (▼ 10.0)
飲食・宿泊	55.6 (▼ 11.1)	55.8 (▼ 7.7)	46.0 (▼ 8.0)

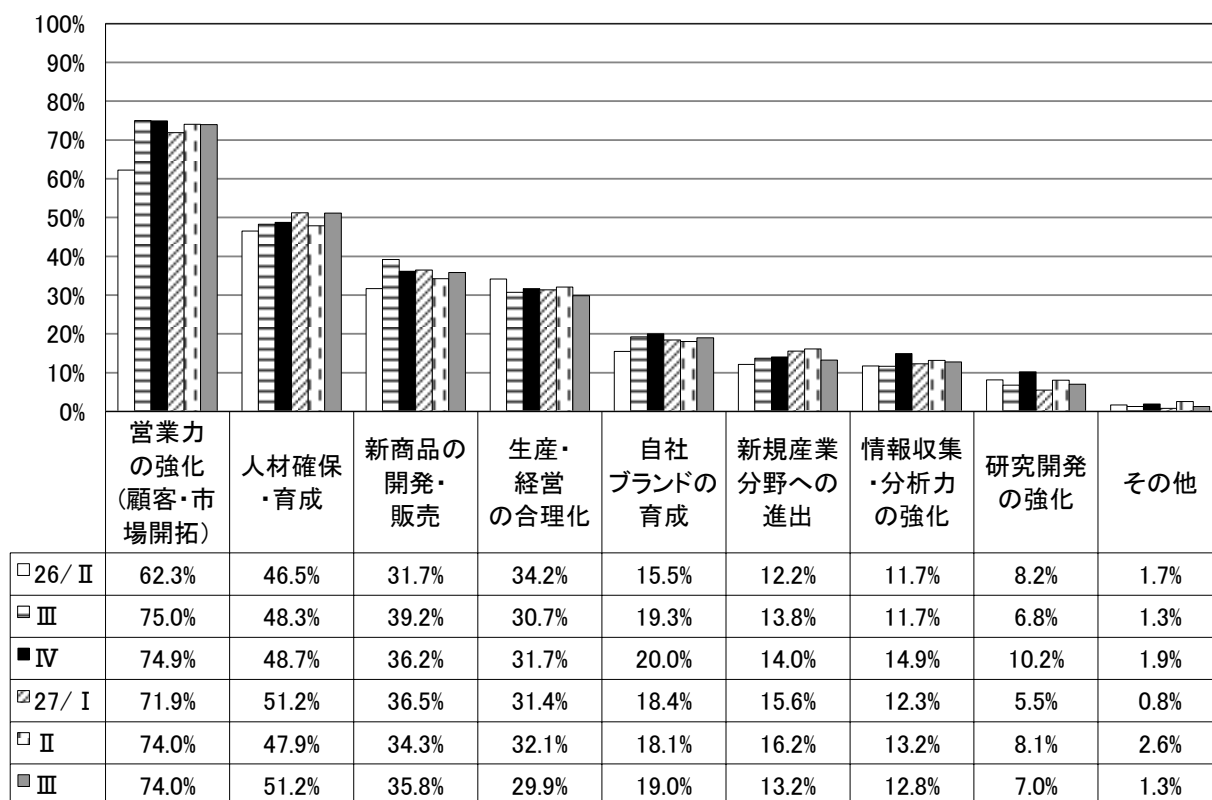
注:カッコ内は今期との差(来期マイナス今期、△は上昇を示す。)

2 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」を挙げる企業が74.0%で引き続きトップとなっている。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が74.0%を占め、引き続き、最も多くなっている。続いて、「人材確保・育成」が51.2%、以下「新商品の開発・販売」が35.8%、「生産・経営の合理化」が29.9%などとなっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目については順位の変動はない。今回の調査での伸びが大きかったのは、「人材確保・育成」が3.3ポイント増、続いて、「新商品の開発・販売」が1.5ポイント増、「自社ブランドの育成」が0.9ポイント増となっている。一方、「新規産業分野への進出」が3.0ポイント減と最も減少しており、続いて、「生産・経営の合理化」2.2ポイント減となっている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

3 経営上の不安要素について

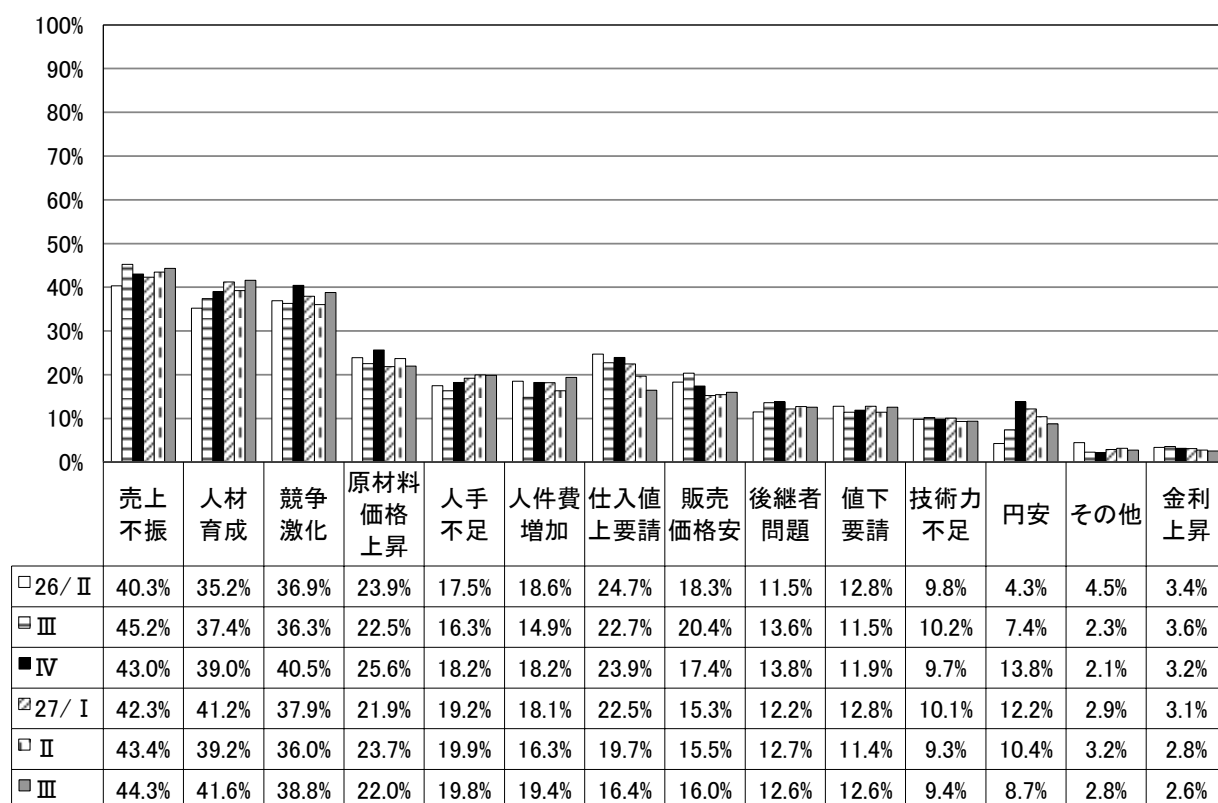
●「売上不振」を挙げる企業が44.3%で依然トップ。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が44.3%を占め、以下「人材育成」が41.6%、「競争激化」が38.8%、「原材料価格上昇」が22.0%、「人手不足」が19.8%、「人件費増加」が19.4%と続いている。

前期と比較すると、回答数上位5項目に変動はないが、「人件費増加」が7位から6位と順位を上げている。上昇率が最も高いのも「人件費増加」で3.1ポイント増となっており、続いて、「競争激化」が2.8ポイント増、「人材育成」が2.4ポイント増となっている。

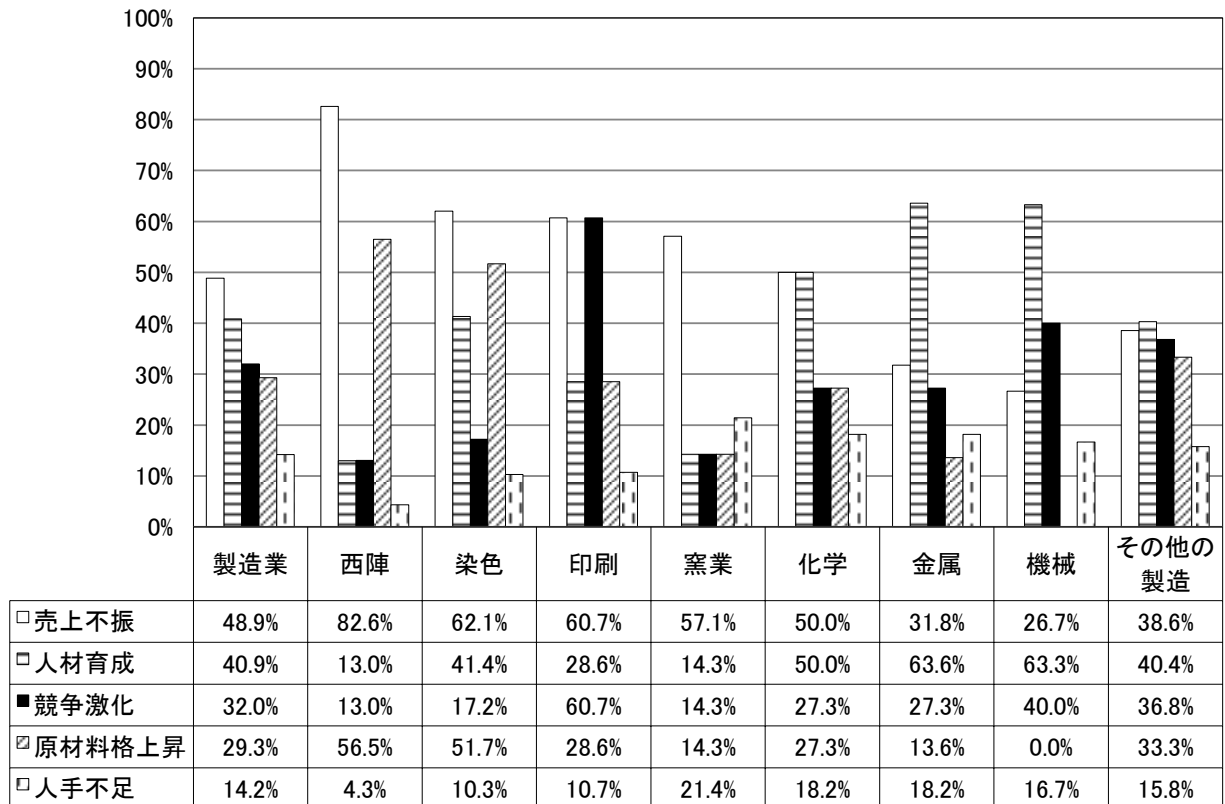
「売上不振」を挙げる企業が最も多かった業種は、製造業では西陣、染色、印刷、窯業、化学（「人材育成」を回答した企業と同数）の5業種、非製造業では卸売の1業種であった。「人材育成」を挙げる企業が最も多かったのは、製造業では化学、金属、機械、その他の製造の4業種、非製造業では情報通信、飲食・宿泊、建設（「競争激化」を回答した企業と同数）の3業種であった。

具体的には、「顧客からの発注状況が良くない」（伏見区／染色）、「営業力の低下」（南区／印刷）、「売上対前期比減少」（山科区／卸売）、などの意見が聞かれた。

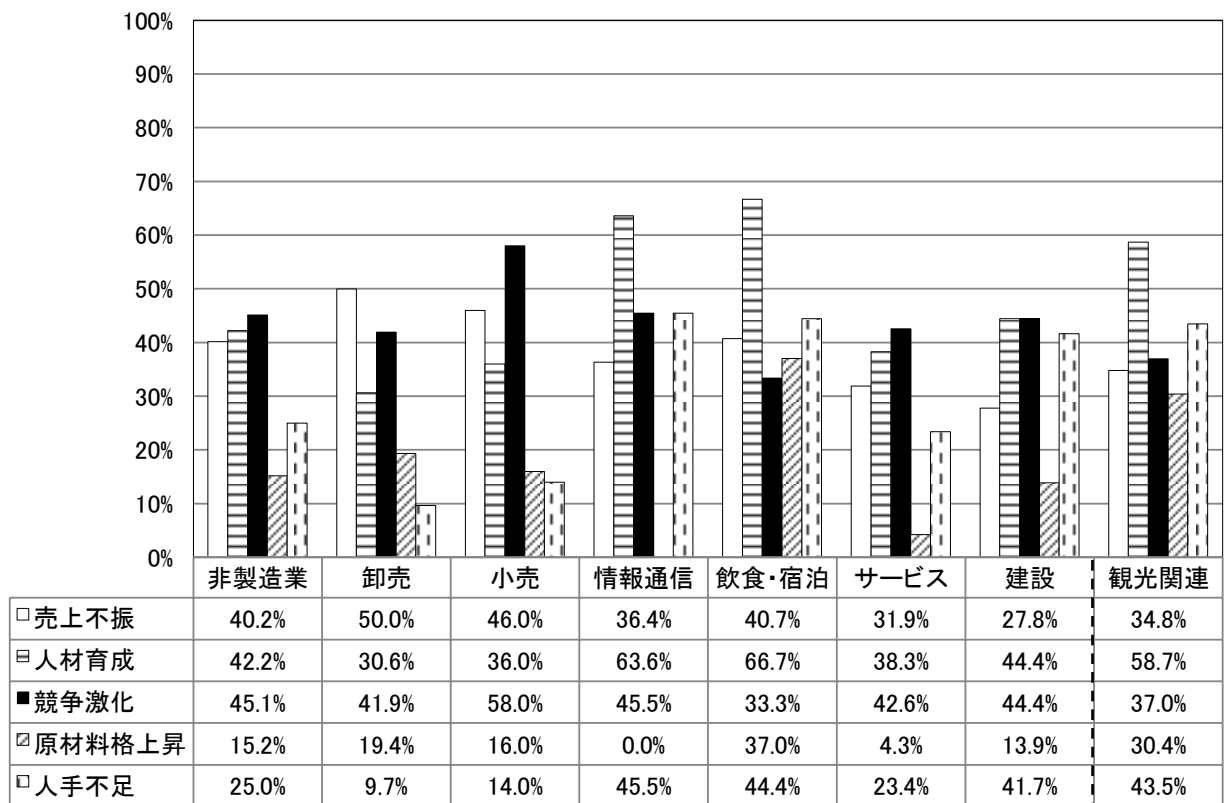


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

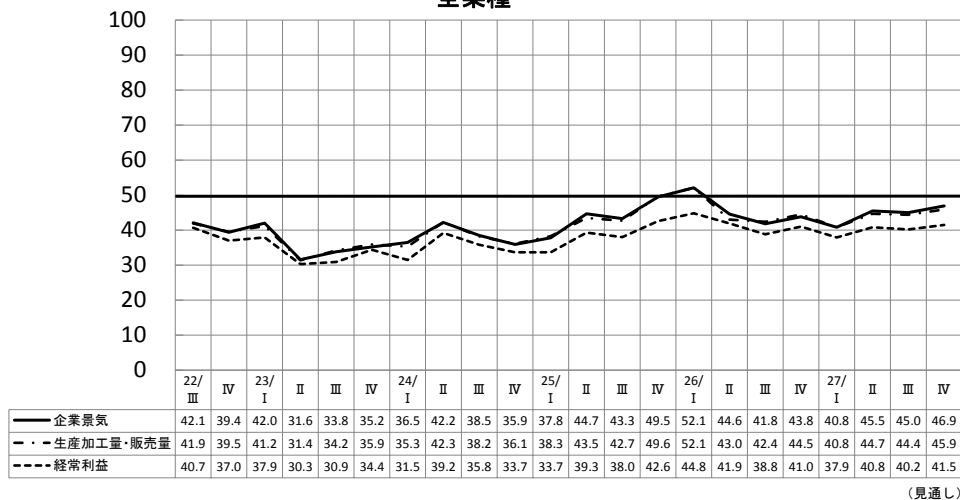


・経営上の不安要素・非製造業主要回答

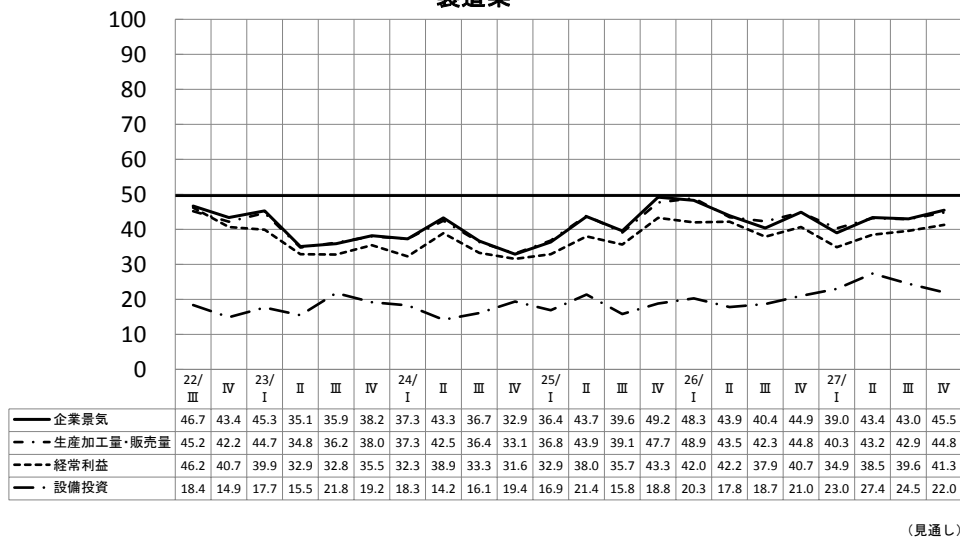


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

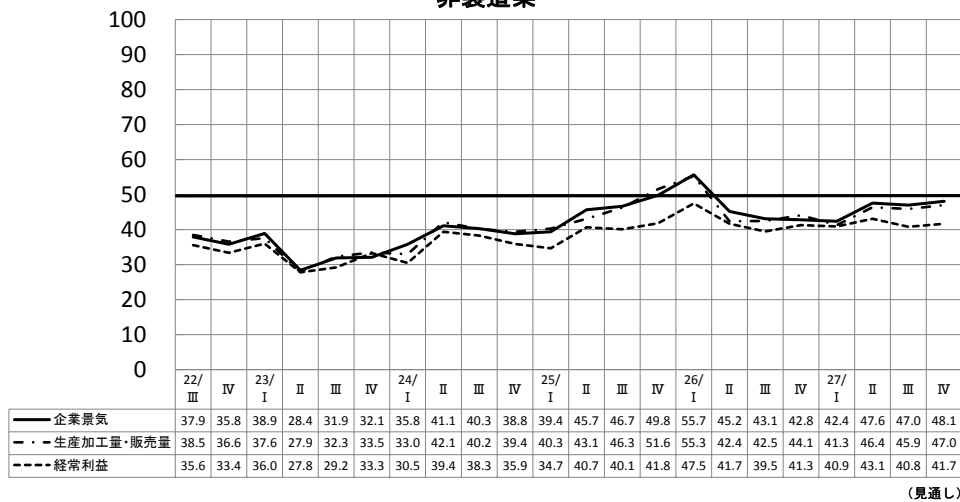
全業種



製造業

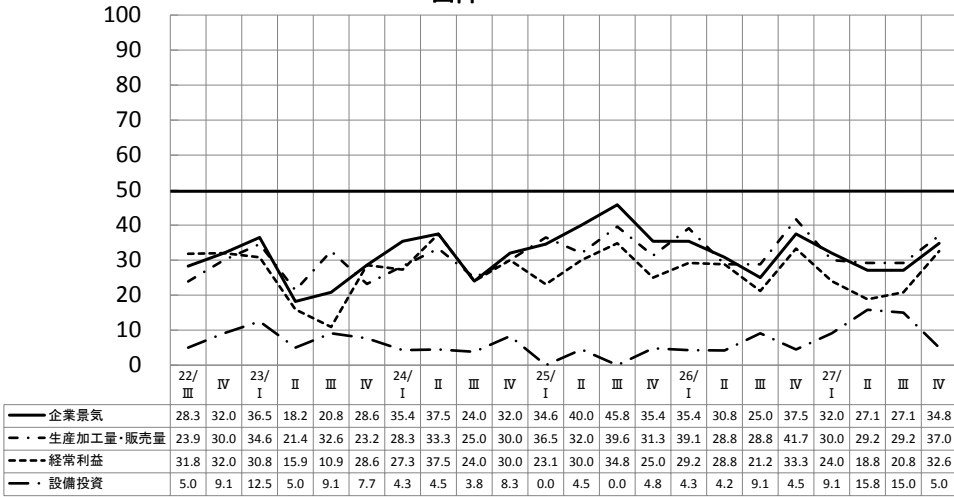


非製造業



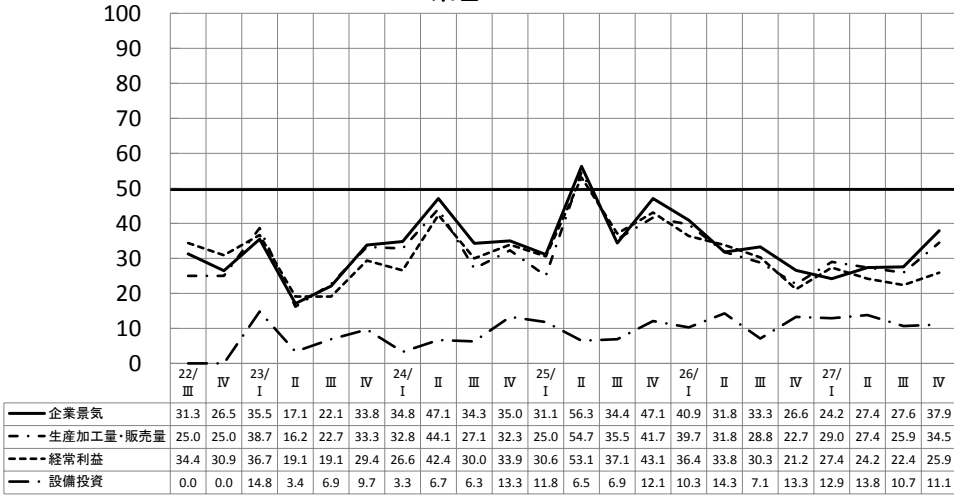
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



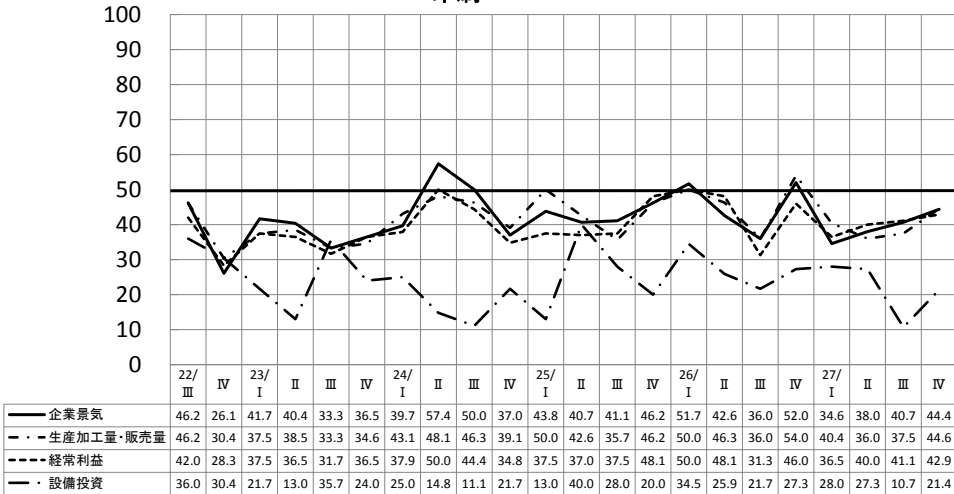
(見通し)

染色



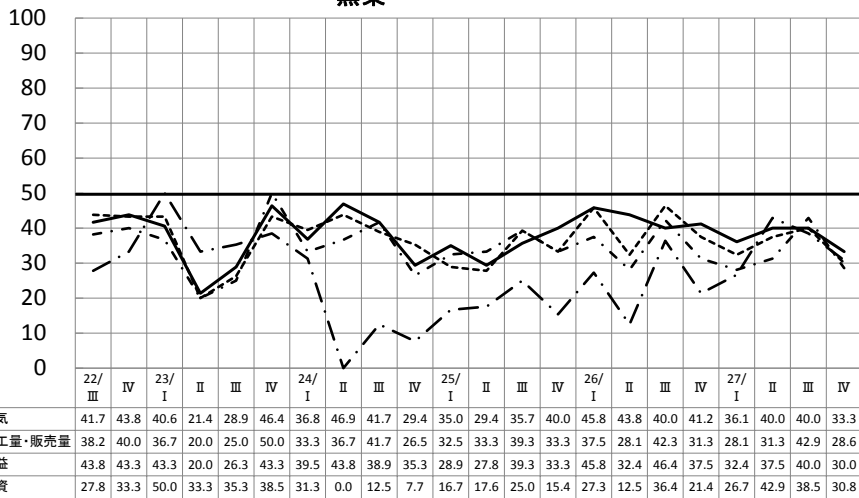
(見通し)

印刷



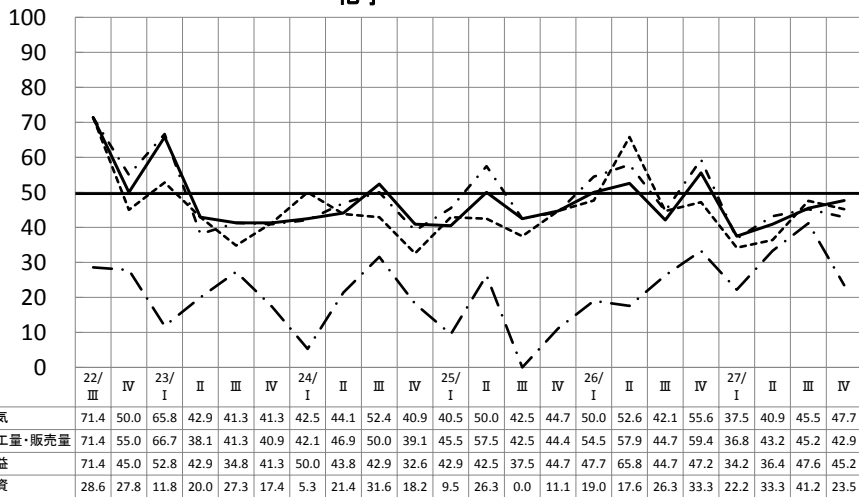
(見通し)

窯業



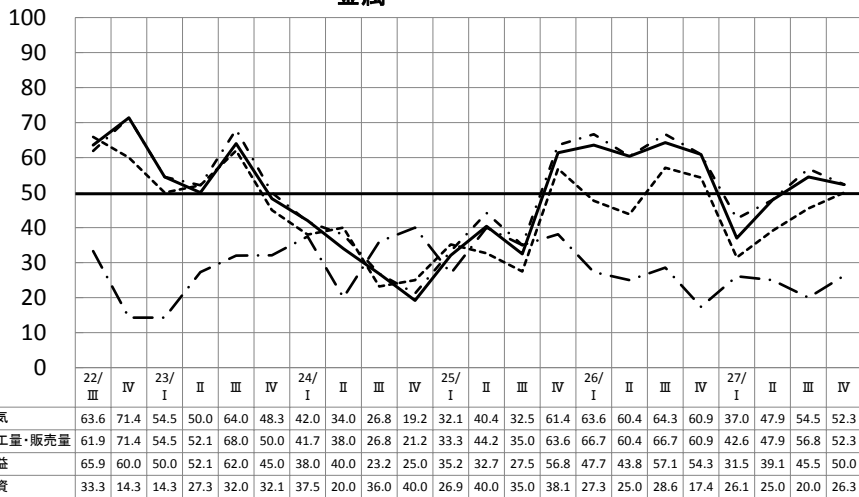
(見通し)

化学



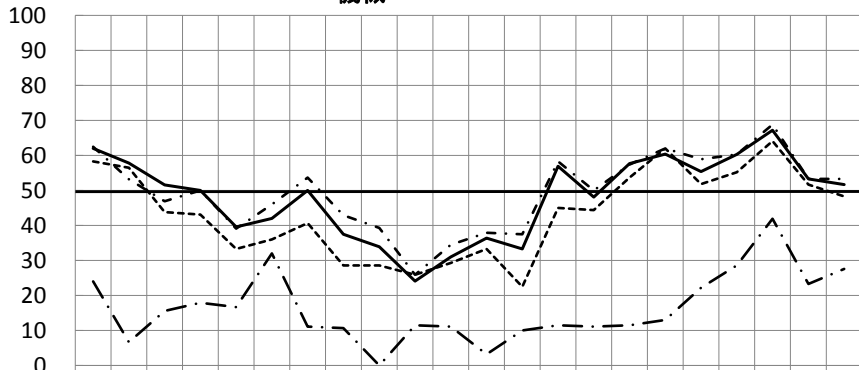
(見通し)

金属



(見通し)

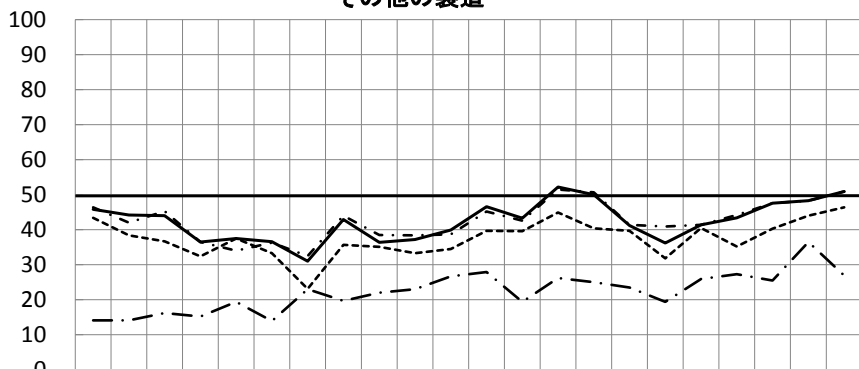
機械



	22/III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III	IV	26/I	II	III	IV	27/I	II	III	IV
— 企業景気	62.0	57.8	51.6	50.0	39.6	42.0	50.0	37.5	33.9	24.1	31.0	36.4	33.3	56.9	48.1	57.7	60.4	55.4	60.3	67.2	53.3	51.7
··· 生産加工量・販売量	62.5	53.2	46.9	50.0	39.1	46.0	53.7	42.9	39.3	25.9	34.5	37.9	37.5	58.3	50.0	57.4	62.0	58.9	60.3	68.8	53.3	53.3
--- 経常利益	58.3	56.5	43.8	43.1	33.3	36.0	40.7	28.6	28.6	25.9	29.3	33.3	22.5	45.0	44.4	53.7	62.0	51.8	55.2	64.1	51.7	48.3
- · 設備投資	24.0	6.7	15.6	17.9	16.7	32.0	11.1	10.7	0.0	11.5	11.1	3.2	10.0	11.5	11.1	11.5	13.0	22.2	28.6	41.9	23.3	27.6

(見通し)

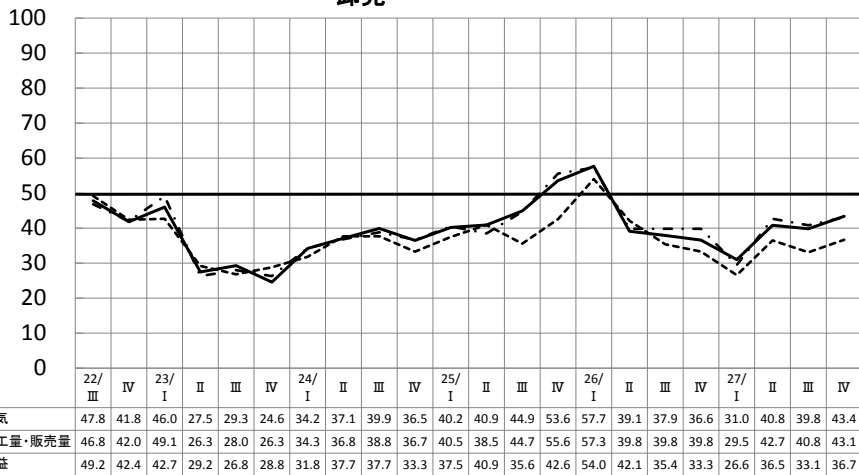
その他の製造



	22/III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III	IV	26/I	II	III	IV	27/I	II	III	IV
— 企業景気	45.8	44.2	44.0	36.5	37.5	36.6	31.0	42.9	36.4	37.2	39.9	46.6	43.3	52.2	50.0	41.2	36.2	41.4	43.4	47.6	48.3	50.9
··· 生産加工量・販売量	46.4	42.0	45.3	36.5	34.0	36.3	32.5	44.0	38.5	38.4	38.7	45.2	42.6	51.5	50.7	41.4	40.9	41.4	44.2	47.6	48.3	50.9
--- 経常利益	43.4	38.4	36.7	32.4	37.5	33.3	23.1	35.7	35.1	33.3	34.5	39.7	39.6	44.9	40.4	39.7	31.8	40.5	35.2	40.3	44.0	46.4
- · 設備投資	14.1	14.1	16.2	15.2	19.4	13.9	23.0	19.7	22.0	23.0	26.7	27.9	19.4	26.2	25.0	23.5	19.4	25.9	27.3	25.5	36.5	26.9

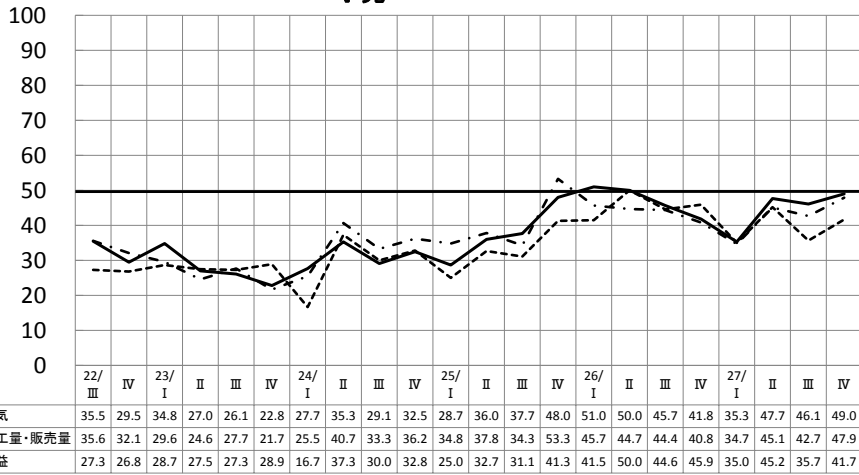
(見通し)

卸売



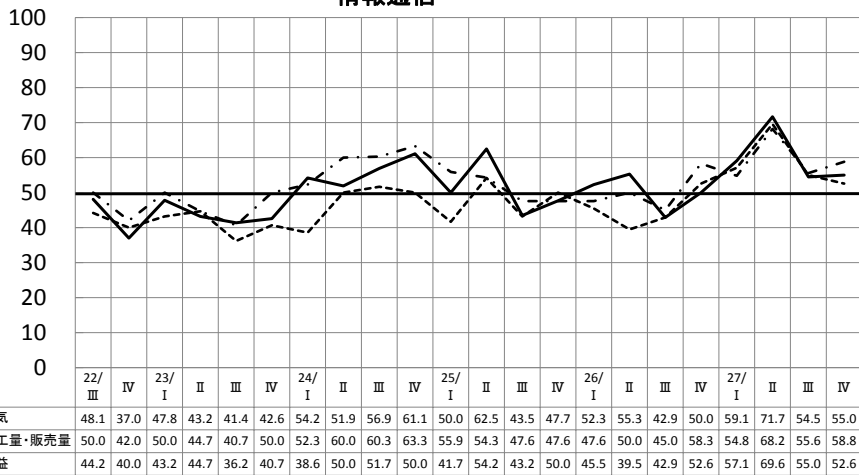
(見通し)

小売



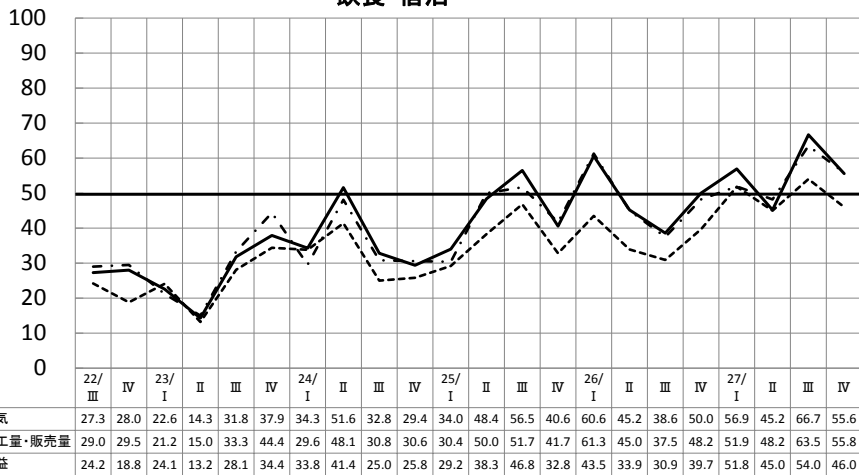
(見通し)

情報通信



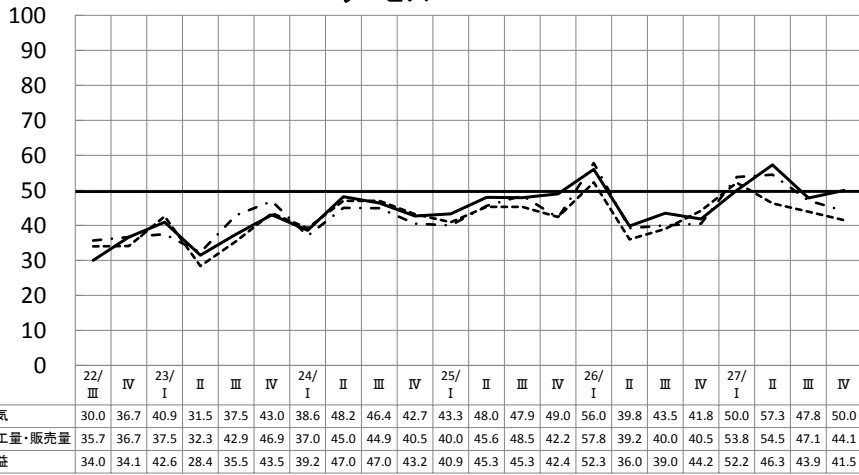
(見通し)

飲食・宿泊



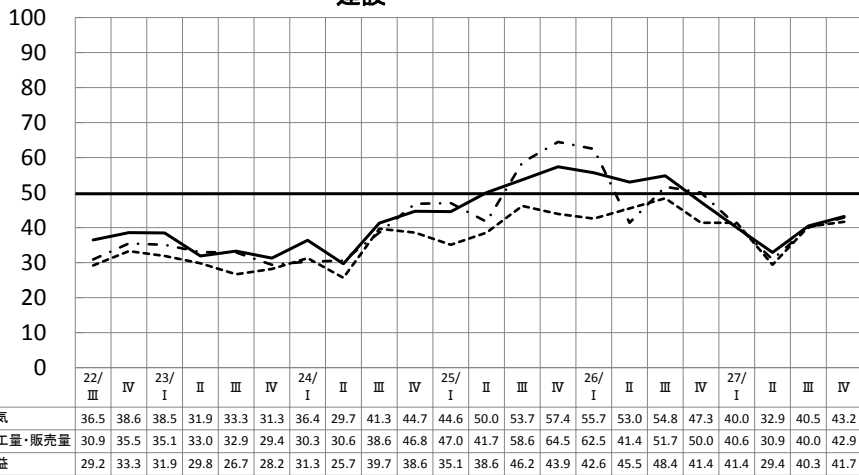
(見通し)

サービス



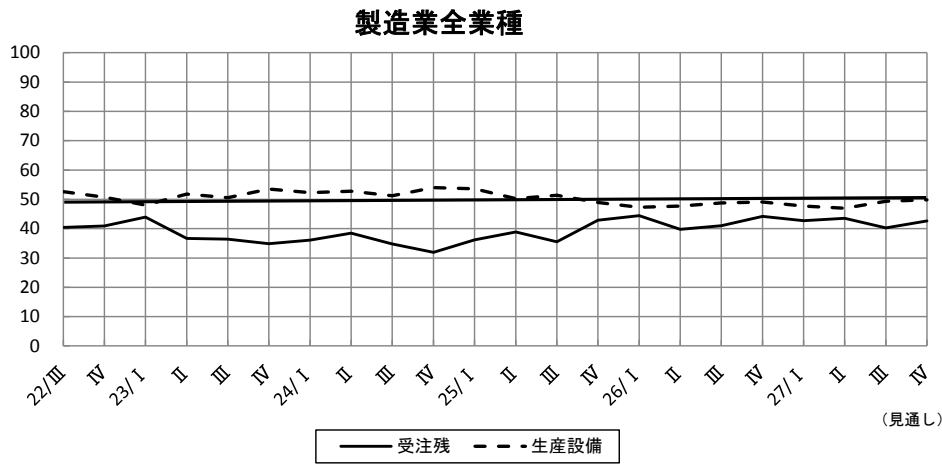
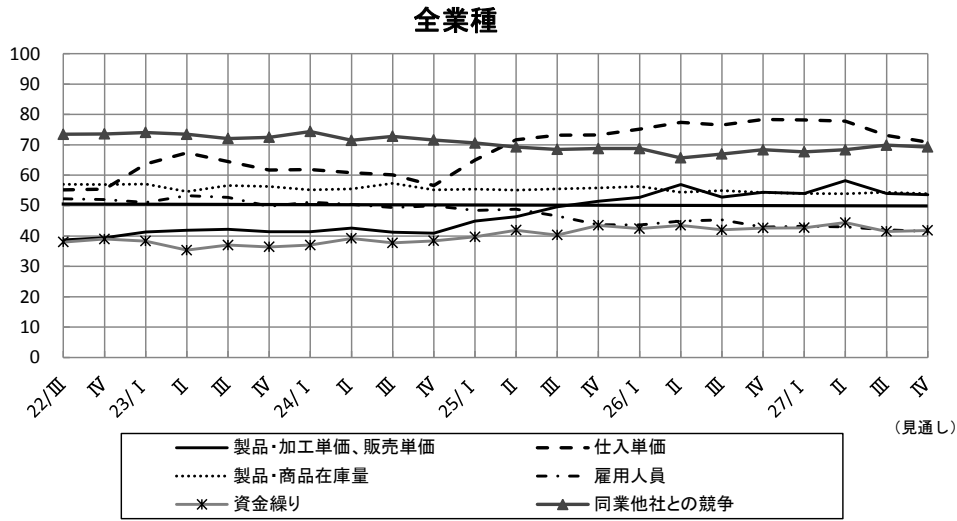
(見通し)

建設

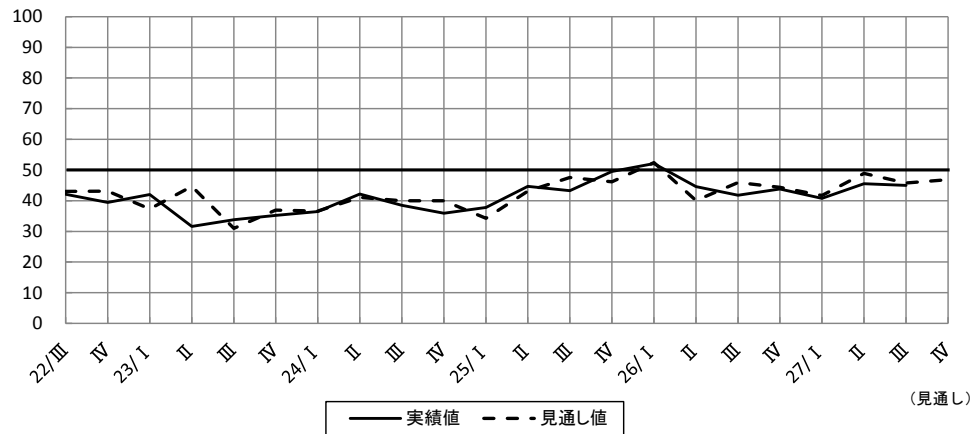


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

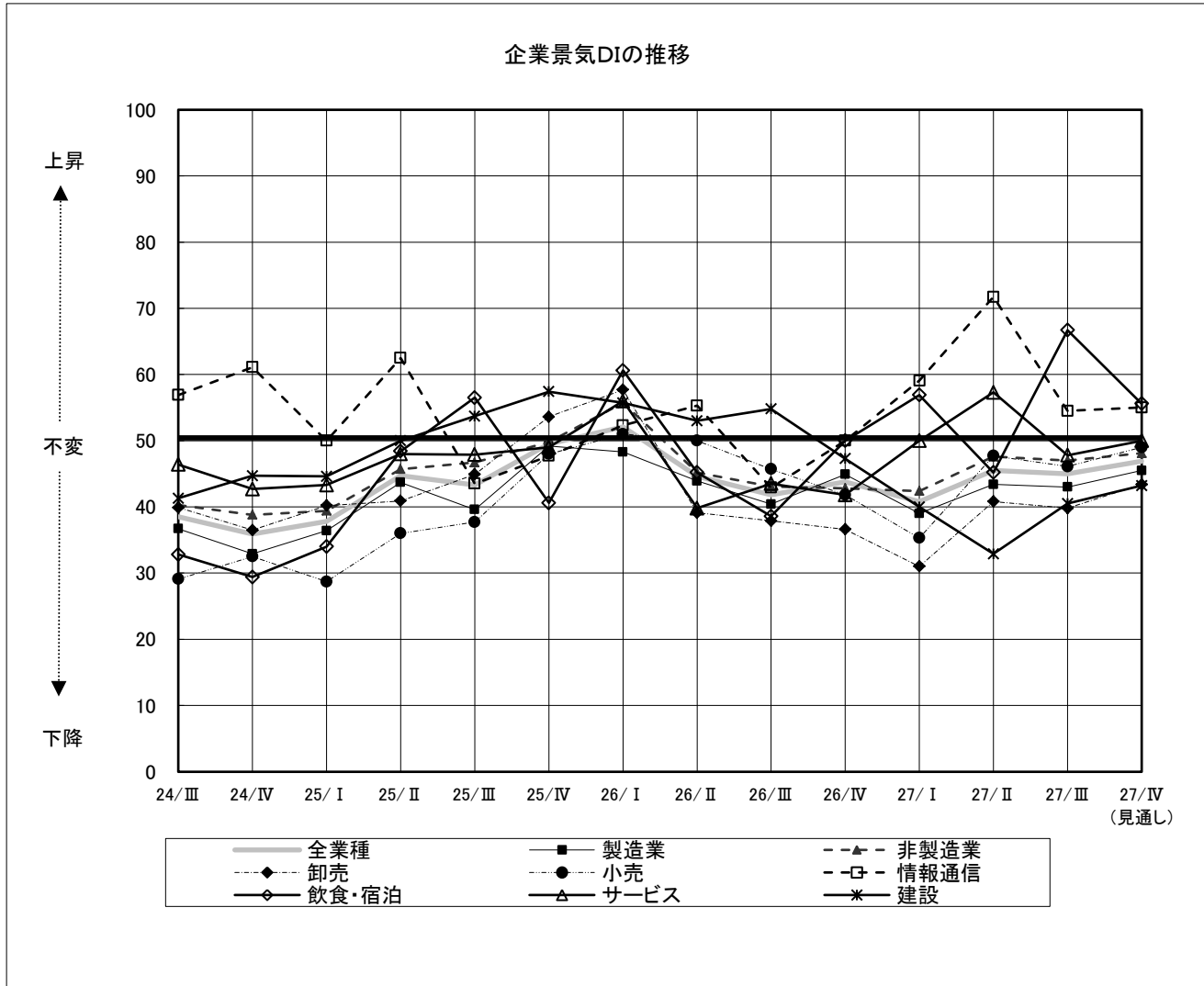


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

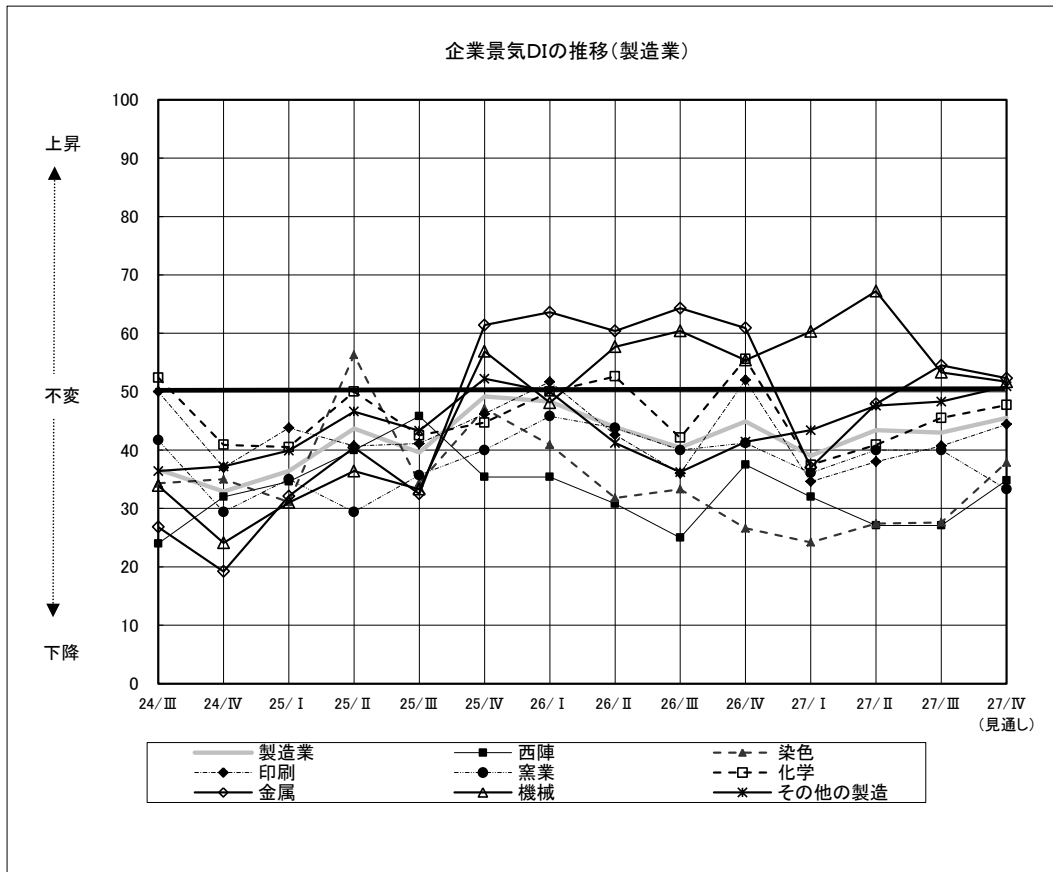


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	45.5	45.0	▼ 0.5	46.9 △ 1.9
製造業	43.4	43.0	▼ 0.4	45.5 △ 2.5
西陣	27.1	27.1	0.0	34.8 △ 7.7
染色	27.4	27.6	△ 0.2	37.9 △ 10.3
印刷	38.0	40.7	△ 2.7	44.4 △ 3.7
窯業	40.0	40.0	0.0	33.3 ▼ 6.7
化学	40.9	45.5	△ 4.6	47.7 △ 2.2
金属	47.9	54.5	△ 6.6	52.3 ▼ 2.2
機械	67.2	53.3	▼ 13.9	51.7 ▼ 1.6
其他の製造	47.6	48.3	△ 0.7	50.9 △ 2.6
非製造業	47.6	47.0	▼ 0.6	48.1 △ 1.1
卸売	40.8	39.8	▼ 1.0	43.4 △ 3.6
小売	47.7	46.1	▼ 1.6	49.0 △ 2.9
情報通信	71.7	54.5	▼ 17.2	55.0 △ 0.5
飲食・宿泊	45.2	66.7	△ 21.5	55.6 ▼ 11.1
サービス	57.3	47.8	▼ 9.5	50.0 △ 2.2
建設	32.9	40.5	△ 7.6	43.2 △ 2.7
観光関連	54.7	68.1	△ 13.4	56.4 ▼ 11.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

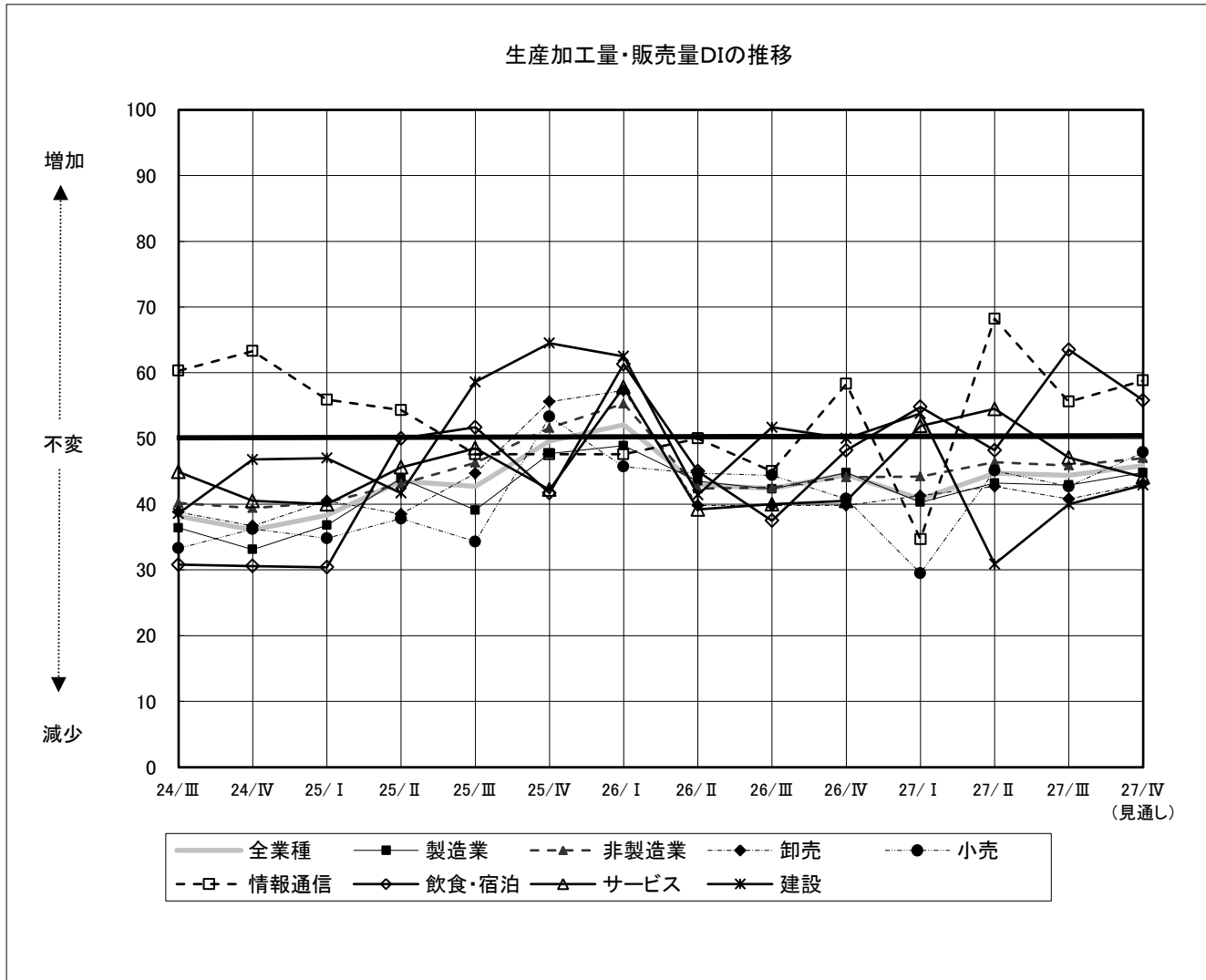


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

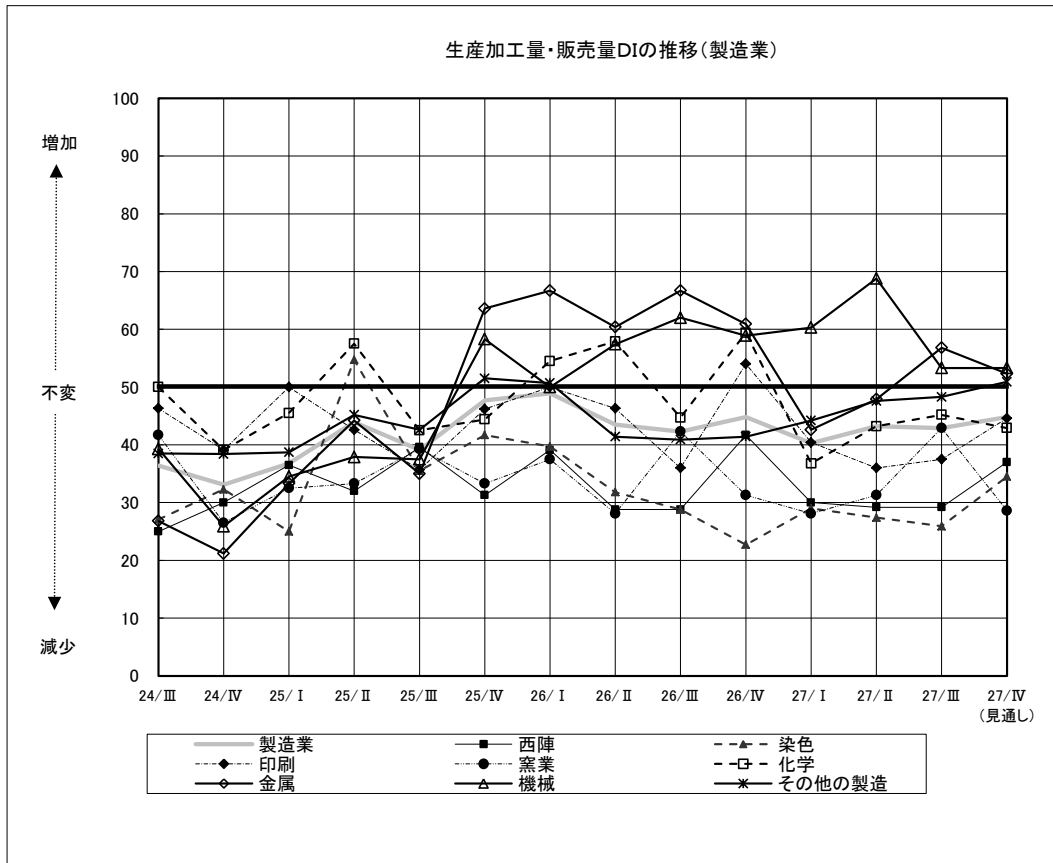


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	44.7	44.4	▼ 0.3	45.9	△ 1.5
製造業	43.2	42.9	▼ 0.3	44.8	△ 1.9
西陣	29.2	29.2	0.0	37.0	△ 7.8
染色	27.4	25.9	▼ 1.5	34.5	△ 8.6
印刷	36.0	37.5	△ 1.5	44.6	△ 7.1
窯業	31.3	42.9	△ 11.6	28.6	▼ 14.3
化学	43.2	45.2	△ 2.0	42.9	▼ 2.3
金属	47.9	56.8	△ 8.9	52.3	▼ 4.5
機械	68.8	53.3	▼ 15.5	53.3	0.0
その他の製造	47.6	48.3	△ 0.7	50.9	△ 2.6
非製造業	46.4	45.9	▼ 0.5	47.0	△ 1.1
卸売	42.7	40.8	▼ 1.9	43.1	△ 2.3
小売	45.1	42.7	▼ 2.4	47.9	△ 5.2
情報通信	68.2	55.6	▼ 12.6	58.8	△ 3.2
飲食・宿泊	48.2	63.5	△ 15.3	55.8	▼ 7.7
サービス	54.5	47.1	▼ 7.4	44.1	▼ 3.0
建設	30.9	40.0	△ 9.1	42.9	△ 2.9
観光関連	56.0	65.2	△ 9.2	56.5	▼ 8.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

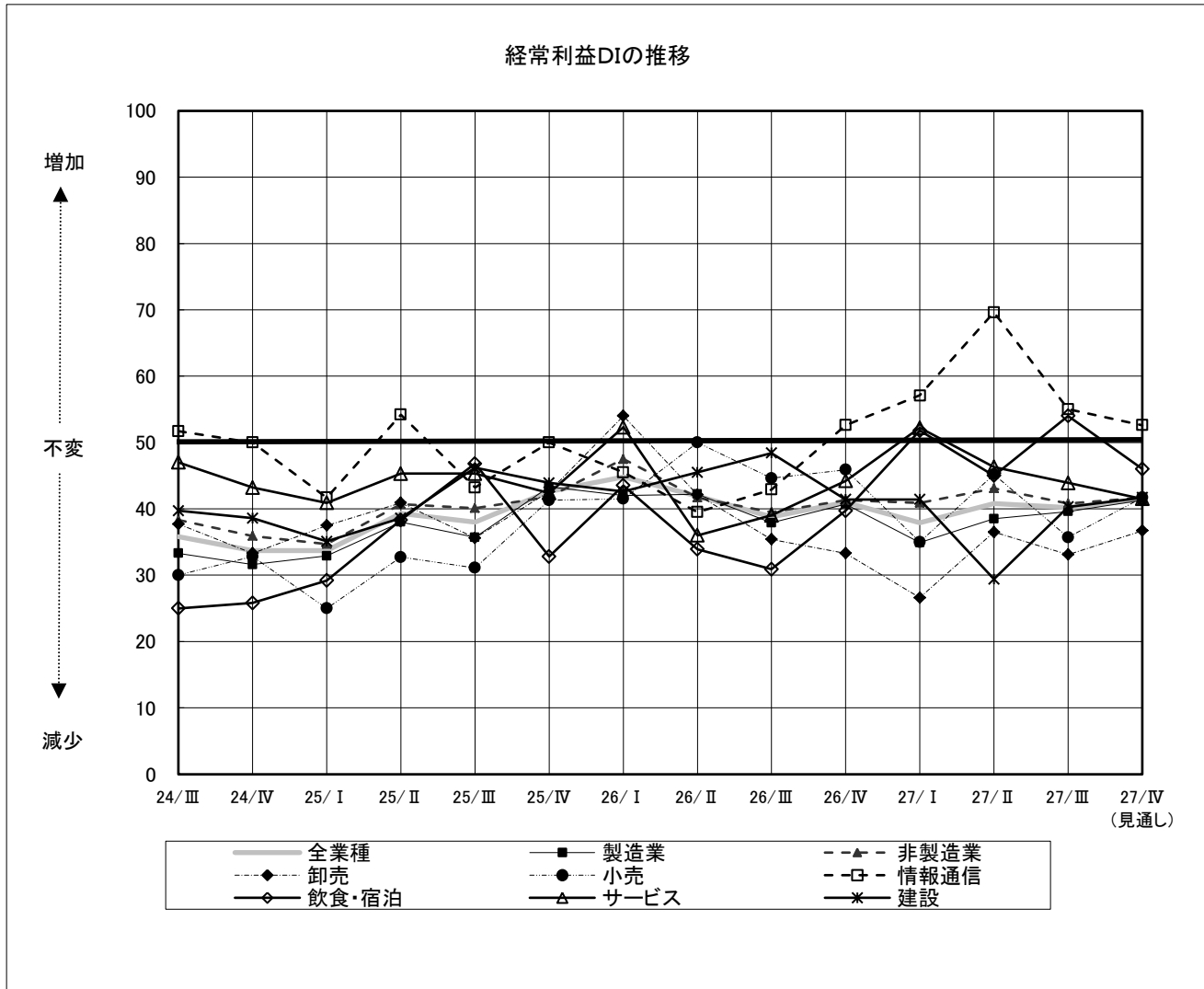


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

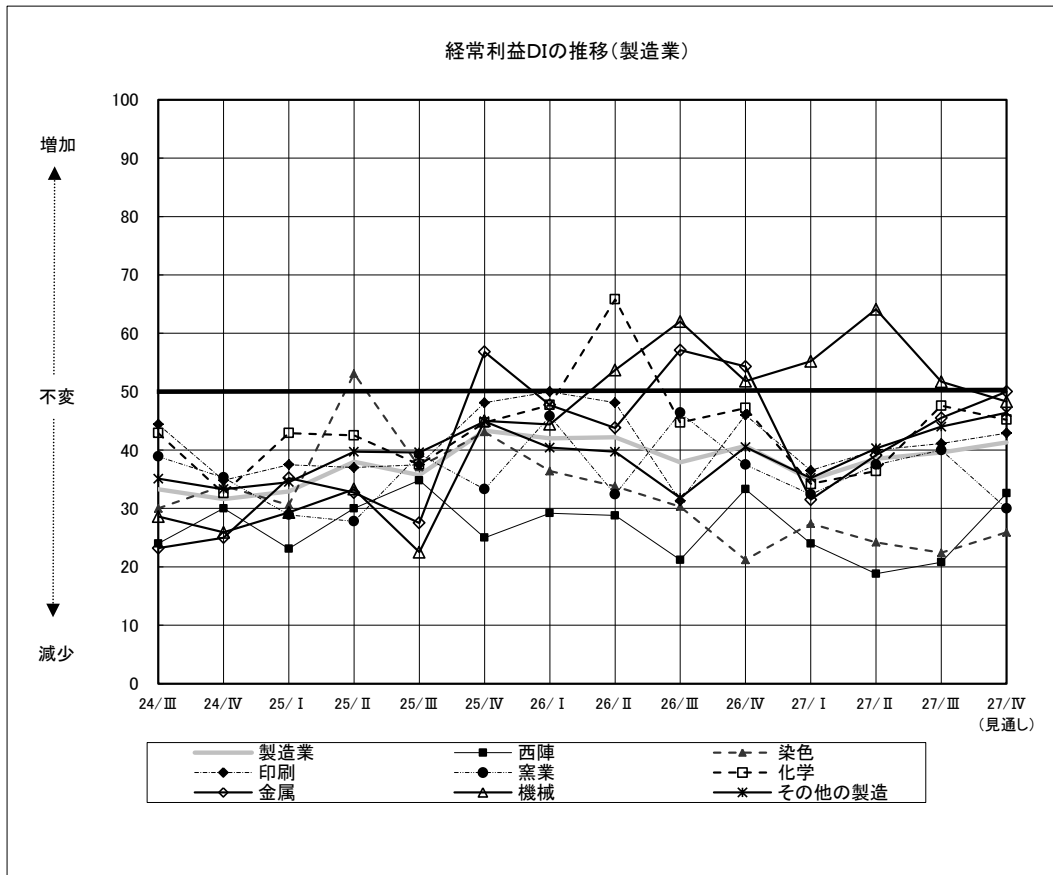


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	40.8	40.2	▼ 0.6	△ 1.3
製造業	38.5	39.6	△ 1.1	△ 1.7
西陣	18.8	20.8	△ 2.0	△ 11.8
染色	24.2	22.4	▼ 1.8	△ 3.5
印刷	40.0	41.1	△ 1.1	△ 1.8
窯業	37.5	40.0	△ 2.5	▼ 10.0
化学	36.4	47.6	△ 11.2	▼ 2.4
金属	39.1	45.5	△ 6.4	△ 4.5
機械	64.1	51.7	▼ 12.4	▼ 3.4
その他の製造	40.3	44.0	△ 3.7	△ 2.4
非製造業	43.1	40.8	▼ 2.3	△ 0.9
卸売	36.5	33.1	▼ 3.4	△ 3.6
小売	45.2	35.7	▼ 9.5	△ 6.0
情報通信	69.6	55.0	▼ 14.6	▼ 2.4
飲食・宿泊	45.0	54.0	△ 9.0	▼ 8.0
サービス	46.3	43.9	▼ 2.4	▼ 2.4
建設	29.4	40.3	△ 10.9	△ 1.4
観光関連	51.0	64.4	△ 13.4	▼ 10.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

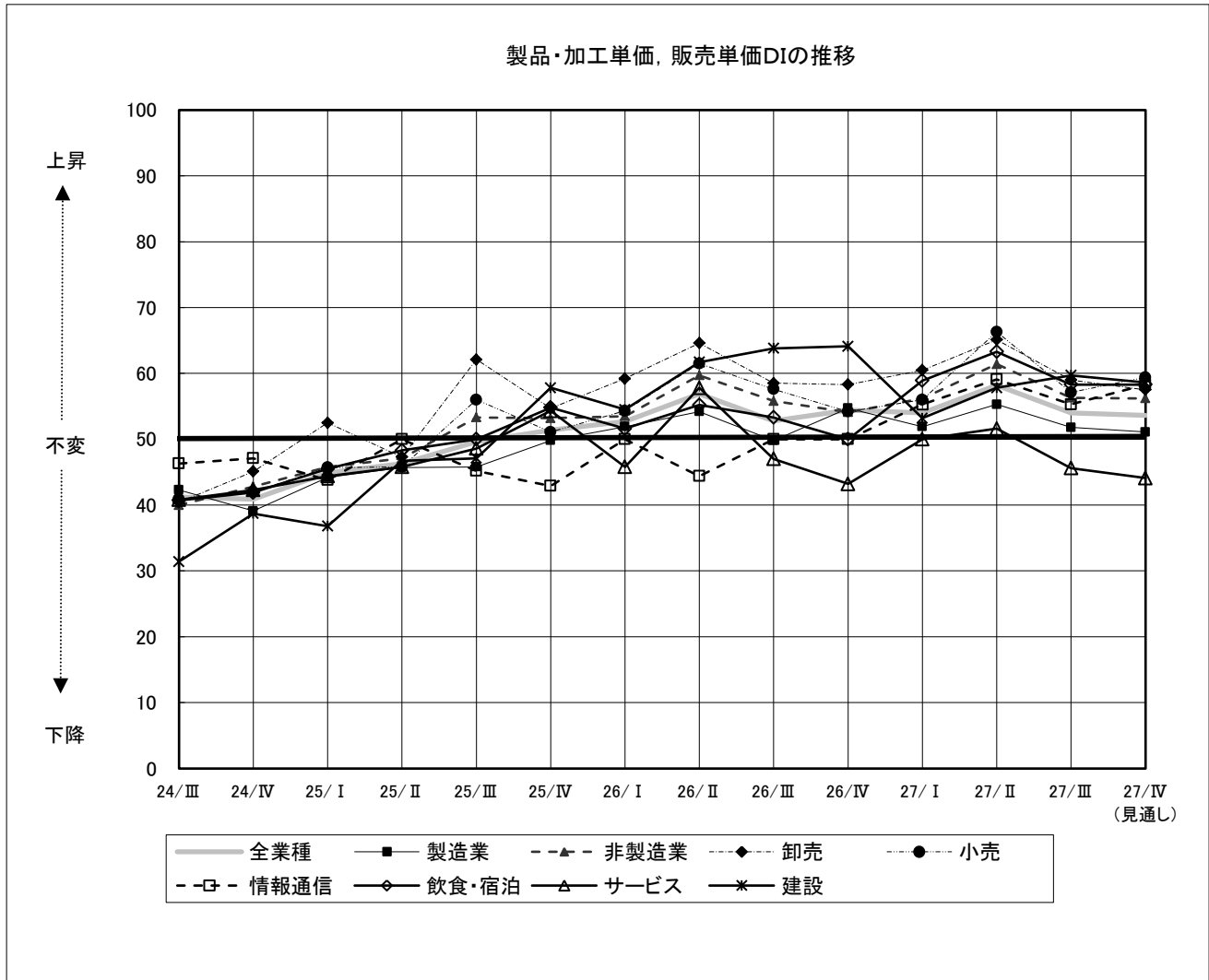


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

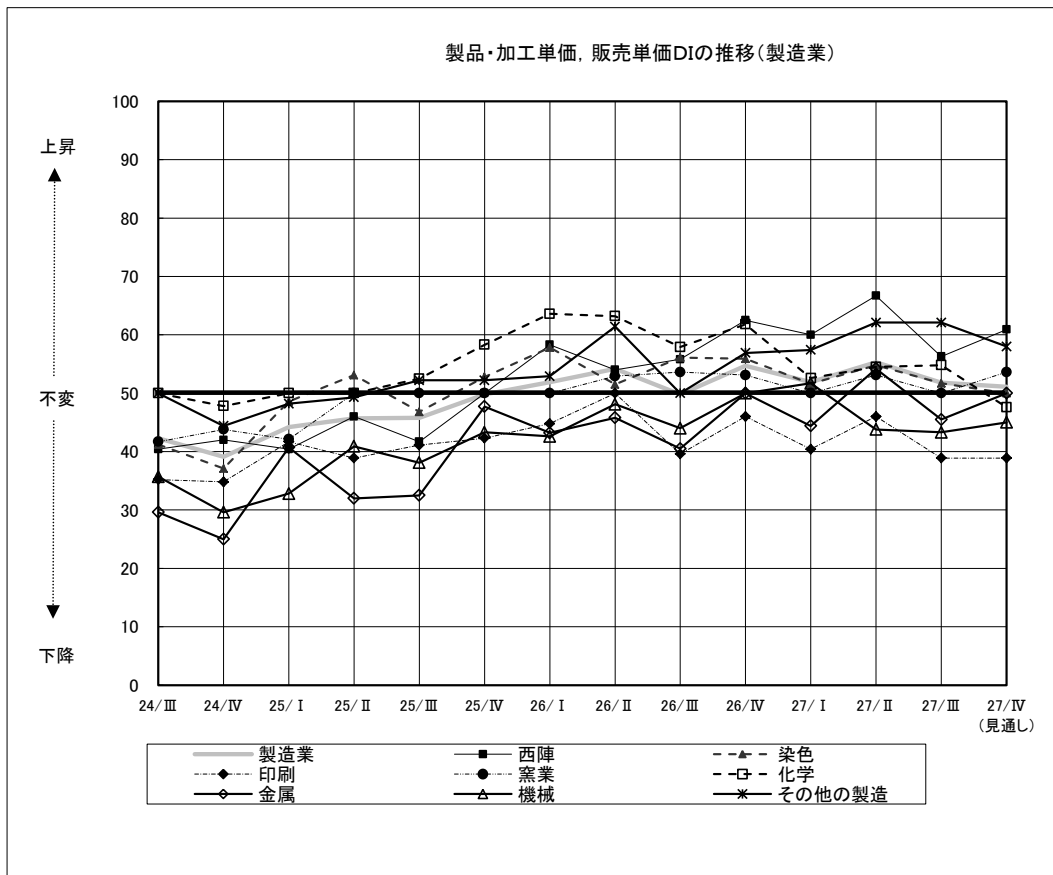


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	58.2	54.0	▼ 4.2	53.6	▼ 0.4
製造業	55.3	51.8	▼ 3.5	51.1	▼ 0.7
西陣	66.7	56.3	▼ 10.4	60.9	△ 4.6
染色	54.8	51.7	▼ 3.1	50.0	▼ 1.7
印刷	46.0	38.9	▼ 7.1	38.9	0.0
窯業	53.1	50.0	▼ 3.1	53.6	△ 3.6
化学	54.5	54.8	△ 0.3	47.6	▼ 7.2
金属	54.2	45.5	▼ 8.7	50.0	△ 4.5
機械	43.8	43.3	▼ 0.5	45.0	△ 1.7
その他の製造	62.1	62.1	0.0	58.0	▼ 4.1
非製造業	61.4	56.3	▼ 5.1	56.2	▼ 0.1
卸売	65.1	59.0	▼ 6.1	57.5	▼ 1.5
小売	66.3	57.1	▼ 9.2	59.4	△ 2.3
情報通信	59.1	55.3	▼ 3.8	58.3	△ 3.0
飲食・宿泊	63.3	58.3	▼ 5.0	58.3	0.0
サービス	51.6	45.6	▼ 6.0	44.1	▼ 1.5
建設	57.8	59.7	△ 1.9	58.6	▼ 1.1
観光関連	66.0	64.8	▼ 1.2	62.5	▼ 2.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

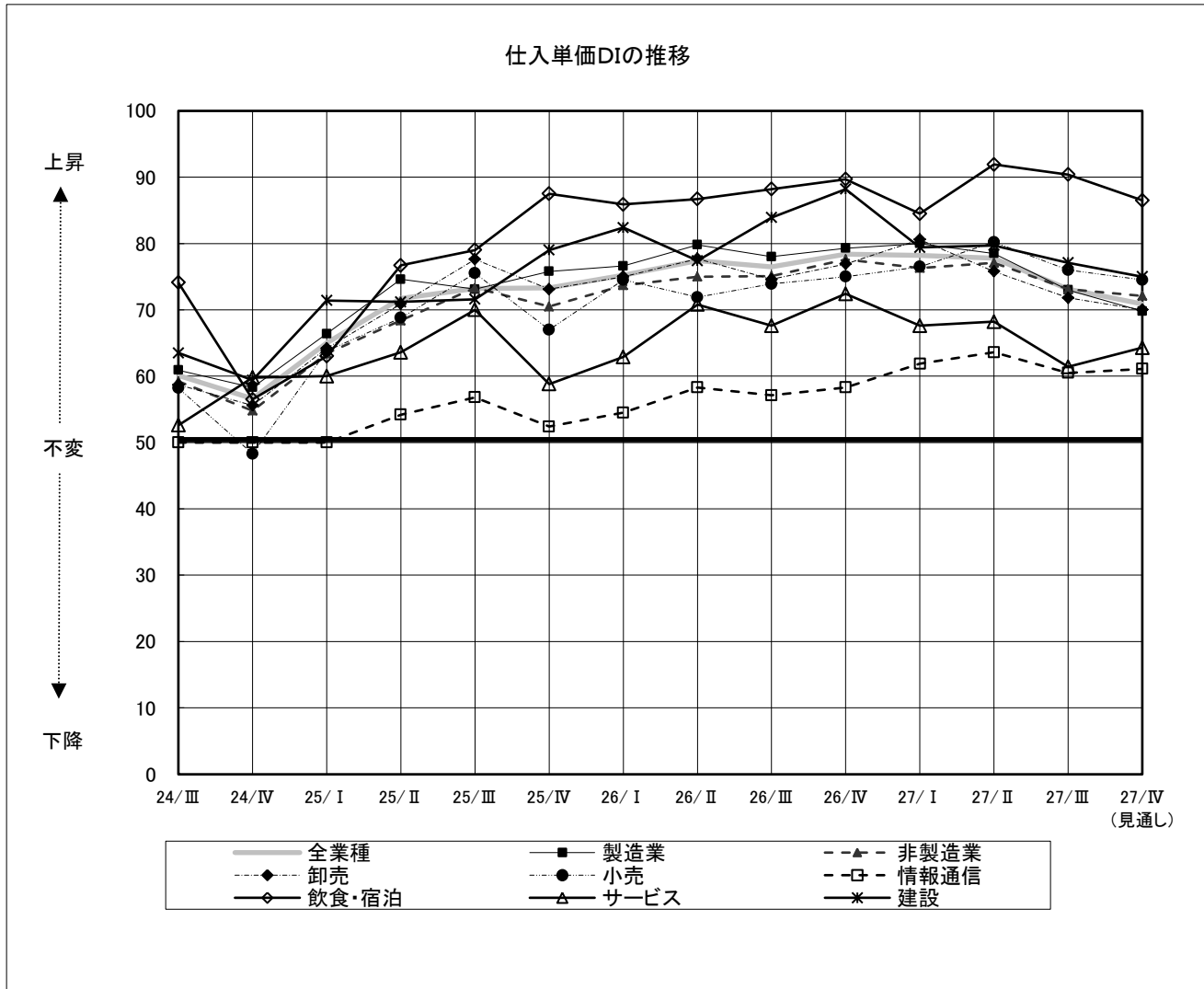


図 10. 仕入単価DIの推移 (製造業)

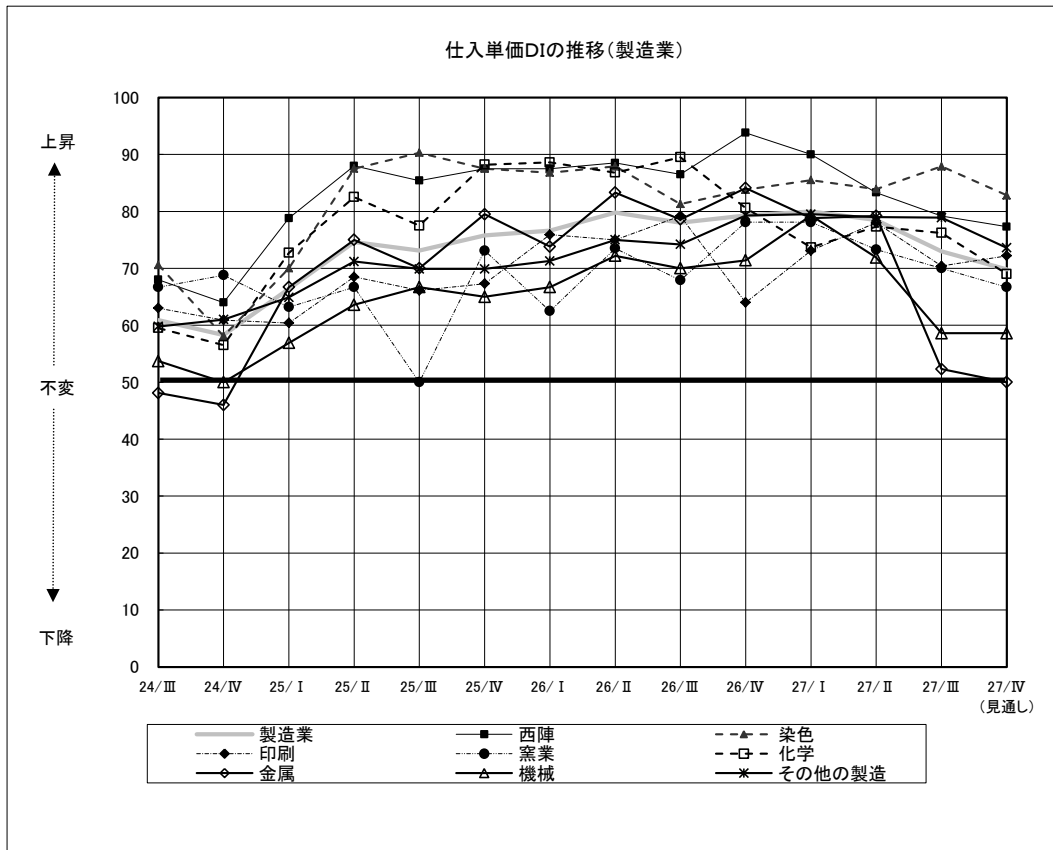


表 5. 仕入単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	77.8	73.1	▼ 4.7	70.9 ▼ 2.2
製造業	78.5	73.0	▼ 5.5	69.8 ▼ 3.2
西陣	83.3	79.2	▼ 4.1	77.3 ▼ 1.9
染色	83.9	87.9	△ 4.0	82.8 ▼ 5.1
印刷	78.0	70.4	▼ 7.6	72.2 △ 1.8
窯業	73.3	70.0	▼ 3.3	66.7 ▼ 3.3
化学	77.3	76.2	▼ 1.1	69.0 ▼ 7.2
金属	79.2	52.3	▼ 26.9	50.0 ▼ 2.3
機械	71.9	58.6	▼ 13.3	58.6 0.0
その他の製造	79.0	78.9	▼ 0.1	73.6 ▼ 5.3
非製造業	77.1	73.1	▼ 4.0	72.1 ▼ 1.0
卸売	75.8	71.8	▼ 4.0	70.0 ▼ 1.8
小売	80.2	76.0	▼ 4.2	74.5 ▼ 1.5
情報通信	63.6	60.5	▼ 3.1	61.1 △ 0.6
飲食・宿泊	91.9	90.4	▼ 1.5	86.5 ▼ 3.9
サービス	68.2	61.4	▼ 6.8	64.3 △ 2.9
建設	79.7	77.1	▼ 2.6	75.0 ▼ 2.1
観光関連	86.8	84.8	▼ 2.0	79.3 ▼ 5.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

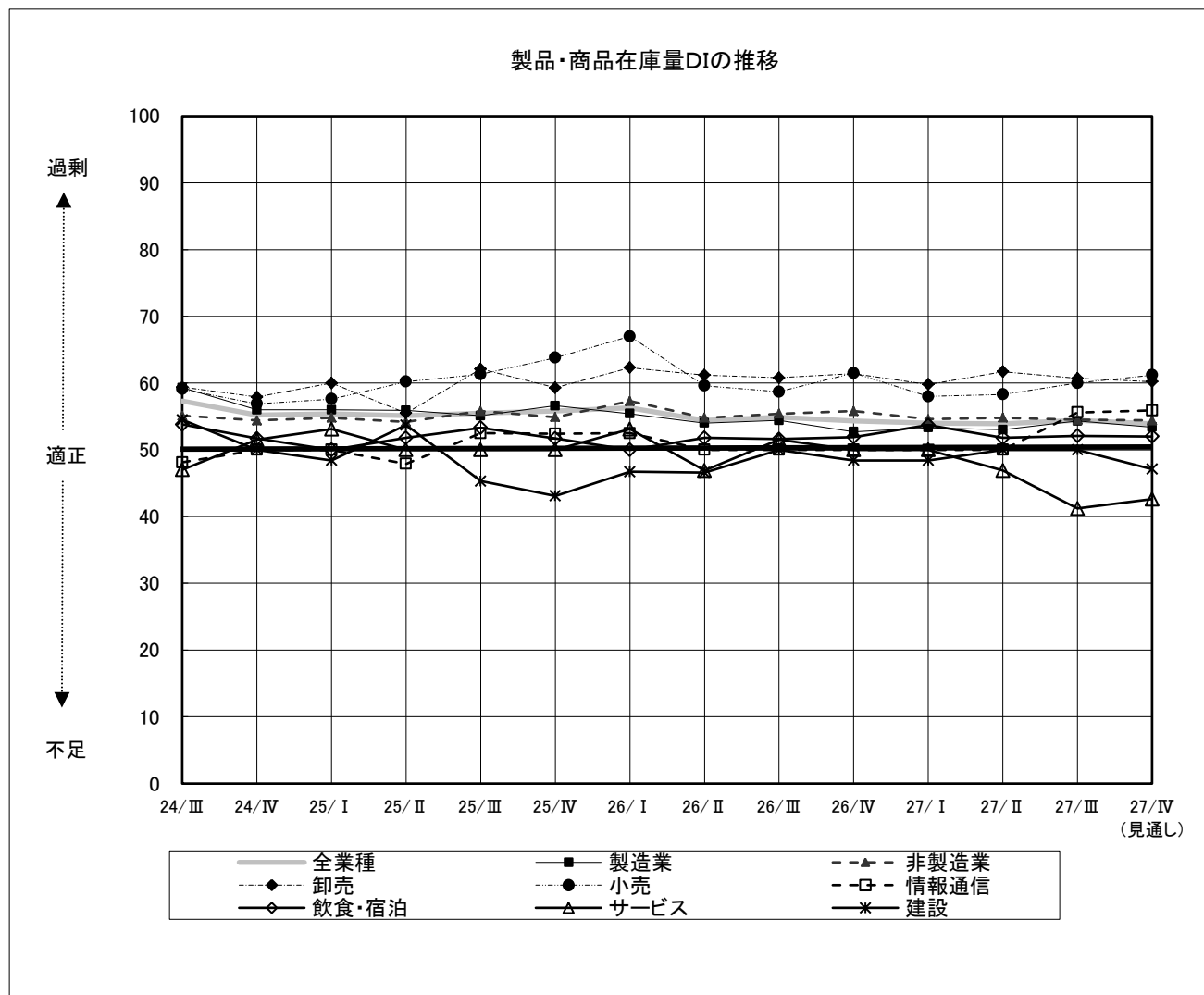


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移（製造業）

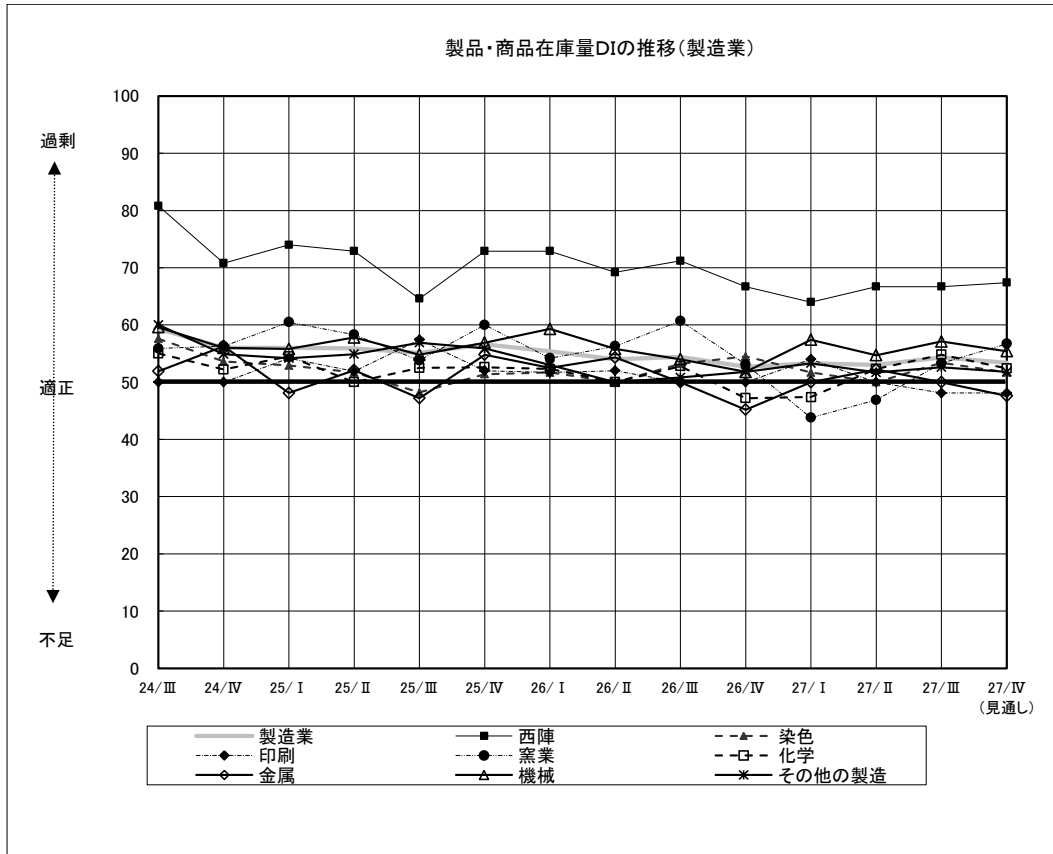


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	53.9	54.4	△ 0.5	53.9	▼ 0.5
製造業	53.0	54.3	△ 1.3	53.4	▼ 0.9
西陣	66.7	66.7	0.0	67.4	△ 0.7
染色	50.0	53.4	△ 3.4	51.7	▼ 1.7
印刷	50.0	48.1	▼ 1.9	48.1	0.0
窯業	46.9	53.3	△ 6.4	56.7	△ 3.4
化学	52.3	54.8	△ 2.5	52.4	▼ 2.4
金属	52.2	50.0	▼ 2.2	47.6	▼ 2.4
機械	54.7	57.1	△ 2.4	55.4	▼ 1.7
その他の製造	51.7	52.6	△ 0.9	51.8	▼ 0.8
非製造業	54.8	54.5	▼ 0.3	54.4	▼ 0.1
卸売	61.7	60.7	▼ 1.0	60.2	▼ 0.5
小売	58.3	60.0	△ 1.7	61.2	△ 1.2
情報通信	50.0	55.6	△ 5.6	55.9	△ 0.3
飲食・宿泊	51.8	52.1	△ 0.3	52.0	▼ 0.1
サービス	46.9	41.2	▼ 5.7	42.6	△ 1.4
建設	50.0	50.0	0.0	47.1	▼ 2.9
観光関連	50.0	52.3	△ 2.3	54.4	△ 2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

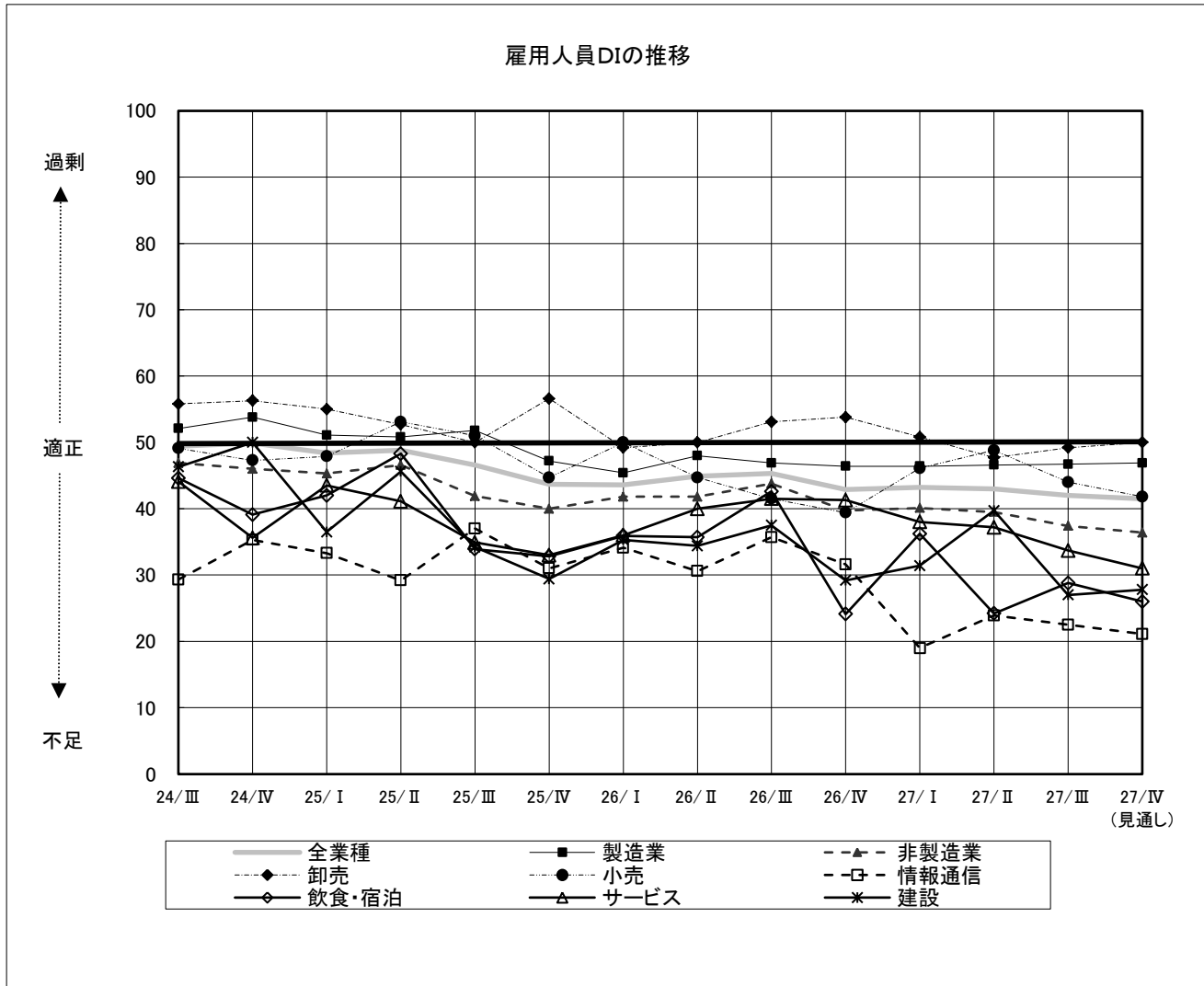


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

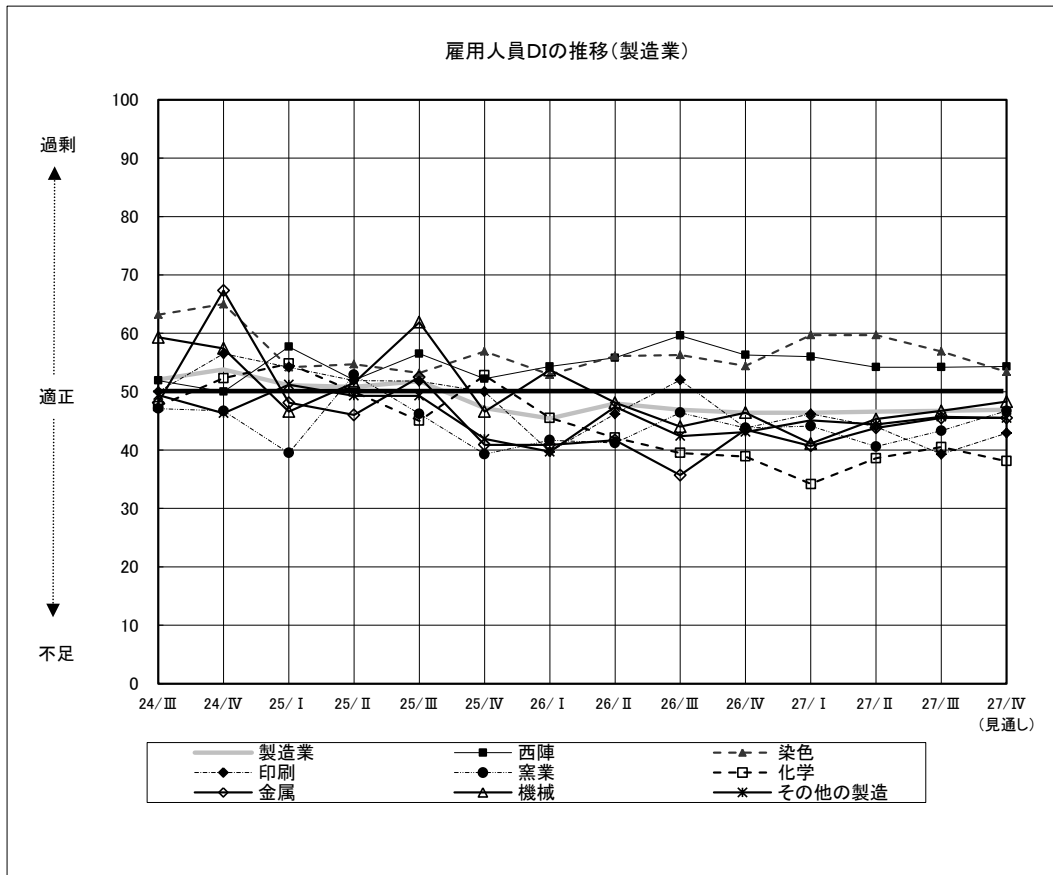


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	43.0	42.0	▼ 1.0	41.5	▼ 0.5
製造業	46.6	46.7	△ 0.1	46.9	△ 0.2
西陣	54.2	54.2	0.0	54.3	△ 0.1
染色	59.7	56.9	▼ 2.8	53.4	▼ 3.5
印刷	44.0	39.3	▼ 4.7	42.9	△ 3.6
窯業	40.6	43.3	△ 2.7	46.7	△ 3.4
化学	38.6	40.5	△ 1.9	38.1	▼ 2.4
金属	43.8	45.5	△ 1.7	45.5	0.0
機械	45.3	46.7	△ 1.4	48.3	△ 1.6
其他の製造	44.4	45.7	△ 1.3	45.5	▼ 0.2
非製造業	39.5	37.4	▼ 2.1	36.4	▼ 1.0
卸売	47.7	49.2	△ 1.5	50.0	△ 0.8
小売	48.8	44.0	▼ 4.8	41.8	▼ 2.2
情報通信	23.9	22.5	▼ 1.4	21.1	▼ 1.4
飲食・宿泊	24.2	28.8	△ 4.6	26.0	▼ 2.8
サービス	37.2	33.7	▼ 3.5	31.0	▼ 2.7
建設	39.7	27.0	▼ 12.7	27.8	△ 0.8
観光関連	29.8	32.6	△ 2.8	33.3	△ 0.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

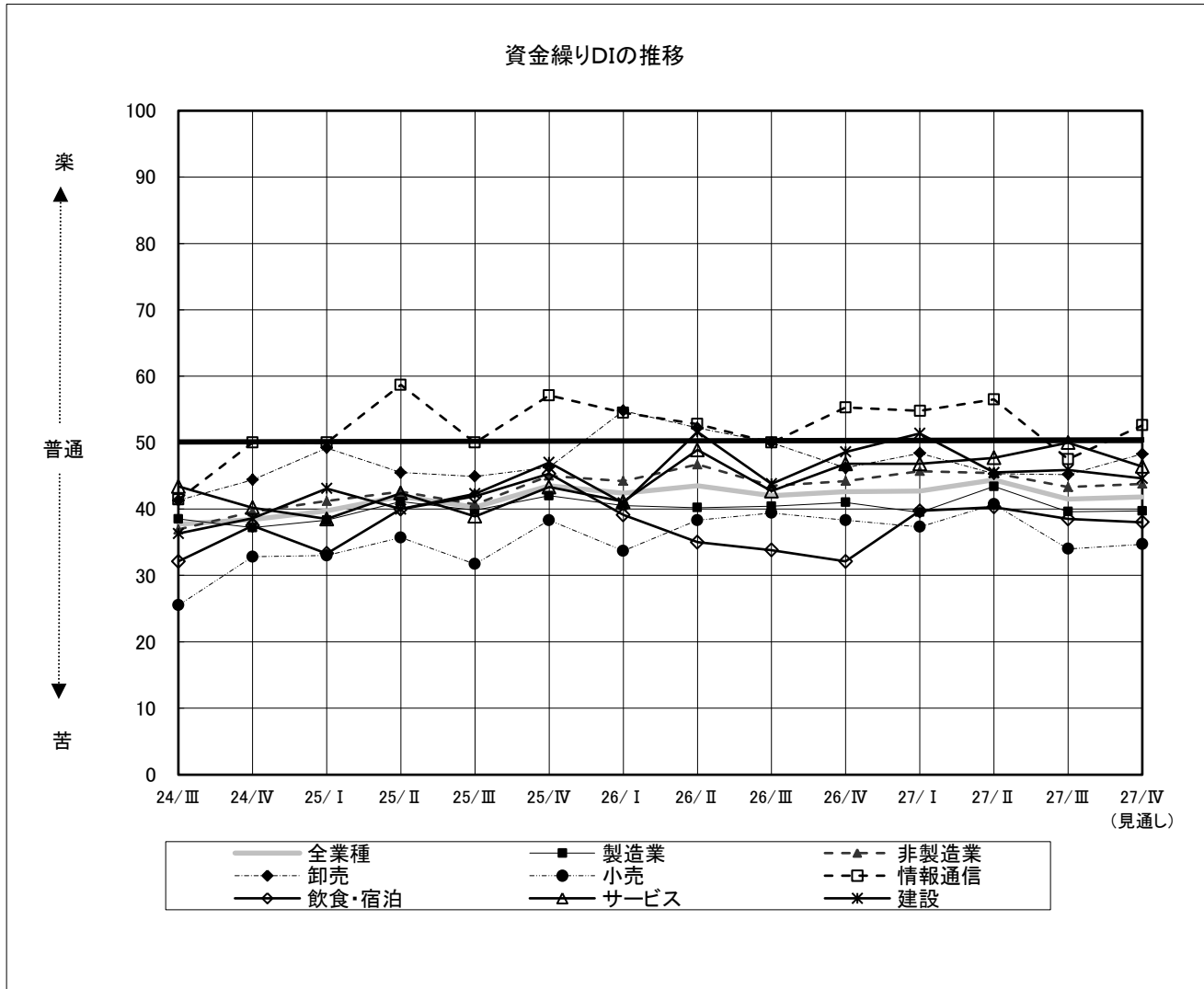


図 16. 資金繰りDIの推移 (製造業)

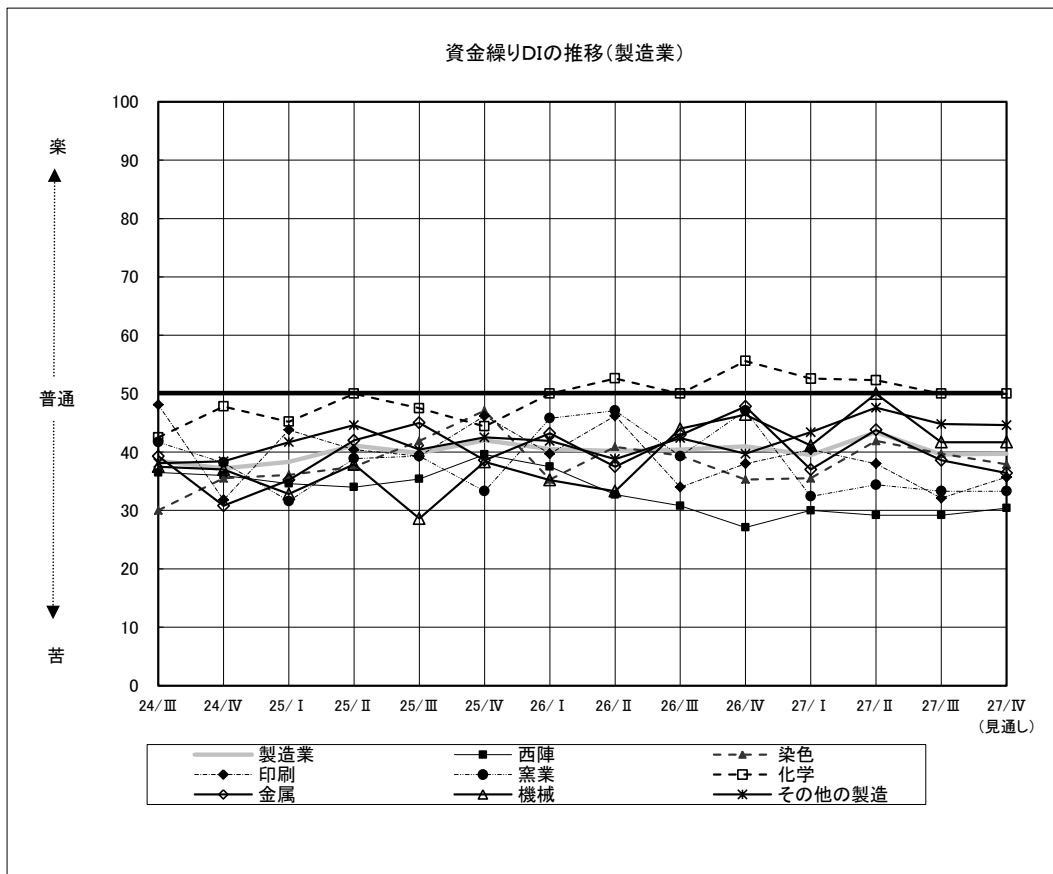


表 8. 資金繰りDI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	44.4	41.5	▼ 2.9	△ 0.3
製造業	43.4	39.6	▼ 3.8	△ 0.1
西陣	29.2	29.2	0.0	△ 1.2
染色	41.9	39.7	▼ 2.2	▼ 1.8
印刷	38.0	32.1	▼ 5.9	△ 3.6
窯業	34.4	33.3	▼ 1.1	0.0
化学	52.3	50.0	▼ 2.3	0.0
金属	43.8	38.6	▼ 5.2	▼ 2.2
機械	50.0	41.7	▼ 8.3	0.0
その他の製造	47.6	44.8	▼ 2.8	▼ 0.2
非製造業	45.4	43.3	▼ 2.1	△ 0.5
卸売	45.3	45.2	▼ 0.1	△ 3.1
小売	40.7	34.0	▼ 6.7	△ 0.7
情報通信	56.5	47.5	▼ 9.0	△ 5.1
飲食・宿泊	40.3	38.5	▼ 1.8	▼ 0.5
サービス	47.7	50.0	△ 2.3	▼ 3.6
建設	45.5	45.9	△ 0.4	▼ 1.3
観光関連	44.3	44.6	△ 0.3	△ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

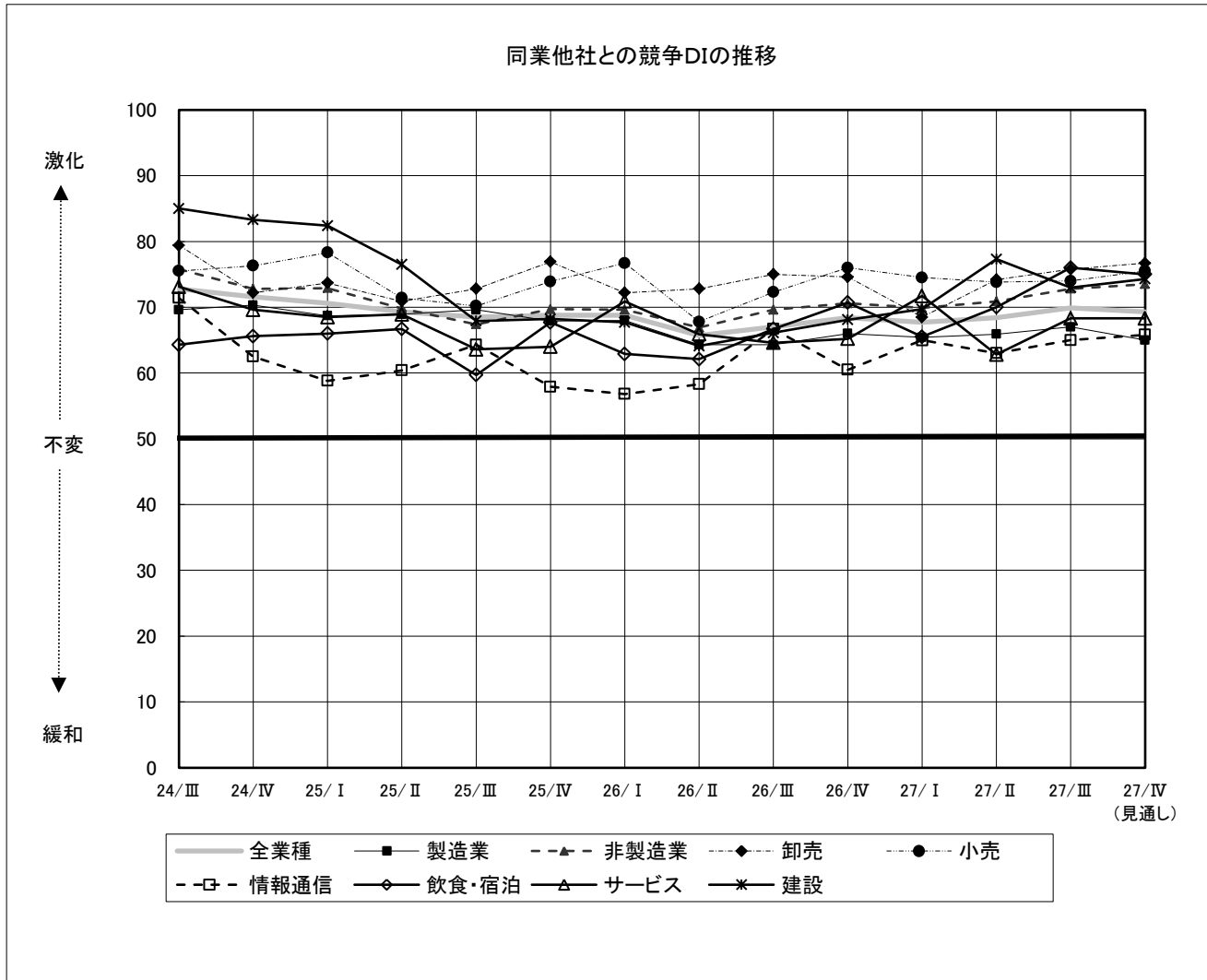


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

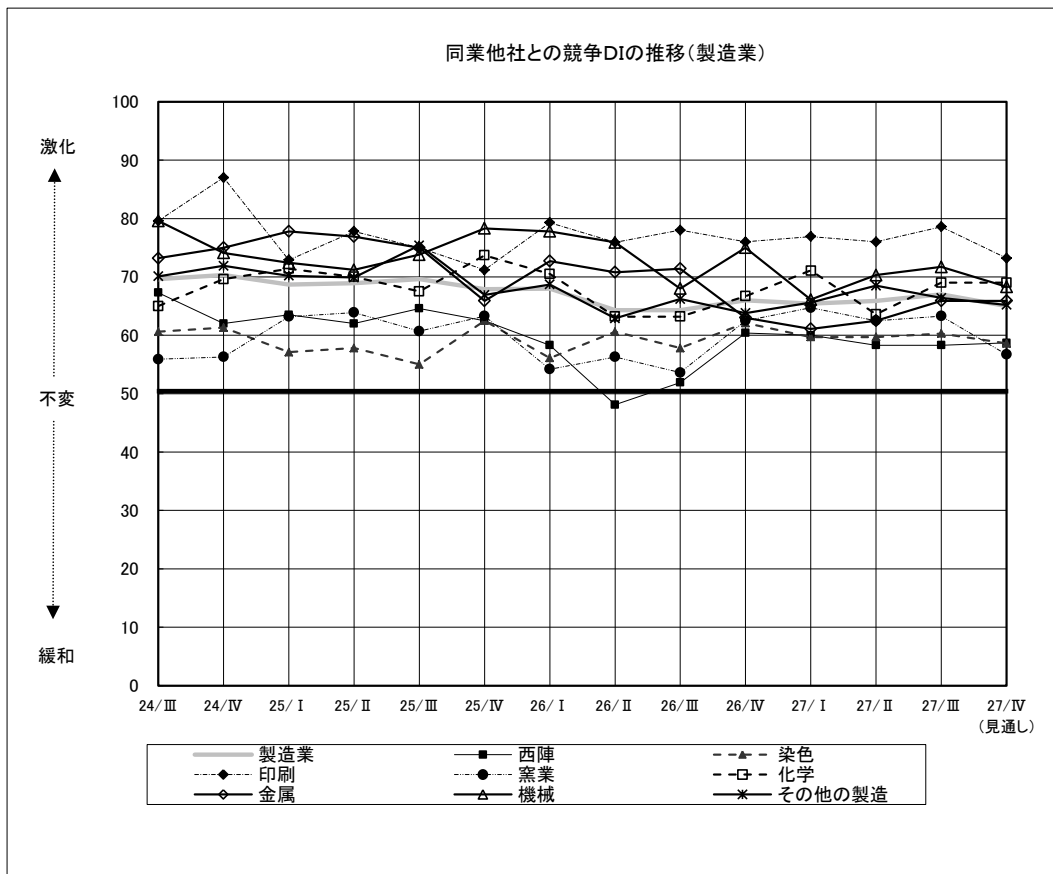


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	68.4	69.9	△ 1.5	69.3	▼ 0.6
製造業	65.9	67.0	△ 1.1	65.0	▼ 2.0
西陣	58.3	58.3	0.0	58.7	△ 0.4
染色	59.7	60.3	△ 0.6	58.6	▼ 1.7
印刷	76.0	78.6	△ 2.6	73.2	▼ 5.4
窯業	62.5	63.3	△ 0.8	56.7	▼ 6.6
化学	63.6	69.0	△ 5.4	69.0	0.0
金属	62.5	65.9	△ 3.4	65.9	0.0
機械	70.3	71.7	△ 1.4	68.3	▼ 3.4
その他の製造	68.5	66.4	▼ 2.1	65.2	▼ 1.2
非製造業	70.9	72.8	△ 1.9	73.5	△ 0.7
卸売	74.2	75.8	△ 1.6	76.7	△ 0.9
小売	73.8	74.0	△ 0.2	75.5	△ 1.5
情報通信	63.0	65.0	△ 2.0	65.8	△ 0.8
飲食・宿泊	70.0	76.0	△ 6.0	75.0	▼ 1.0
サービス	62.8	68.3	△ 5.5	68.3	0.0
建設	77.3	73.0	▼ 4.3	74.3	△ 1.3
観光関連	70.2	75.6	△ 5.4	74.4	▼ 1.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

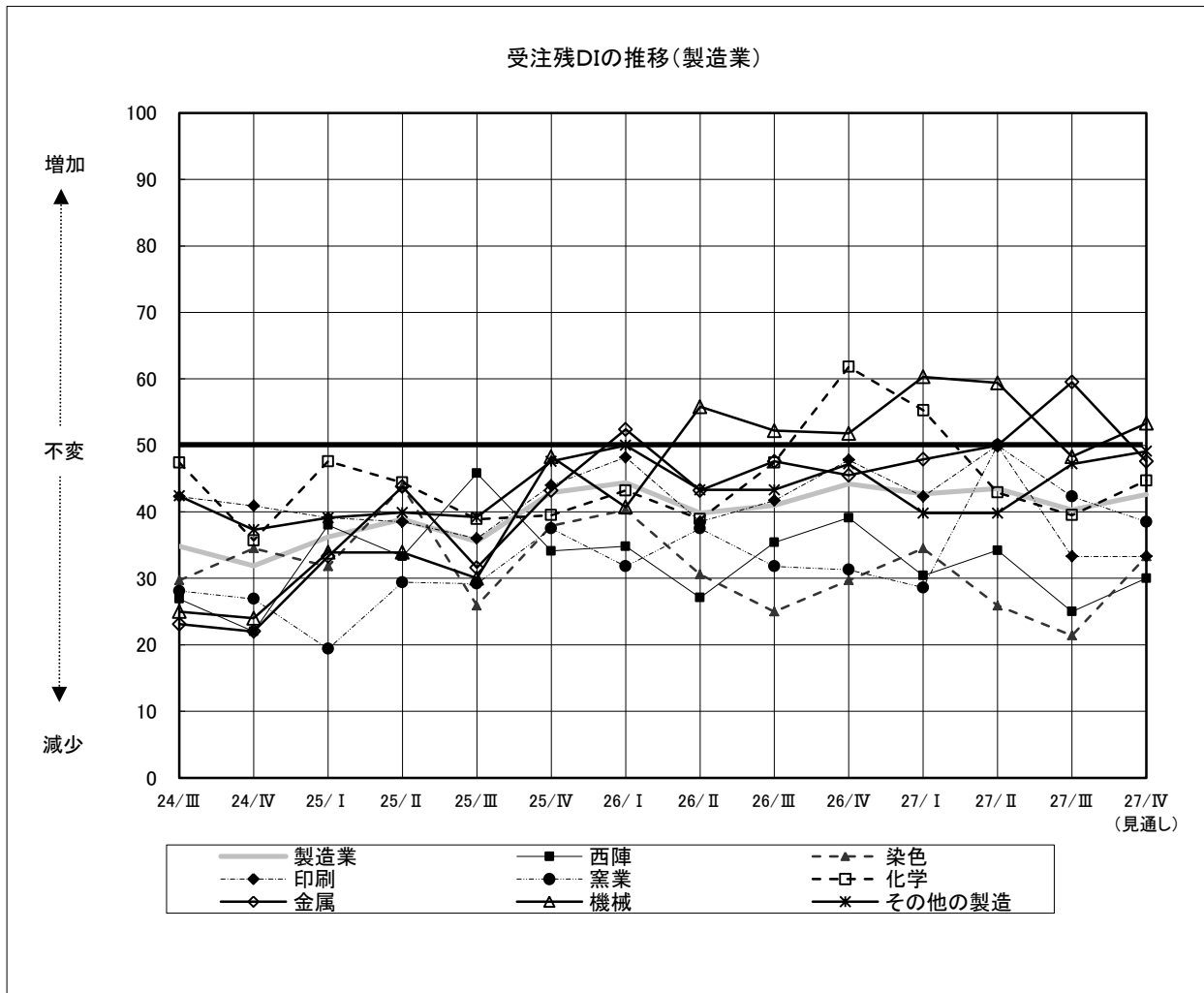


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	43.5	40.3	▼ 3.2	△ 2.3
西陣	34.2	25.0	▼ 9.2	△ 5.0
染色	25.9	21.4	▼ 4.5	△ 11.9
印刷	50.0	33.3	▼ 16.7	0.0
窯業	50.0	42.3	▼ 7.7	▼ 3.8
化学	42.9	39.5	▼ 3.4	△ 5.2
金属	50.0	59.5	△ 9.5	▼ 11.9
機械	59.4	48.3	▼ 11.1	△ 5.0
その他の製造	39.8	47.2	△ 7.4	△ 1.9
観光関連	46.4	46.9	△ 0.5	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

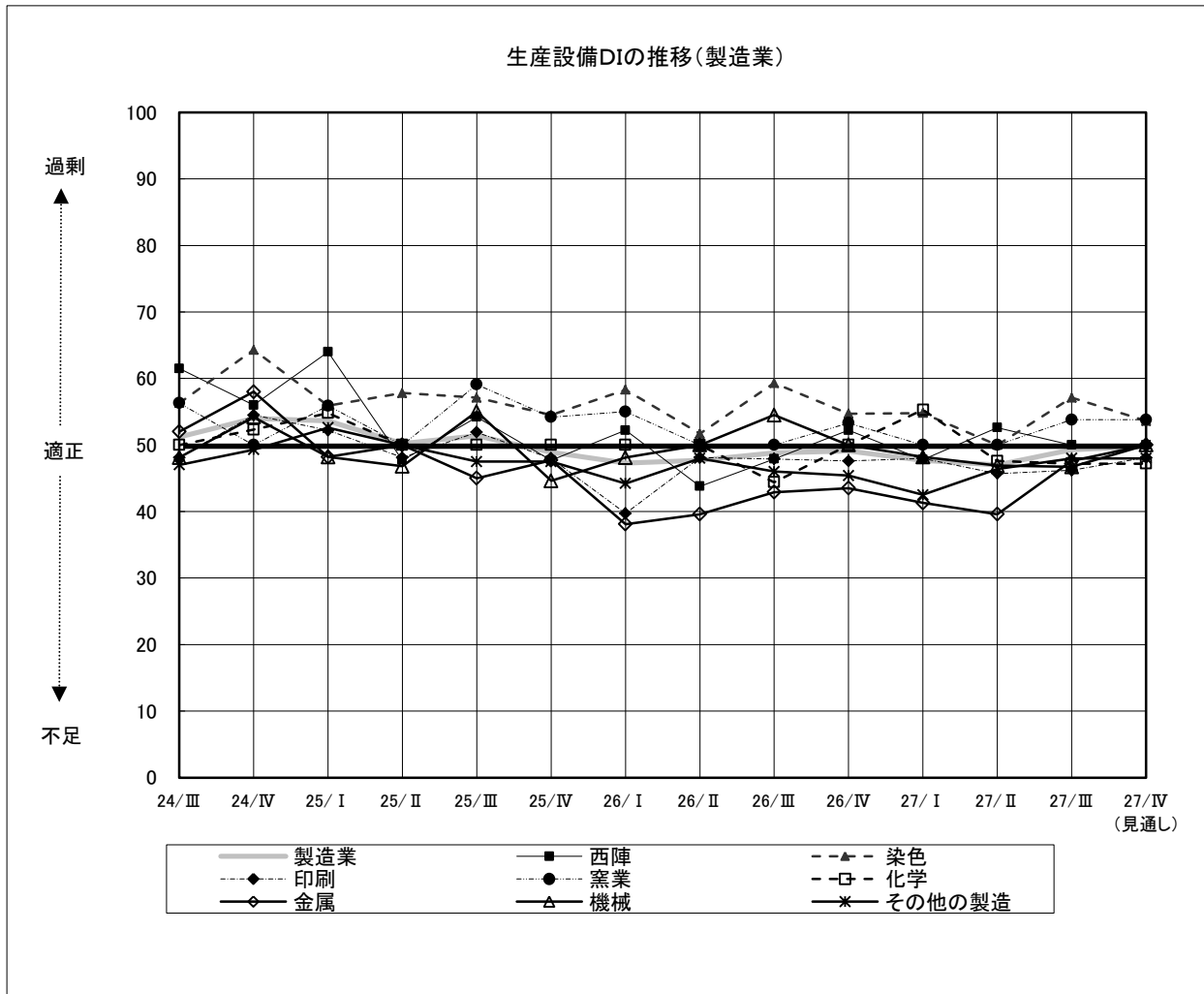


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	47.0	49.3	△ 2.3	49.8	△ 0.5
西陣	52.6	50.0	▼ 2.6	50.0	0.0
染色	50.0	57.1	△ 7.1	53.6	▼ 3.5
印刷	45.7	46.2	△ 0.5	48.1	△ 1.9
窯業	50.0	53.8	△ 3.8	53.8	0.0
化学	47.6	47.2	▼ 0.4	47.2	0.0
金属	39.6	47.6	△ 8.0	50.0	△ 2.4
機械	46.9	46.7	▼ 0.2	50.0	△ 3.3
その他の製造	46.4	48.0	△ 1.6	48.0	0.0
観光関連	50.0	46.9	▼ 3.1	50.0	△ 3.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

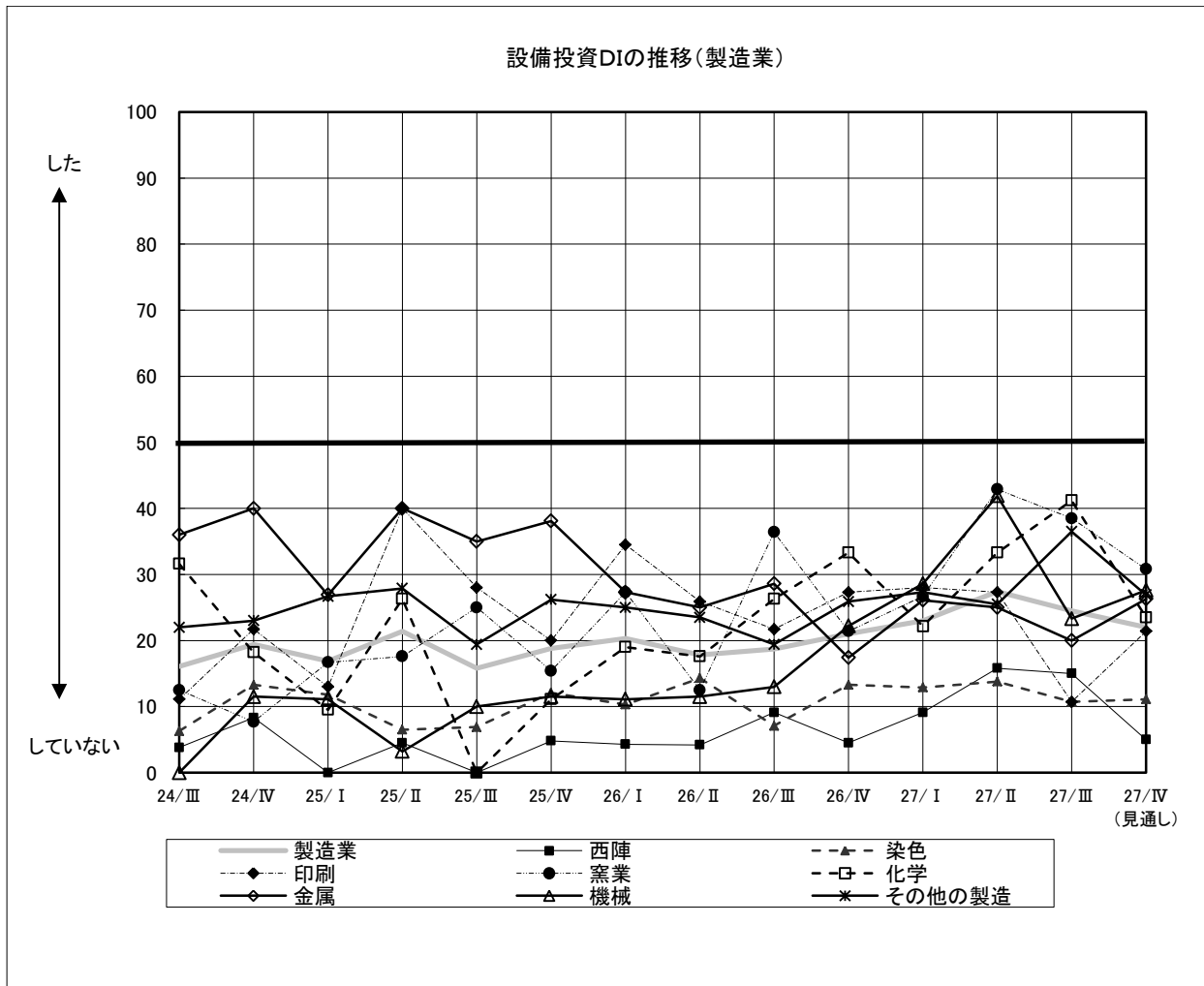


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	27.4	24.5	▼ 2.9	22.0	▼ 2.5
西陣	15.8	15.0	▼ 0.8	5.0	▼ 10.0
染色	13.8	10.7	▼ 3.1	11.1	△ 0.4
印刷	27.3	10.7	▼ 16.6	21.4	△ 10.7
窯業	42.9	38.5	▼ 4.4	30.8	▼ 7.7
化学	33.3	41.2	△ 7.9	23.5	▼ 17.7
金属	25.0	20.0	▼ 5.0	26.3	△ 6.3
機械	41.9	23.3	▼ 18.6	27.6	△ 4.3
その他の製造	25.5	36.5	△ 11.0	26.9	▼ 9.6
観光関連	23.1	37.5	△ 14.4	6.3	▼ 31.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

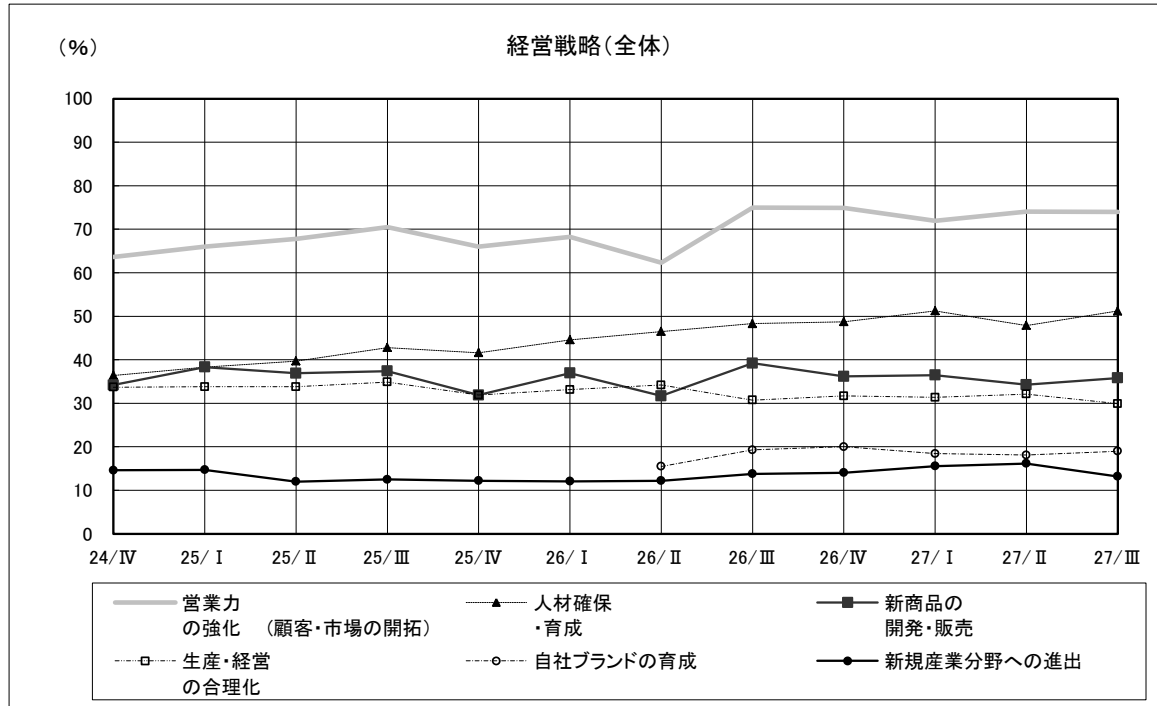


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

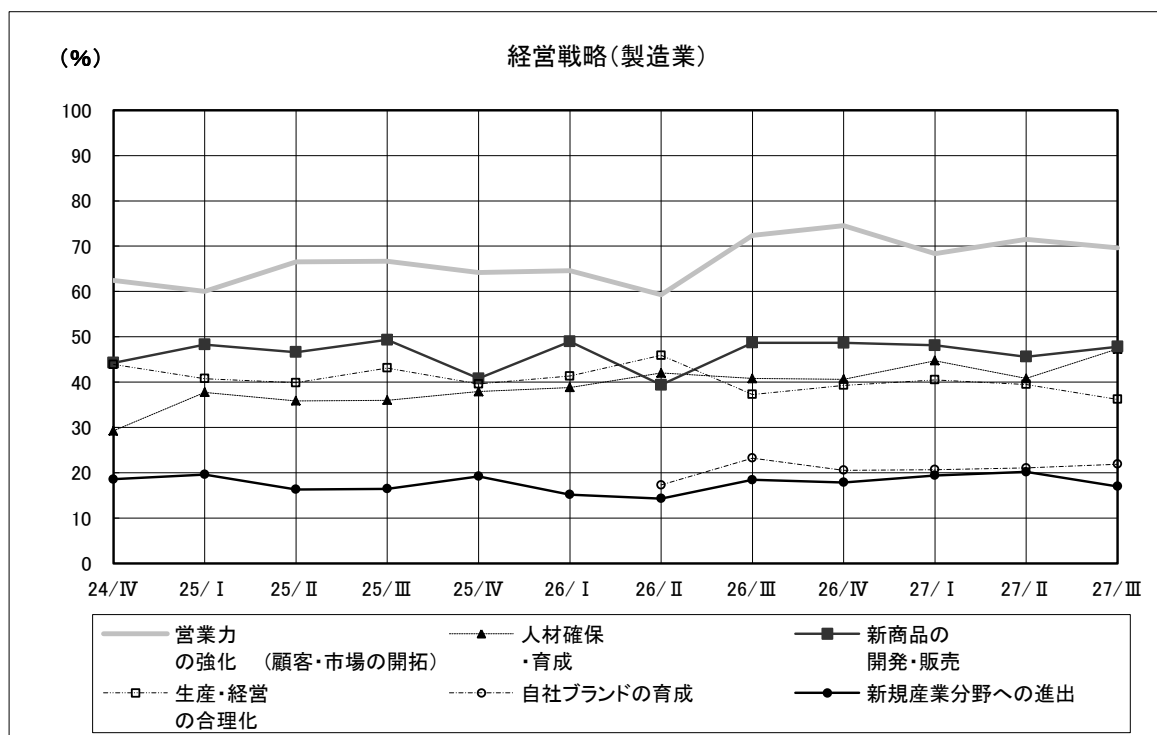


図 24. 当面の経営戦略・西陣

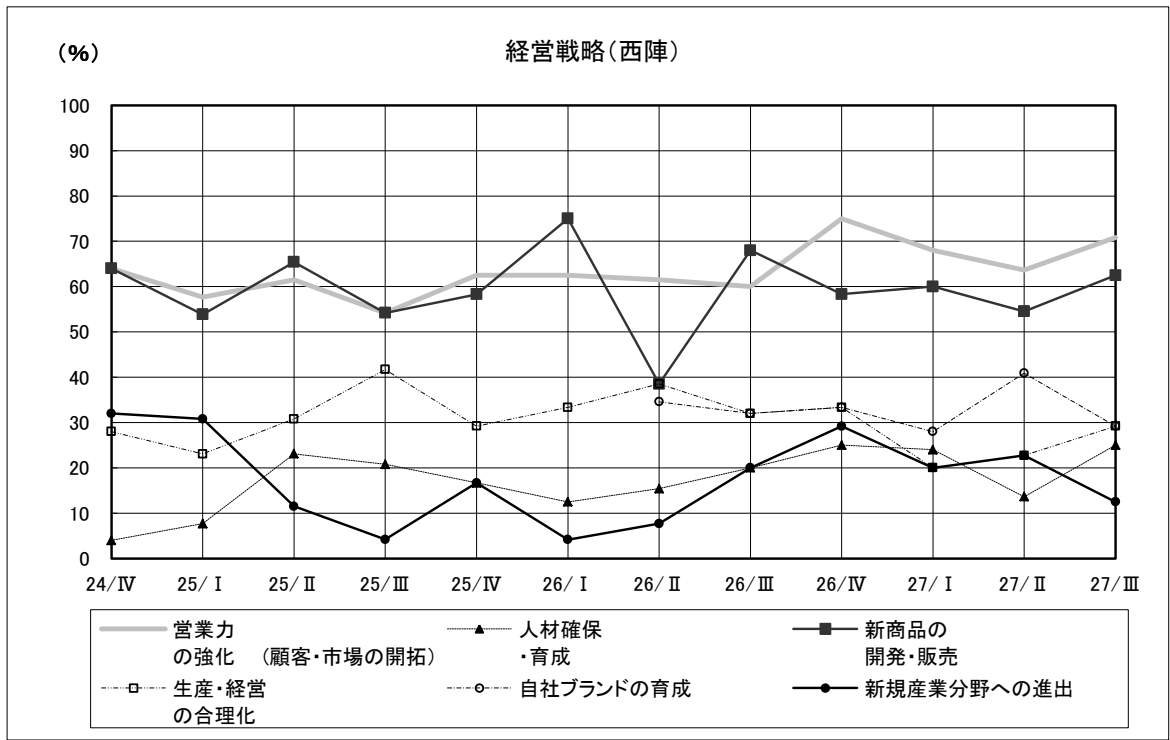


図 25. 当面の経営戦略・染色

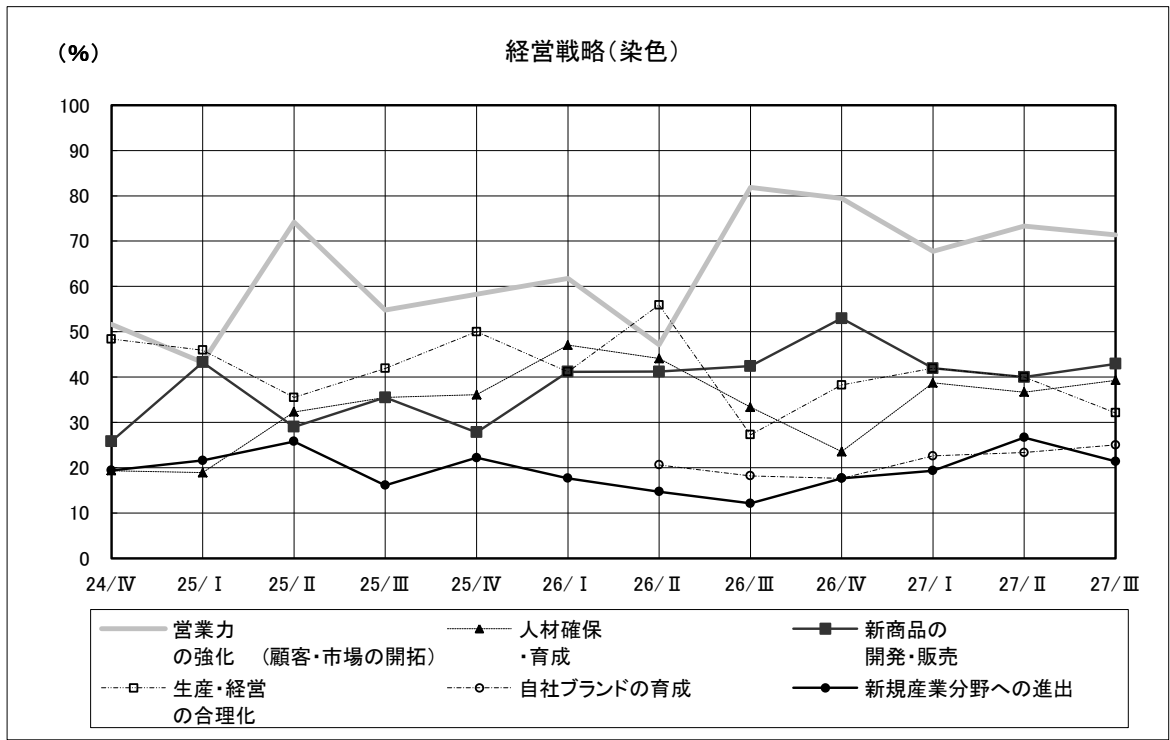


図 26. 当面の経営戦略・印刷

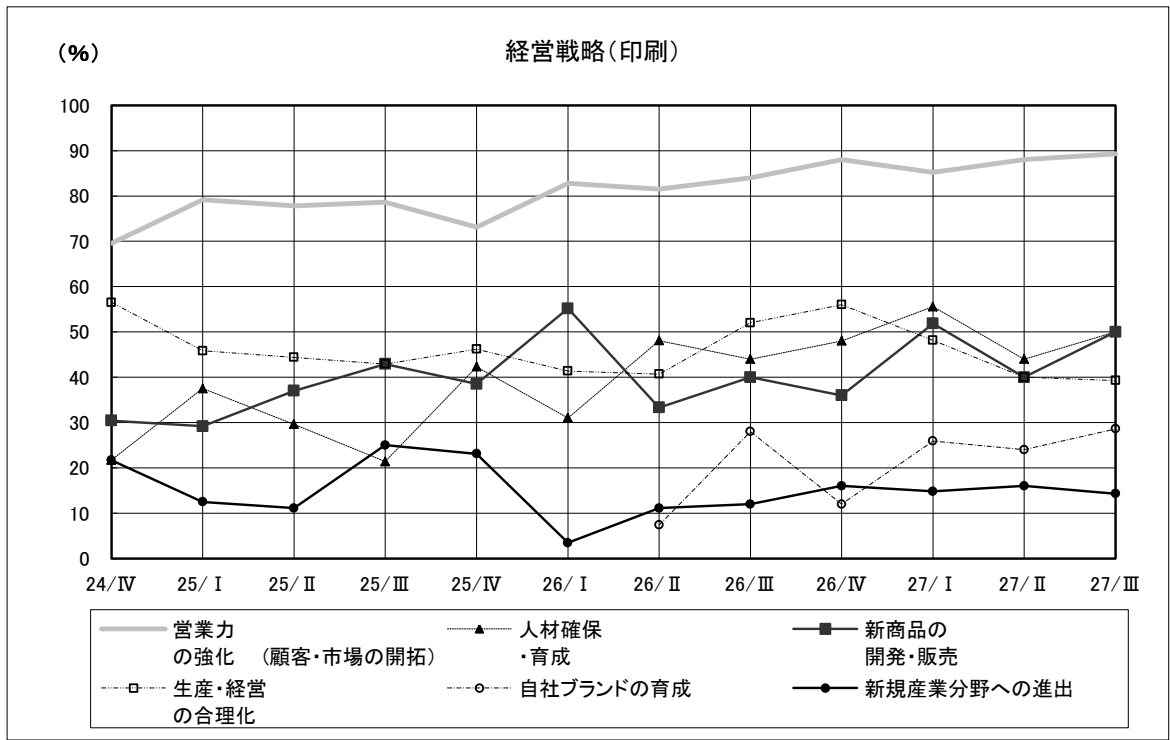


図 27. 当面の経営戦略・窯業

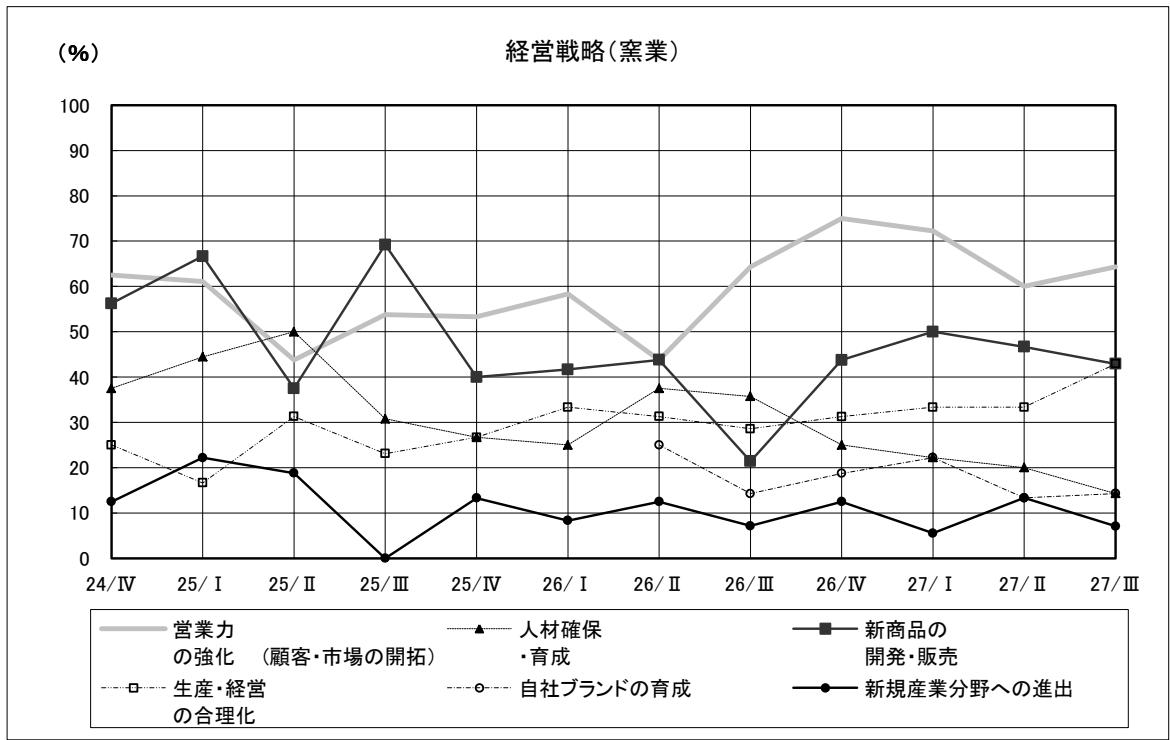


図 28. 当面の経営戦略・化学

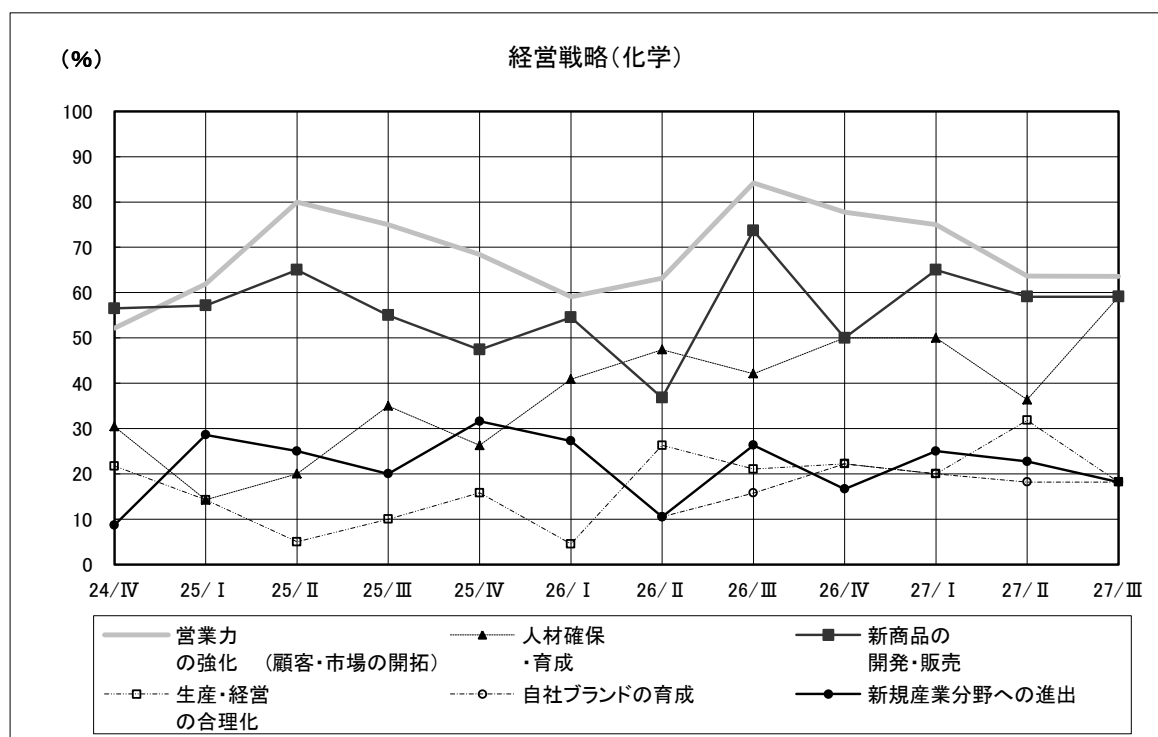


図 29. 当面の経営戦略・金属

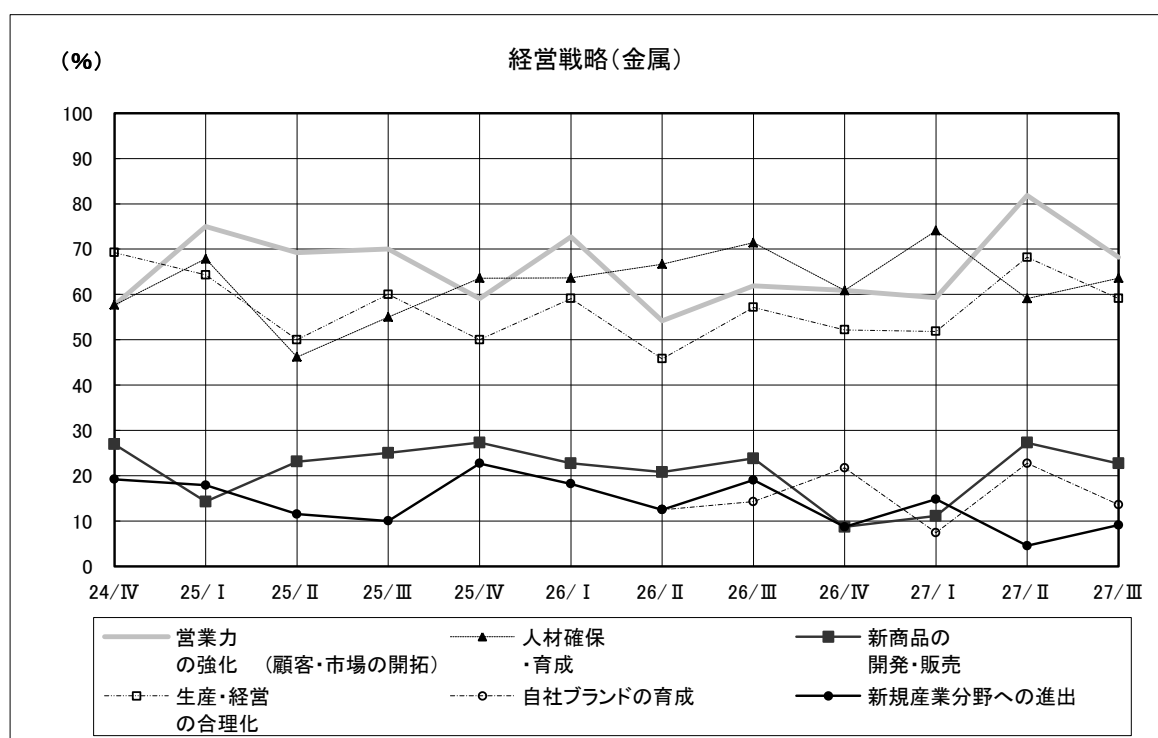


図 30. 当面の経営戦略・機械

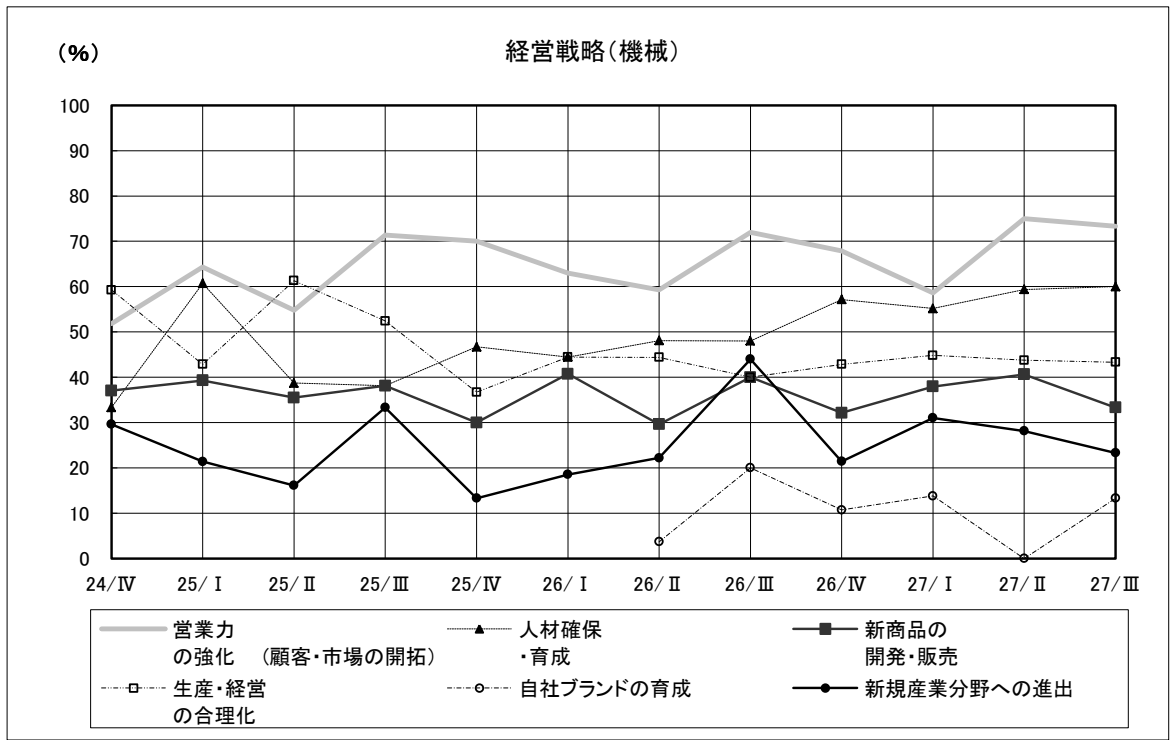


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

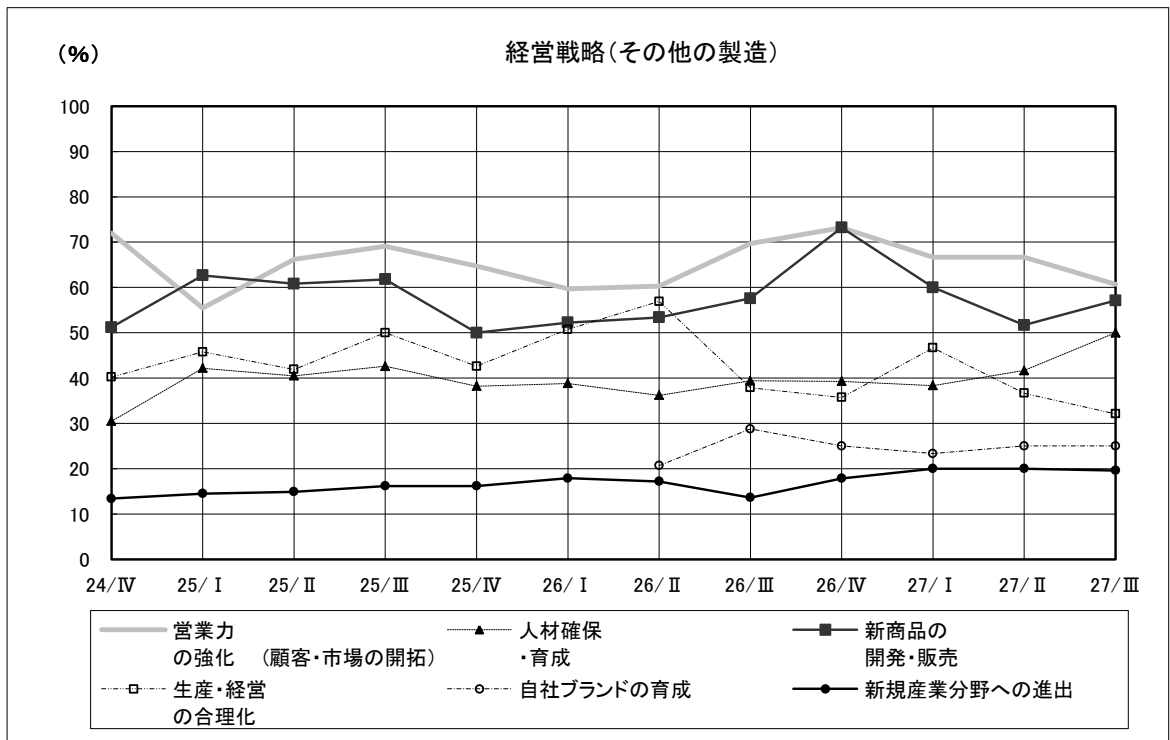


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

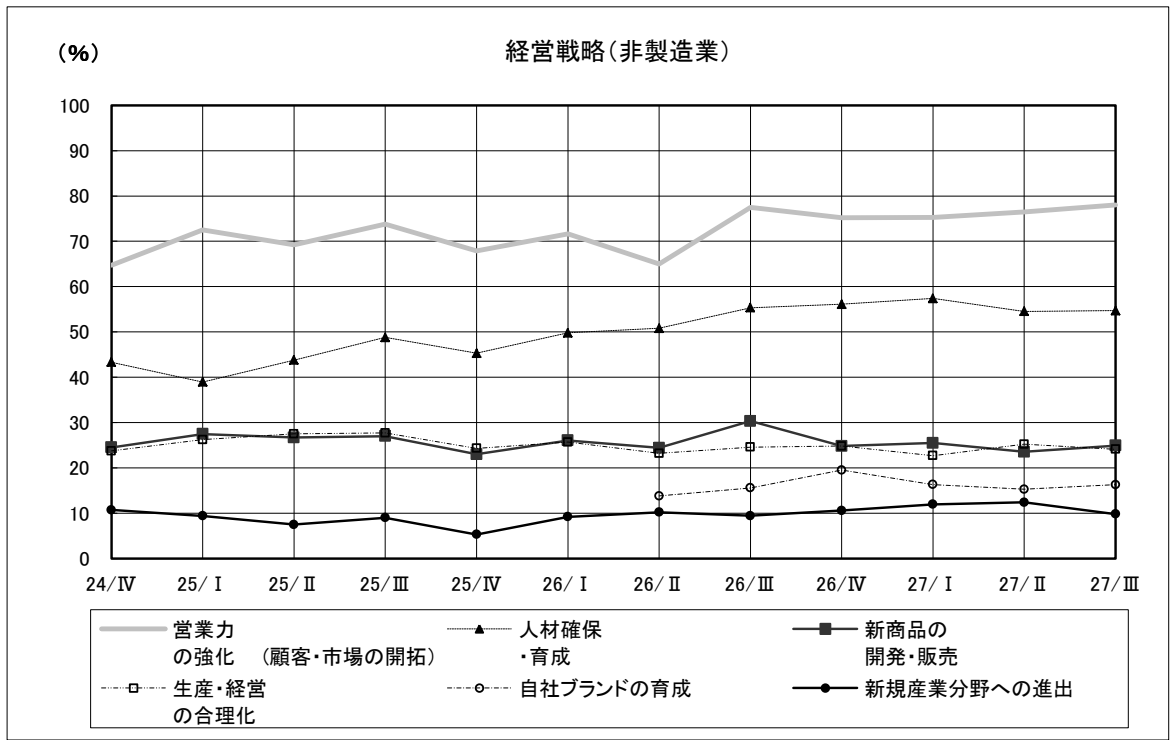


図 33. 当面の経営戦略・卸売

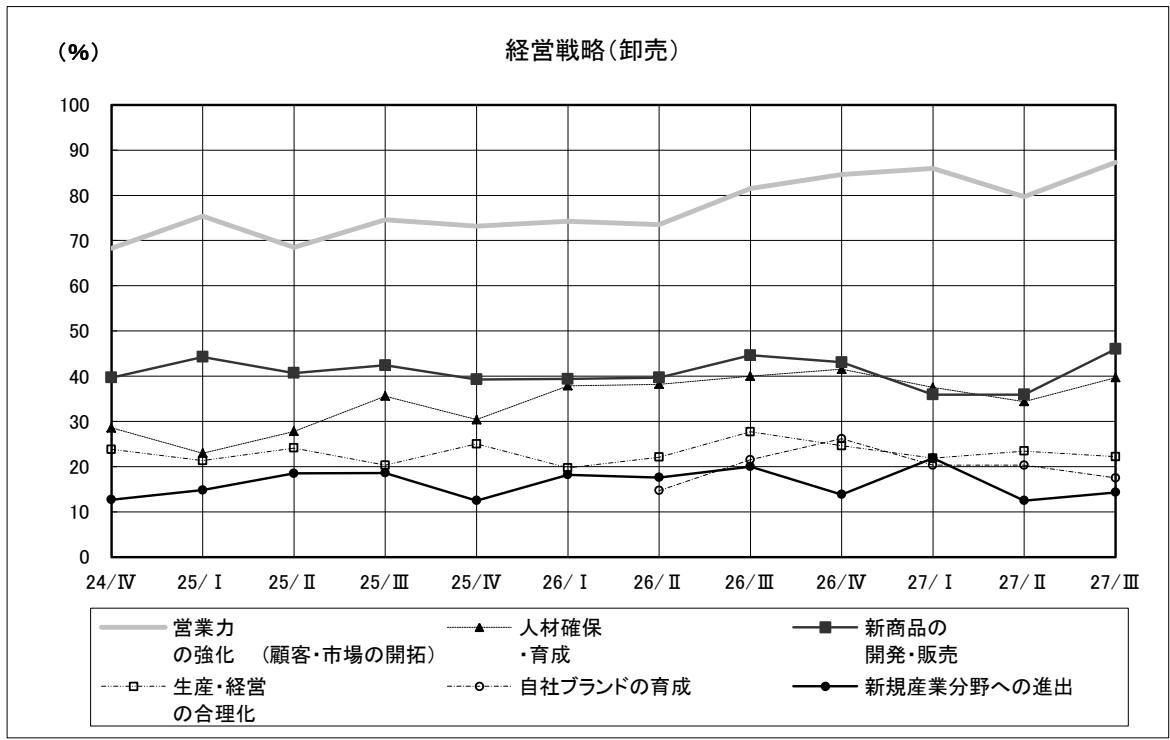


図 34. 当面の経営戦略・小売

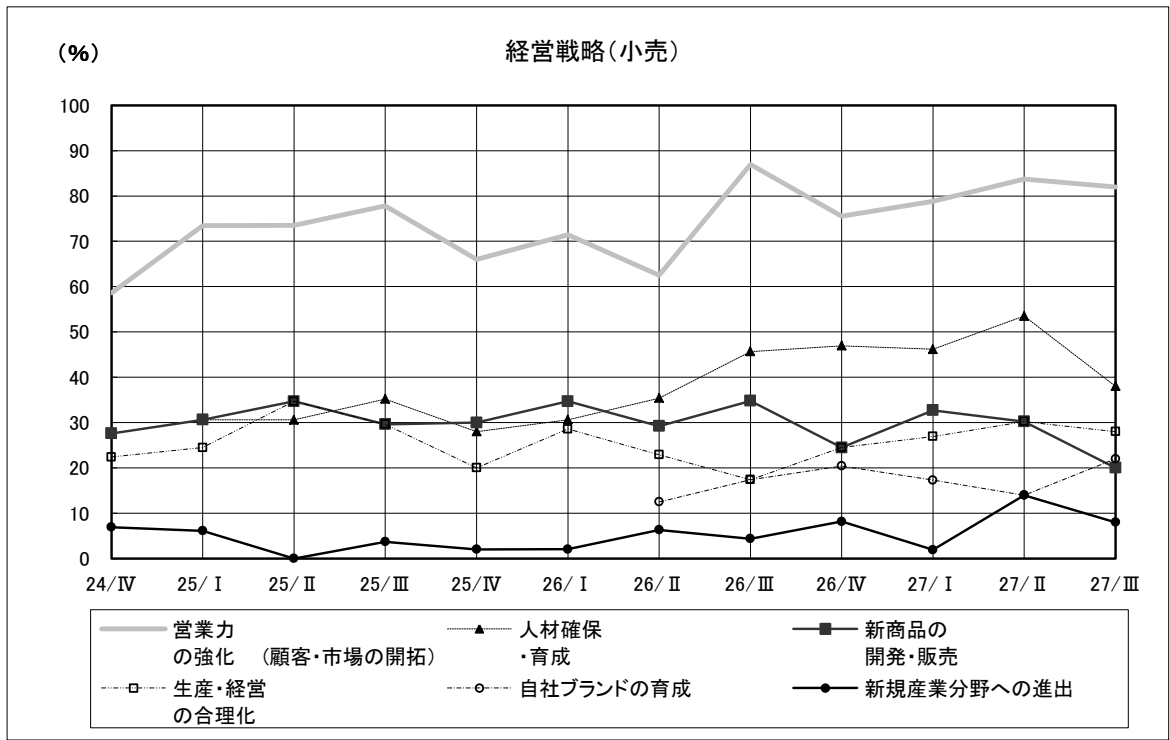


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

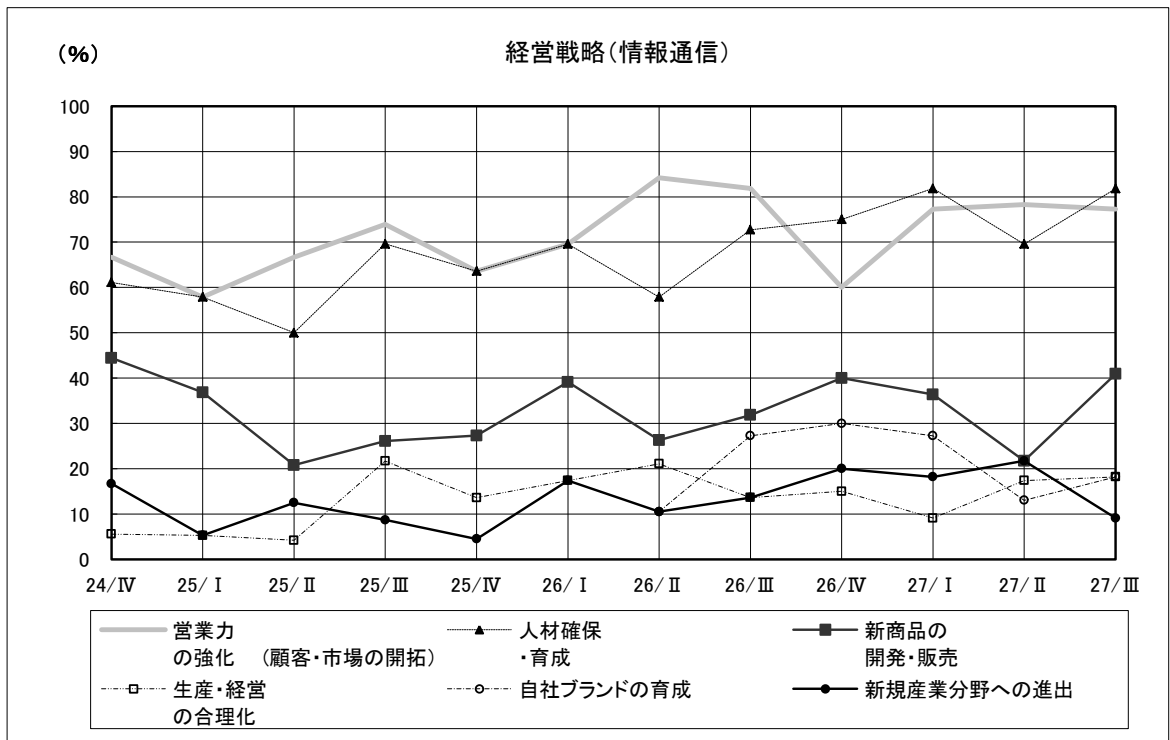


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

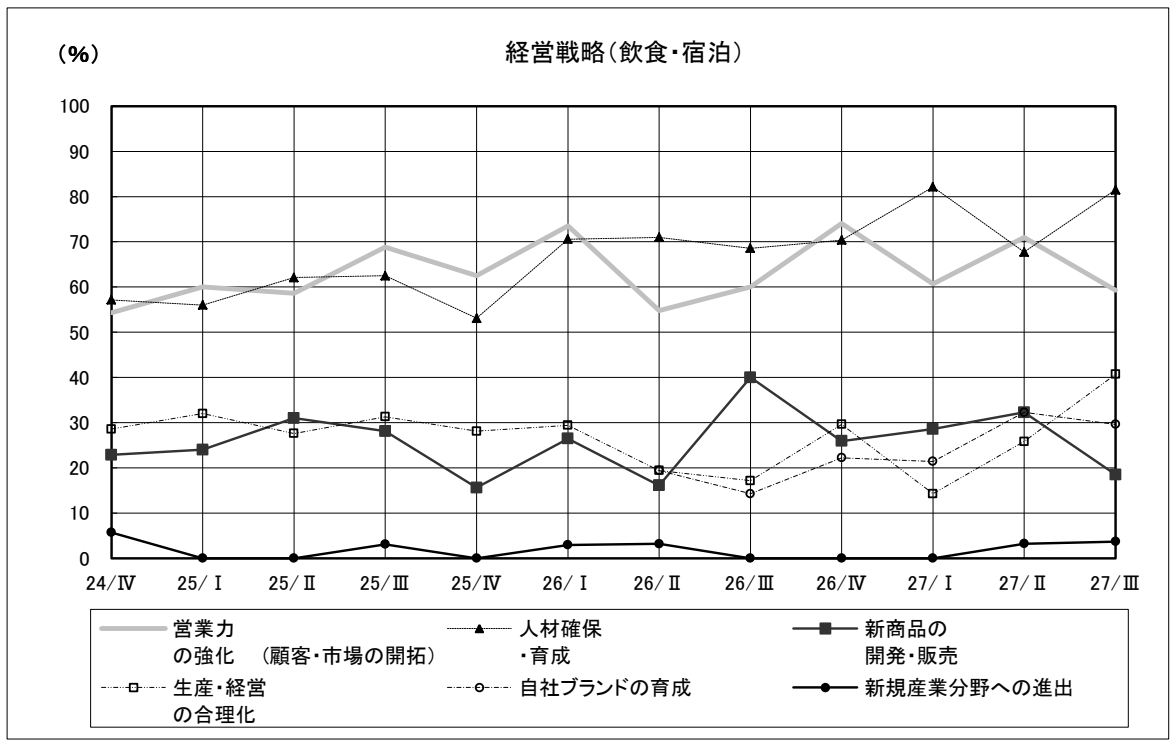


図 37. 当面の経営戦略・サービス

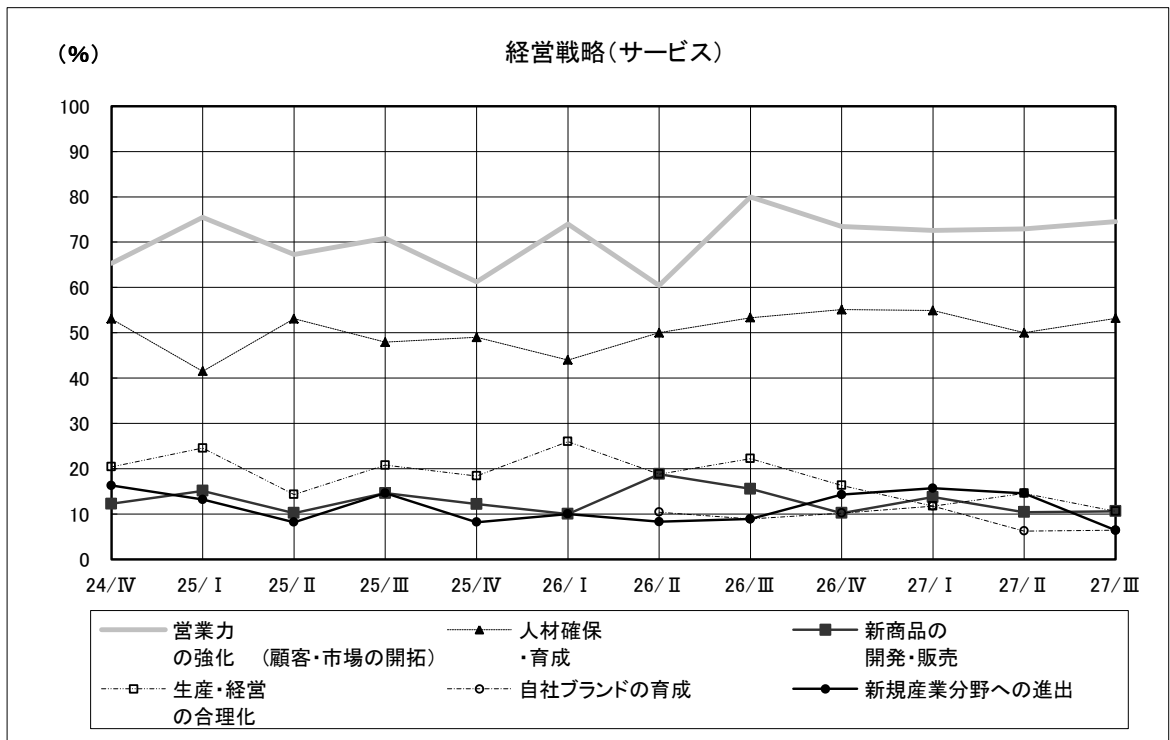


図 38. 当面の経営戦略・建設

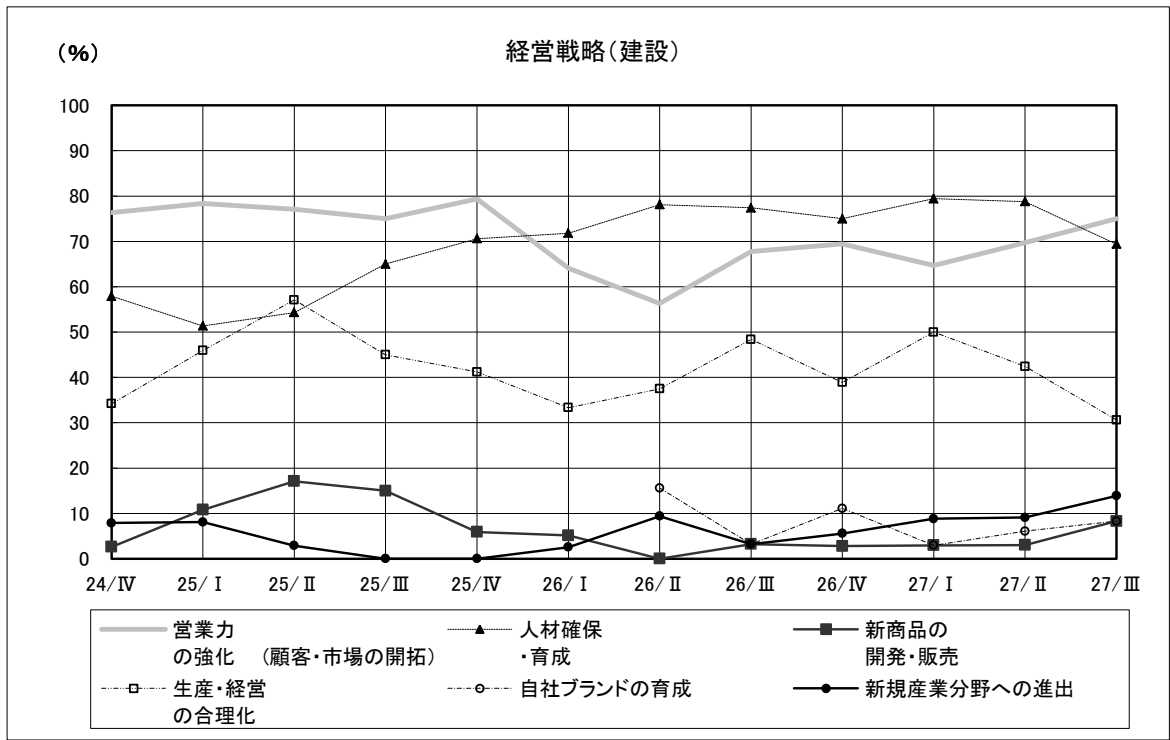


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	347 74.0%	140 29.9%	240 51.2%	62 13.2%	89 19.0%	168 35.8%	33 7.0%	60 12.8%	6 1.3%	469 100.0%	12
製造業	156 69.6%	81 36.2%	106 47.3%	38 17.0%	49 21.9%	107 47.8%	25 11.2%	25 11.2%	2 0.9%	224 100.0%	6
西陣	17 70.8%	7 29.2%	6 25.0%	3 12.5%	7 29.2%	15 62.5%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	24 100.0%	1
染色	20 71.4%	9 32.1%	11 39.3%	6 21.4%	7 25.0%	12 42.9%	4 14.3%	1 3.6%	0 0.0%	28 100.0%	1
印刷	25 89.3%	11 39.3%	14 50.0%	4 14.3%	8 28.6%	14 50.0%	1 3.6%	9 32.1%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	9 64.3%	6 42.9%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	6 42.9%	2 14.3%	4 28.6%	1 7.1%	14 100.0%	1
化学	14 63.6%	4 18.2%	13 59.1%	4 18.2%	4 18.2%	13 59.1%	4 18.2%	4 18.2%	1 4.5%	22 100.0%	0
金属	15 68.2%	13 59.1%	14 63.6%	2 9.1%	3 13.6%	5 22.7%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%	0
機械	22 73.3%	13 43.3%	18 60.0%	7 23.3%	4 13.3%	10 33.3%	5 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%	1
その他の製造	34 60.7%	18 32.1%	28 50.0%	11 19.6%	14 25.0%	32 57.1%	4 7.1%	4 7.1%	0 0.0%	56 100.0%	2
非製造業	191 78.0%	59 24.1%	134 54.7%	24 9.8%	40 16.3%	61 24.9%	8 3.3%	35 14.3%	4 1.6%	245 100.0%	6
卸売	55 87.3%	14 22.2%	25 39.7%	9 14.3%	11 17.5%	29 46.0%	0 0.0%	6 9.5%	1 1.6%	63 100.0%	2
小売	41 82.0%	14 28.0%	19 38.0%	4 8.0%	11 22.0%	10 20.0%	0 0.0%	10 20.0%	0 0.0%	50 100.0%	2
情報通信	17 77.3%	4 18.2%	18 81.8%	2 9.1%	4 18.2%	9 40.9%	2 9.1%	5 22.7%	0 0.0%	22 100.0%	0
飲食・宿泊	16 59.3%	11 40.7%	22 81.5%	1 3.7%	8 29.6%	5 18.5%	2 7.4%	3 11.1%	0 0.0%	27 100.0%	0
サービス	35 74.5%	5 10.6%	25 53.2%	3 6.4%	3 6.4%	5 10.6%	3 6.4%	7 14.9%	3 6.4%	47 100.0%	0
建設	27 75.0%	11 30.6%	25 69.4%	5 13.9%	3 8.3%	3 8.3%	1 2.8%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%	2
観光関連	34 73.9%	13 28.3%	29 63.0%	1 2.2%	11 23.9%	20 43.5%	1 2.2%	7 15.2%	0 0.0%	46 100.0%	2

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

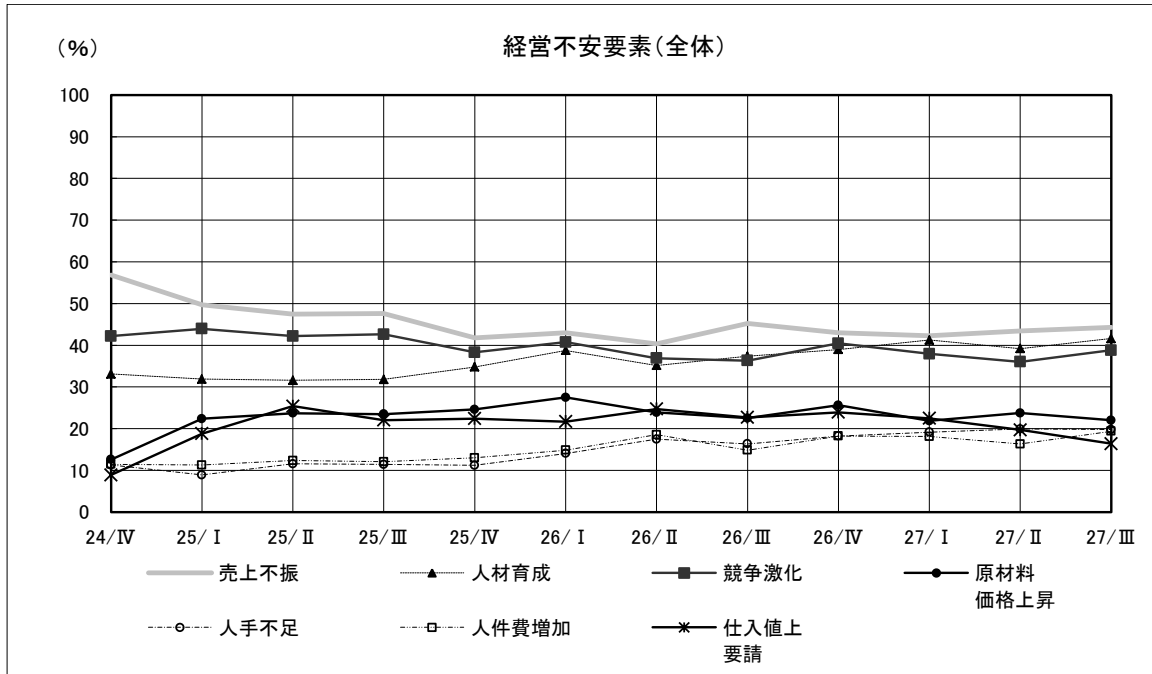


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

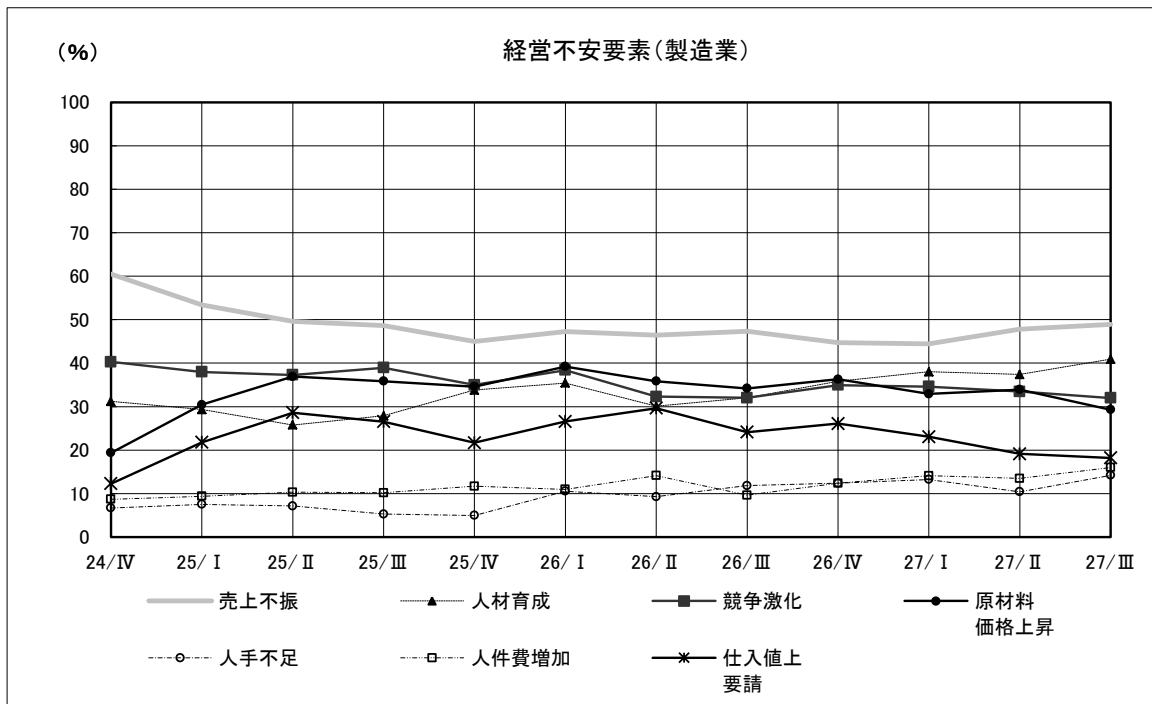


図 41. 経営上の不安要素・西陣

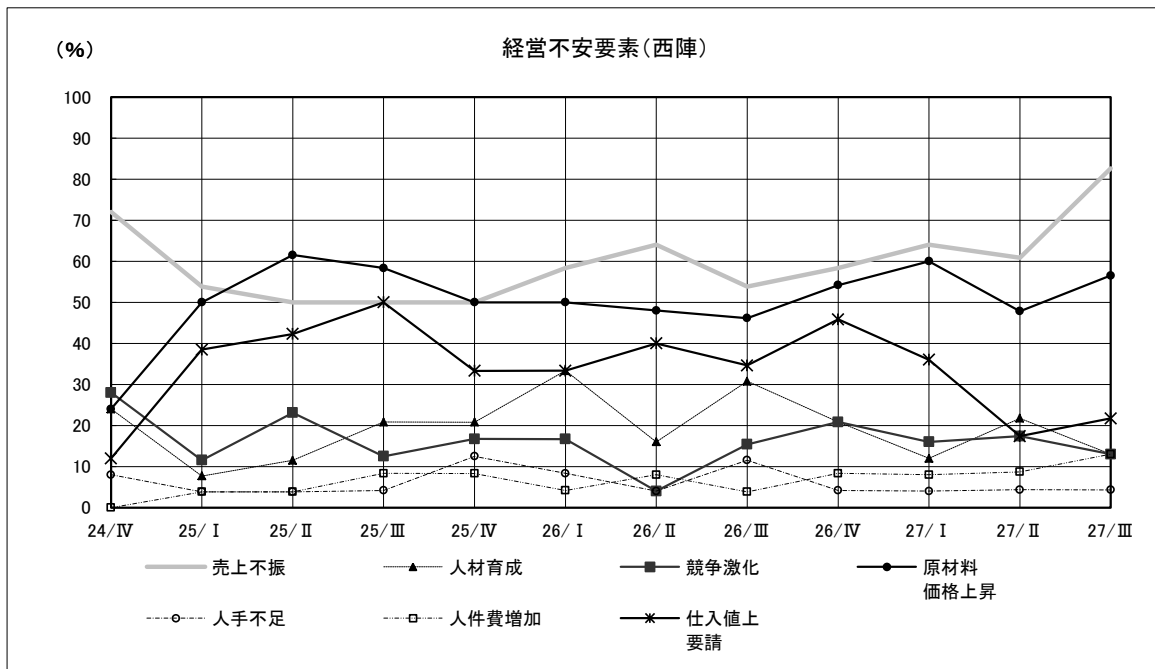


図 42. 経営上の不安要素・染色

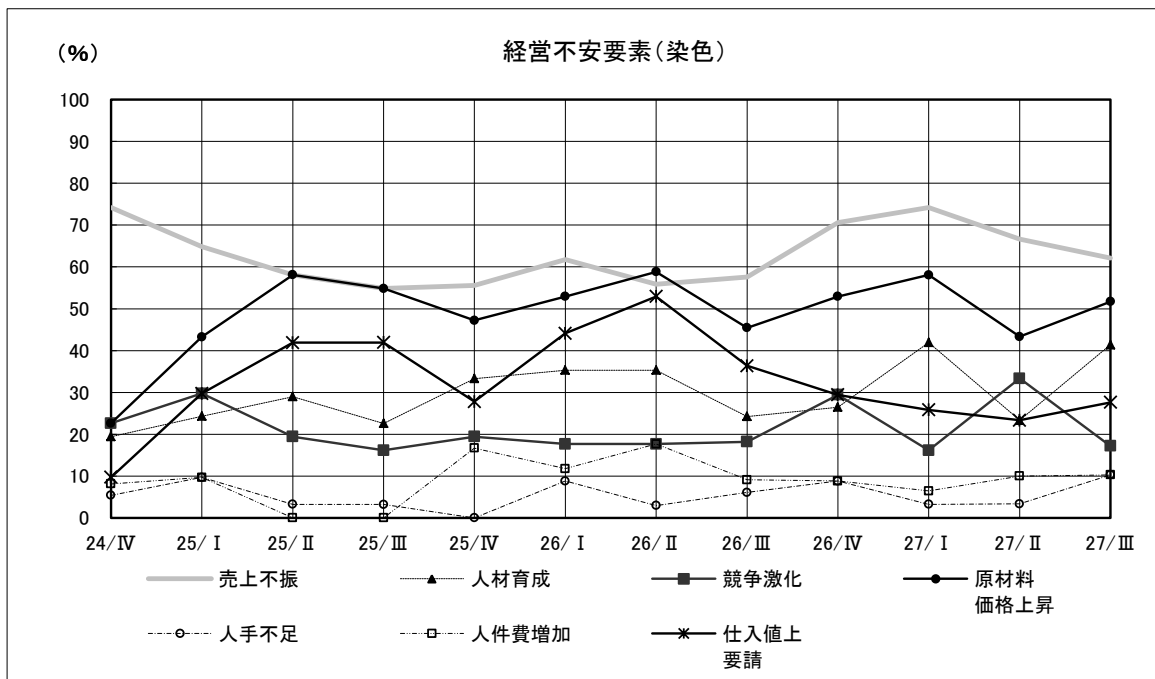


図 43. 経営上の不安要素・印刷

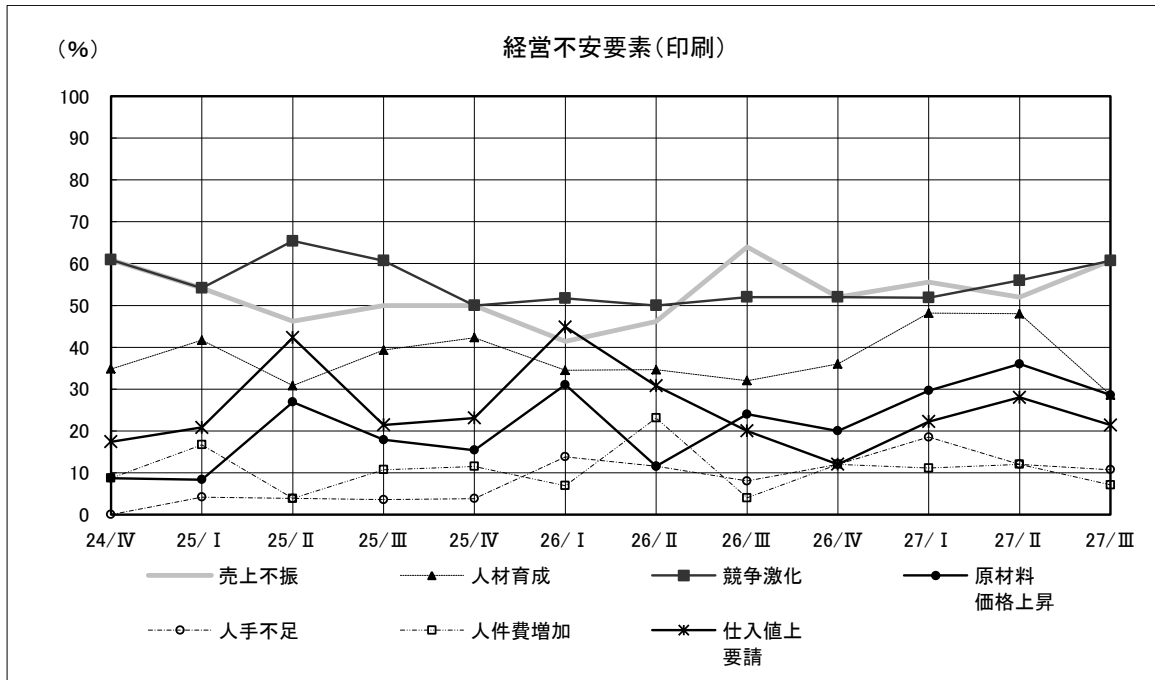


図 44. 経営上の不安要素・窯業

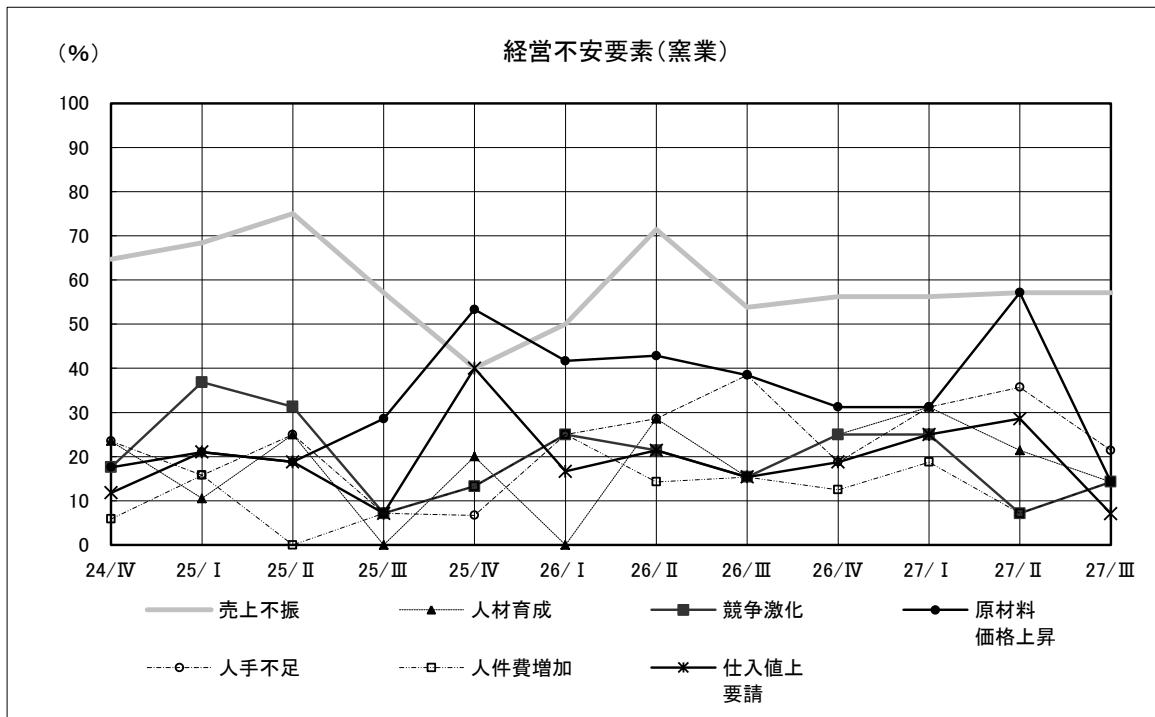


図 45. 経営上の不安要素・化学

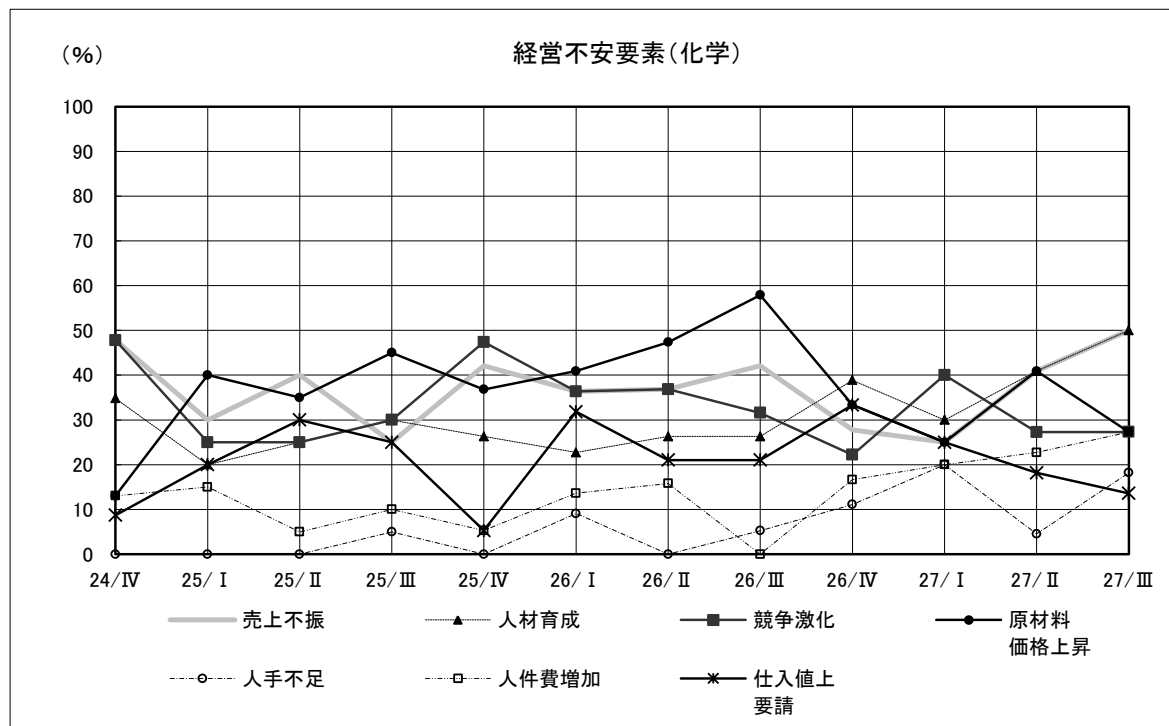


図 46. 経営上の不安要素・金属

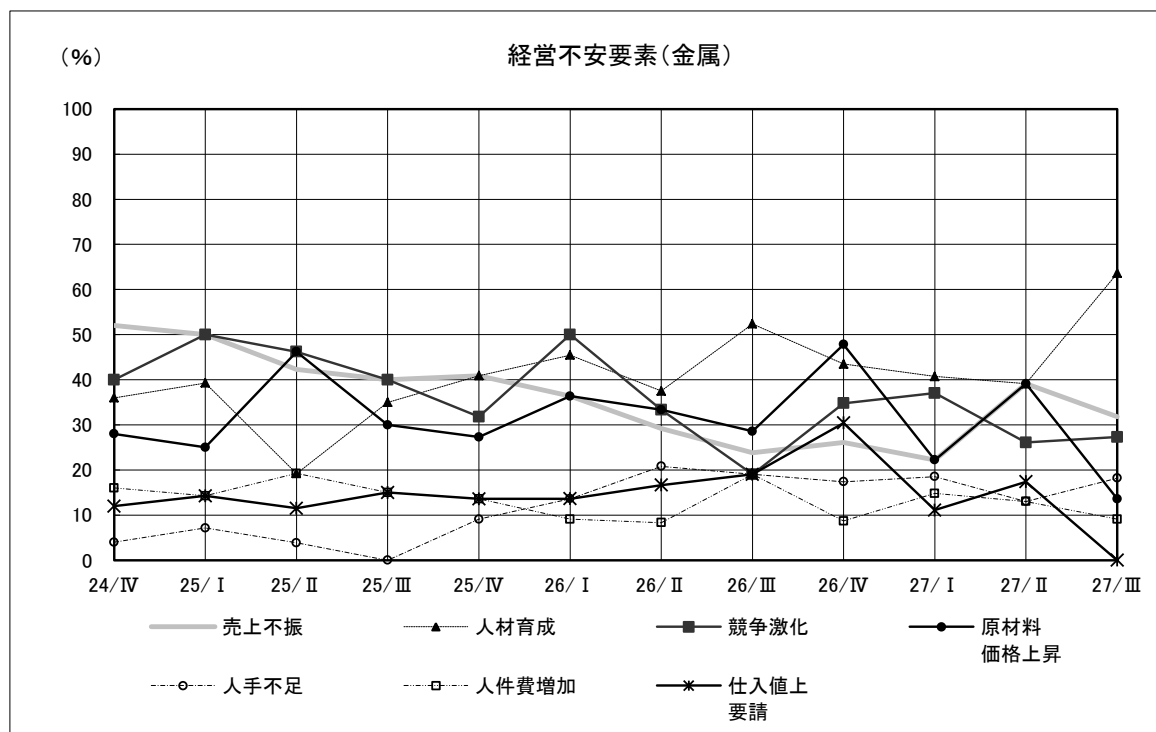


図 47. 経営上の不安要素・機械

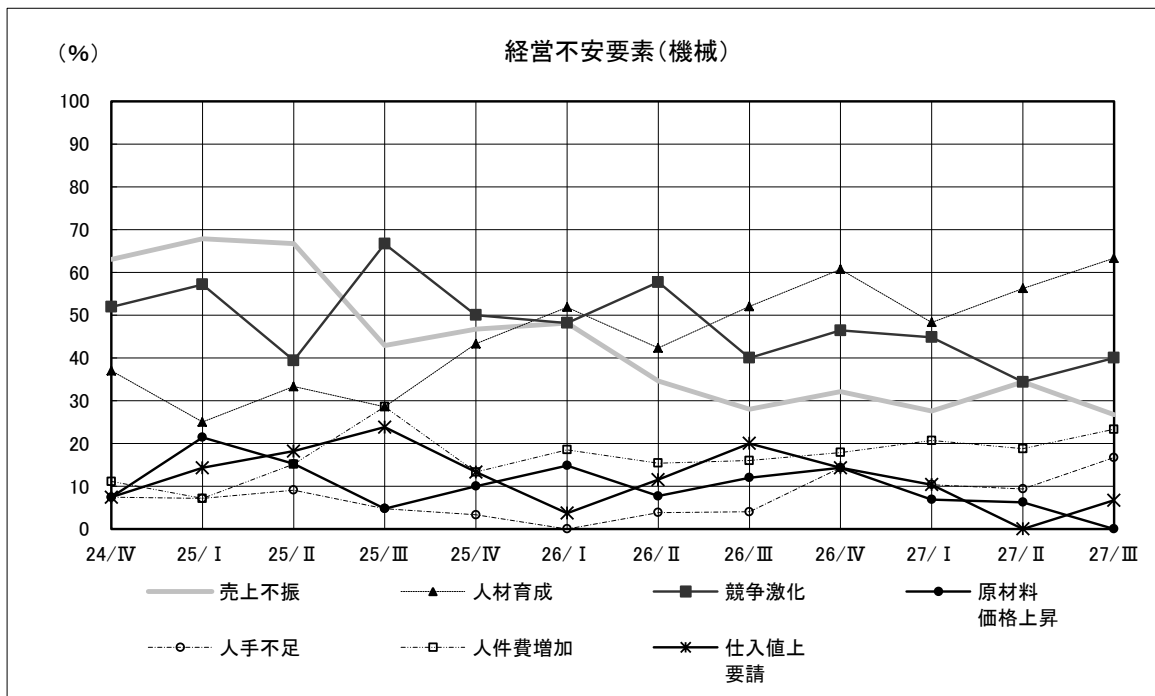


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

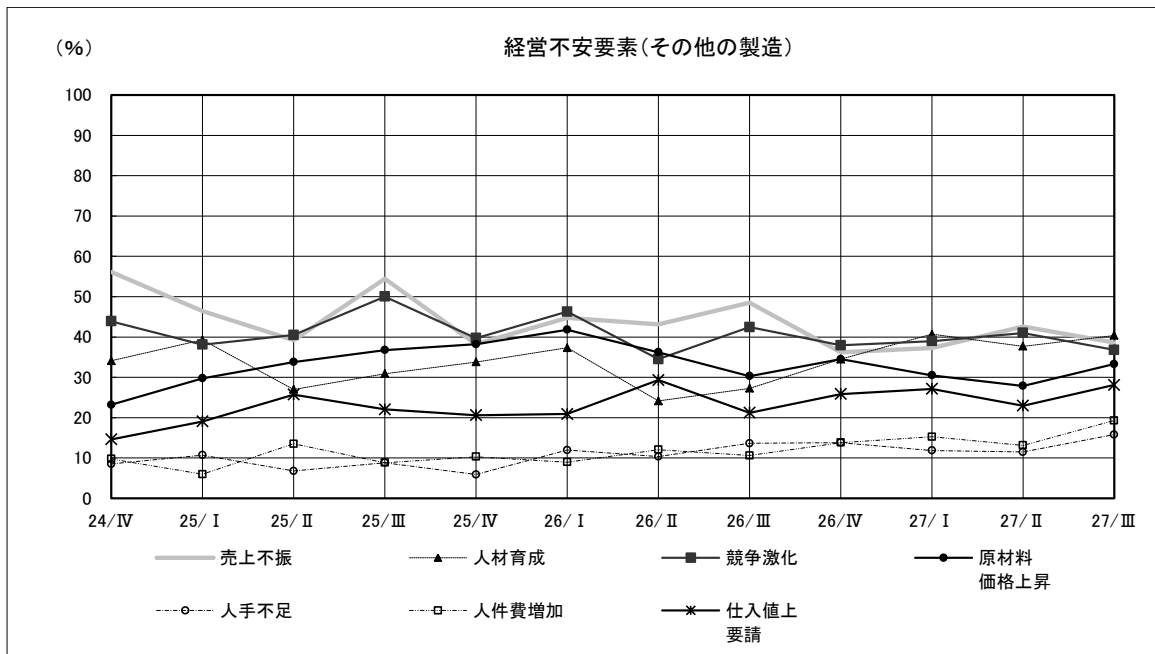


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

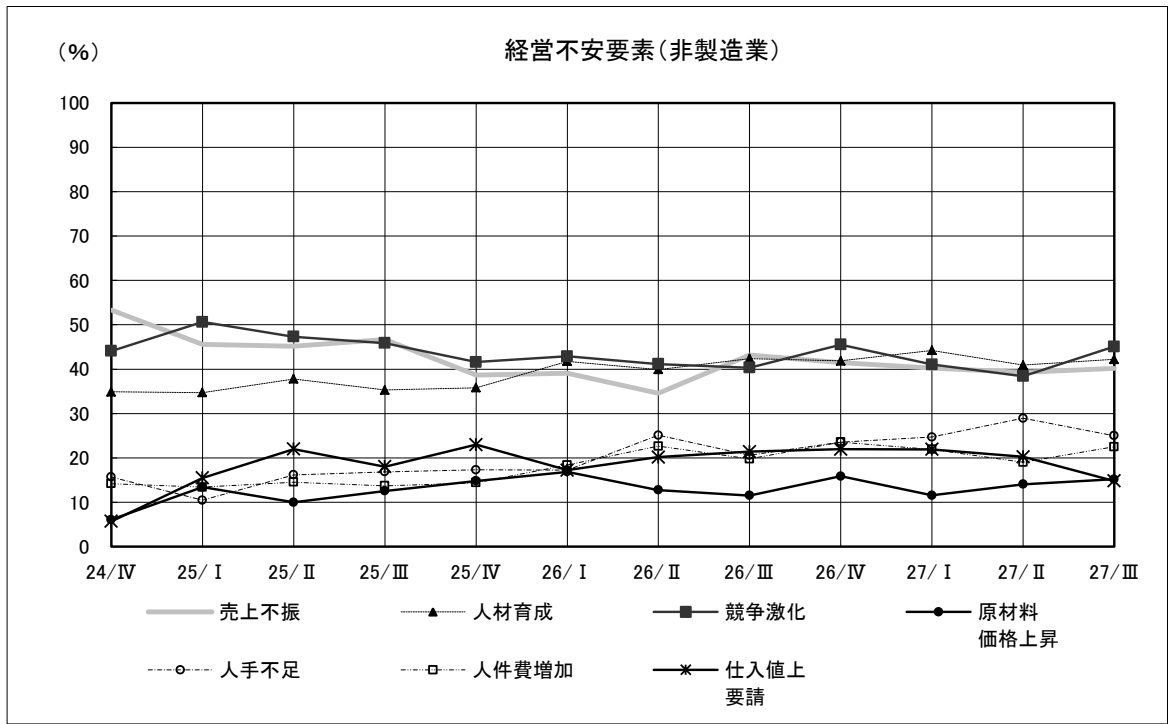


図 50. 経営上の不安要素・卸売

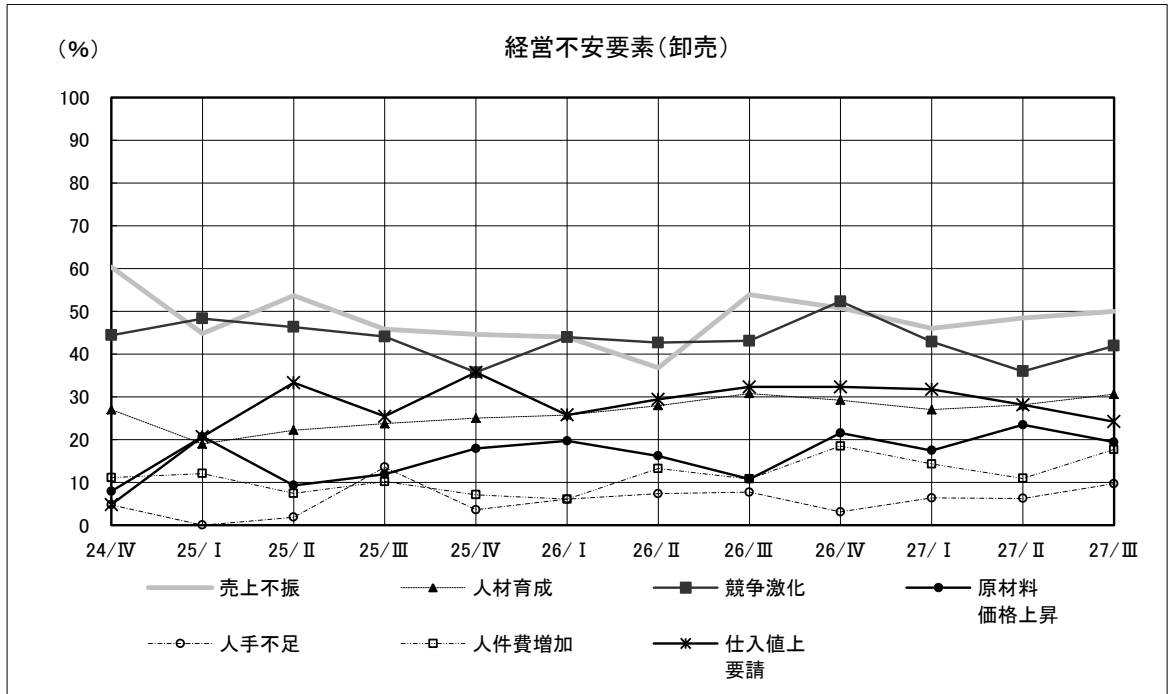


図 51. 経営上の不安要素・小売

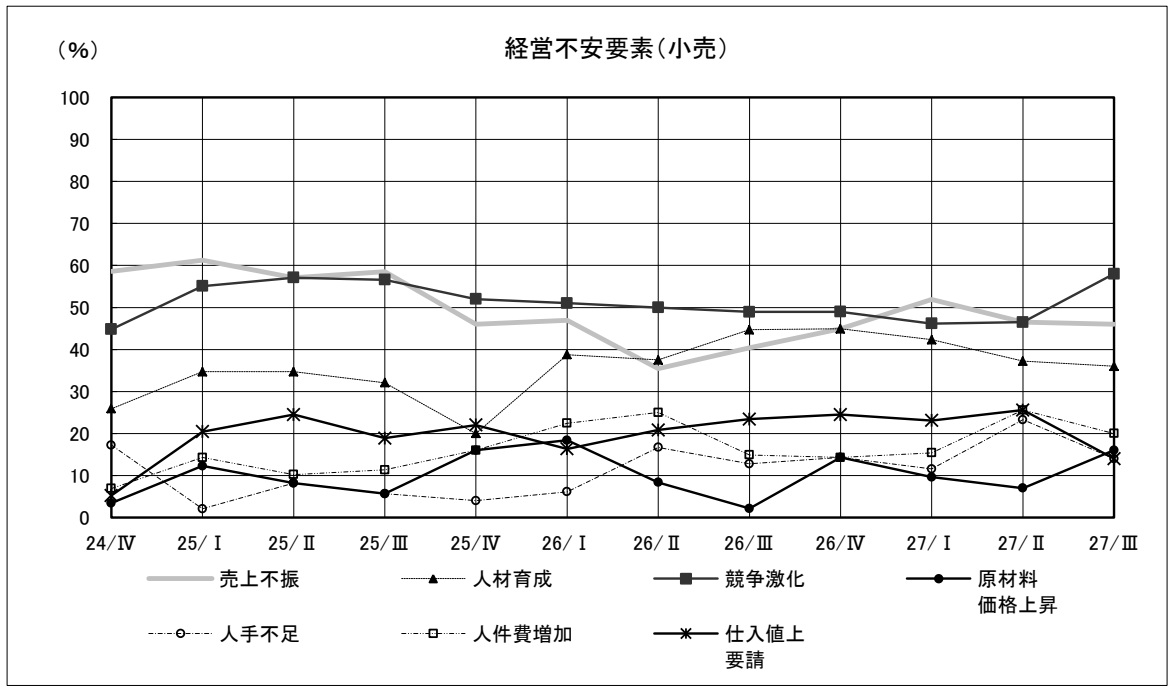


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

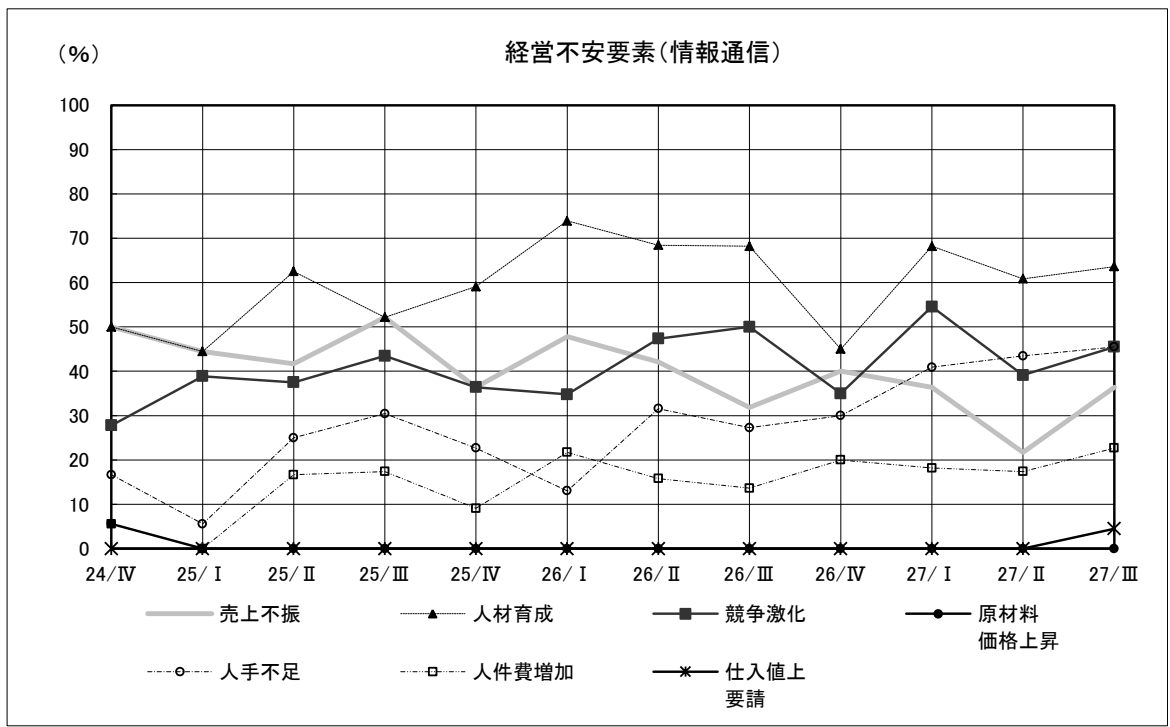


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

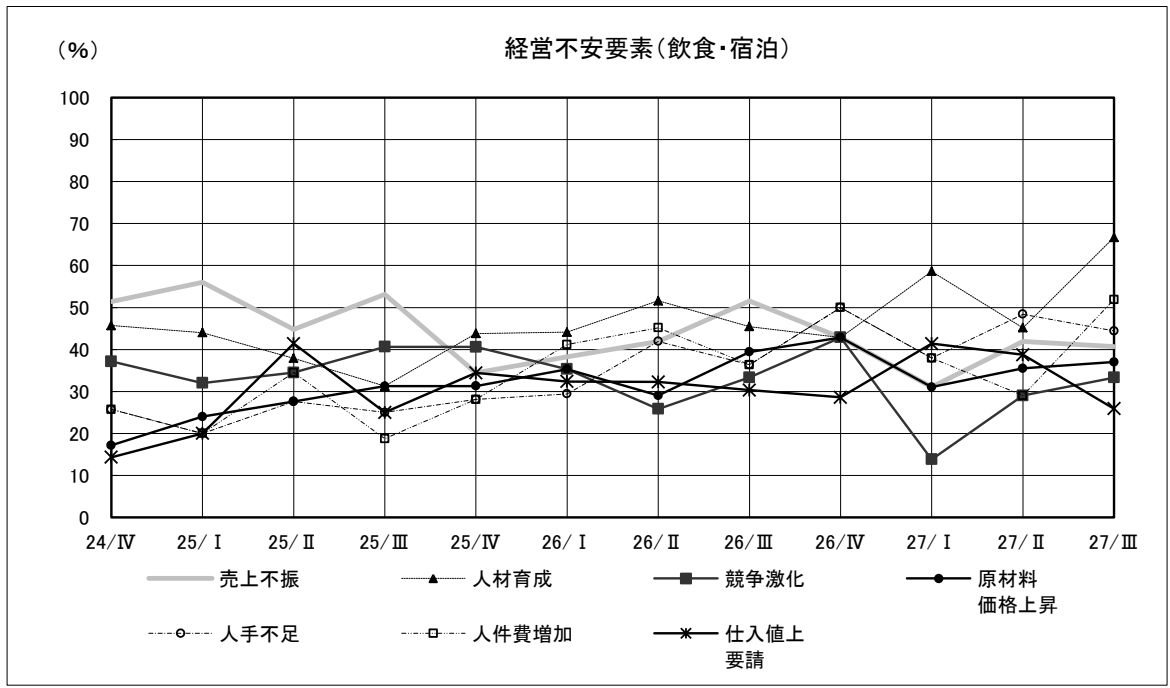


図 54. 経営上の不安要素・サービス

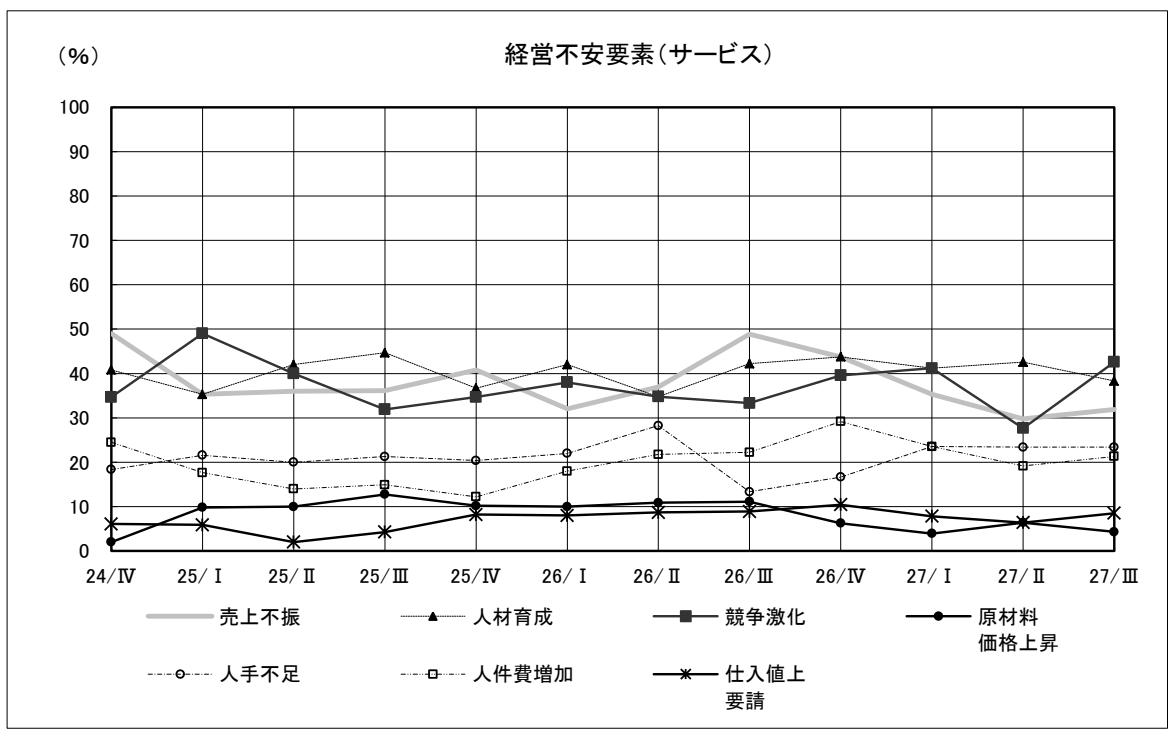


図 55. 経営上の不安要素・建設

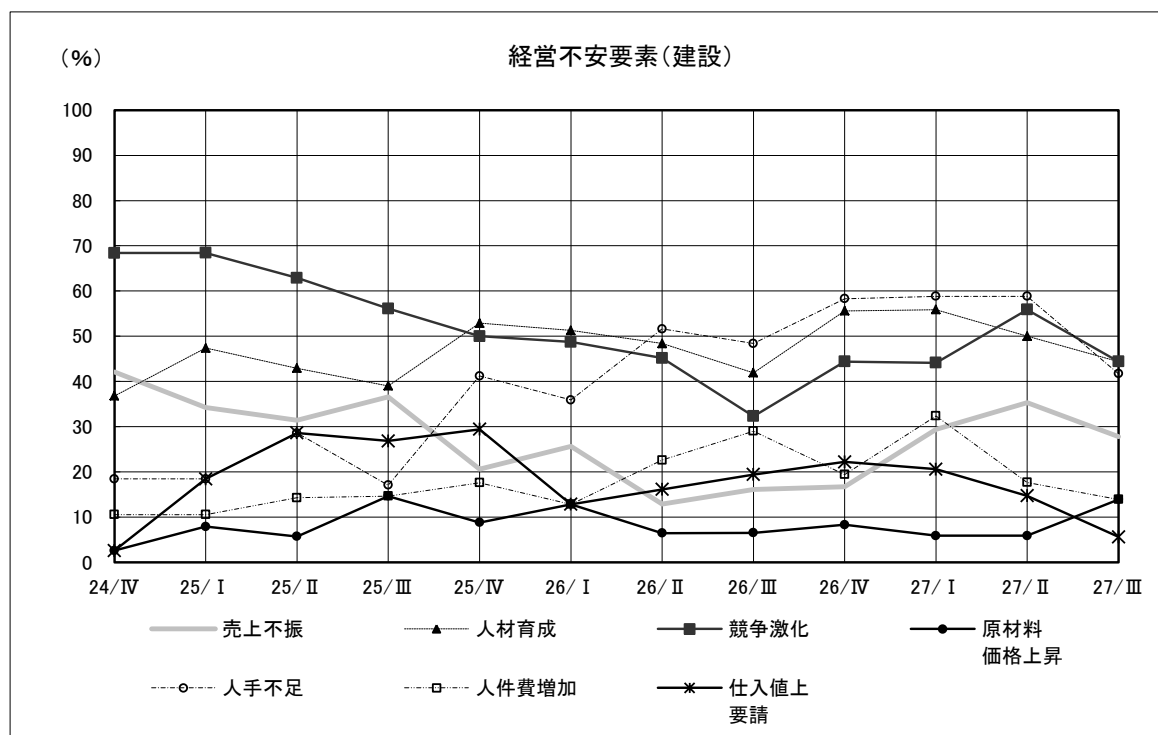


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	182 38.8%	208 44.3%	195 41.6%	59 12.6%	77 16.4%	103 22.0%	12 2.6%	75 16.0%
製造業	72 32.0%	110 48.9%	92 40.9%	27 12.0%	41 18.2%	66 29.3%	6 2.7%	38 16.9%
西陣	3 13.0%	19 82.6%	3 13.0%	3 13.0%	5 21.7%	13 56.5%	0 0.0%	7 30.4%
染色	5 17.2%	18 62.1%	12 41.4%	2 6.9%	8 27.6%	15 51.7%	1 3.4%	4 13.8%
印刷	17 60.7%	17 60.7%	8 28.6%	7 25.0%	6 21.4%	8 28.6%	0 0.0%	9 32.1%
窯業	2 14.3%	8 57.1%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
化学	6 27.3%	11 50.0%	11 50.0%	0 0.0%	3 13.6%	6 27.3%	1 4.5%	3 13.6%
金属	6 27.3%	7 31.8%	14 63.6%	2 9.1%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	3 13.6%
機械	12 40.0%	8 26.7%	19 63.3%	4 13.3%	2 6.7%	0 0.0%	1 3.3%	5 16.7%
その他の製造	21 36.8%	22 38.6%	23 40.4%	9 15.8%	16 28.1%	19 33.3%	3 5.3%	7 12.3%
非製造業	110 45.1%	98 40.2%	103 42.2%	32 13.1%	36 14.8%	37 15.2%	6 2.5%	37 15.2%
卸売	26 41.9%	31 50.0%	19 30.6%	9 14.5%	15 24.2%	12 19.4%	1 1.6%	9 14.5%
小売	29 58.0%	23 46.0%	18 36.0%	4 8.0%	7 14.0%	8 16.0%	0 0.0%	13 26.0%
情報通信	10 45.5%	8 36.4%	14 63.6%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%
飲食・宿泊	9 33.3%	11 40.7%	18 66.7%	1 3.7%	7 25.9%	10 37.0%	1 3.7%	1 3.7%
サービス	20 42.6%	15 31.9%	18 38.3%	5 10.6%	4 8.5%	2 4.3%	2 4.3%	4 8.5%
建設	16 44.4%	10 27.8%	16 44.4%	9 25.0%	2 5.6%	5 13.9%	2 5.6%	7 19.4%
観光関連	17 37.0%	16 34.8%	27 58.7%	1 2.2%	13 28.3%	14 30.4%	2 4.3%	2 4.3%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	44 9.4%	59 12.6%	93 19.8%	91 19.4%	41 8.7%	13 2.8%	469 100.0%	12
製造業	26 11.6%	24 10.7%	32 14.2%	36 16.0%	19 8.4%	4 1.8%	225 100.0%	5
西陣	2 8.7%	4 17.4%	1 4.3%	3 13.0%	5 21.7%	0 0.0%	23 100.0%	2
染色	0 0.0%	3 10.3%	3 10.3%	3 10.3%	3 10.3%	1 3.4%	29 100.0%	0
印刷	0 0.0%	4 14.3%	3 10.7%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	3 21.4%	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	1
化学	4 18.2%	2 9.1%	4 18.2%	6 27.3%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%	0
金属	3 13.6%	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%	0
機械	8 26.7%	4 13.3%	5 16.7%	7 23.3%	2 6.7%	0 0.0%	30 100.0%	1
その他の製造	6 10.5%	4 7.0%	9 15.8%	11 19.3%	6 10.5%	3 5.3%	57 100.0%	1
非製造業	18 7.4%	35 14.3%	61 25.0%	55 22.5%	22 9.0%	9 3.7%	244 100.0%	7
卸売	4 6.5%	8 12.9%	6 9.7%	11 17.7%	13 21.0%	4 6.5%	62 100.0%	3
小売	0 0.0%	5 10.0%	7 14.0%	10 20.0%	5 10.0%	0 0.0%	50 100.0%	2
情報通信	1 4.5%	5 22.7%	10 45.5%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	0
飲食・宿泊	1 3.7%	6 22.2%	12 44.4%	14 51.9%	2 7.4%	2 7.4%	27 100.0%	0
サービス	6 12.8%	5 10.6%	11 23.4%	10 21.3%	1 2.1%	3 6.4%	47 100.0%	0
建設	6 16.7%	6 16.7%	15 41.7%	5 13.9%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	2
観光関連	1 2.2%	7 15.2%	20 43.5%	20 43.5%	3 6.5%	1 2.2%	46 100.0%	2

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	11	(2.3)
明治	10	(2.1)
大正	9	(1.9)
昭和19年以前	26	(5.4)
20 ～ 39 年	195	(40.5)
40 ～ 49 年	83	(17.3)
昭和50年以降	82	(17.0)
平成	65	(13.5)
無回答	0	(0.0)
不明	0	(0.0)
合計	481	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	475	(98.8)
個人	6	(1.2)
無回答	0	(0.0)
合計	481	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	230	(47.8)	非製造業	251	(52.2)
西陣	25	(5.2)	卸売	65	(13.5)
染色	29	(6.0)	小売	52	(10.8)
印刷	28	(5.8)	情報通信	22	(4.6)
窯業	15	(3.1)	飲食・宿泊	27	(5.6)
化学	22	(4.6)	サービス	47	(9.8)
金属	22	(4.6)	建設	38	(7.9)
機械	31	(6.4)	不明	0	(0.0)
その他の製造	58	(12.1)	合計	481	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	48	(10.0)
-----------------------	----	----------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	1	(0.2)	3001 ～ 5000	83	(17.5)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001～1億円	39	(8.2)
201 ～ 500	23	(4.8)	1億円超	3	(0.6)
501 ～ 1000	186	(39.2)	無回答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	140	(29.5)	合計	475	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	58	(12.1)	50 ～ 99 人	64	(13.3)
5 ～ 9 人	85	(17.7)	100 人以上	36	(7.5)
10 人～ 19 人	103	(21.4)	無回答	1	(0.2)
20 人～ 29 人	57	(11.9)	合計	481	(100.0)
30 ～ 49 人	77	(16.0)			

第116回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成27年9月18日（金）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名															
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話				—			
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数						人		
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造														
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店・宿泊・Mサービス・N建設														
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業 商品を扱う卸売業 小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関係の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。														
主な製品、商品、サービス															
御記入者	部課：	役職：				氏名：									

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期 間	平成27年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成27年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴社の業況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益（税引前）		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同業他社との競争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」を営む方のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 円安 | 14 その他() | |

（裏面も御記入ください。）

(5) 貴社におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取組状況についてお尋ねします。

京都市では、「仕事」と「生活」の調和に「地域活動への参加」を加えた新しい京都発の「真のワーク・ライフ・バランス」の実現を提案しています。ワーク・ライフ・バランスの推進は、仕事の効率化や従業員の満足度・就業意欲・能力などの向上につながり、職場の生産性向上につながると言われています。また、そのような職場は、優秀な人材を惹きつけ、様々な人材の確保を可能にするため、人材確保が困難になりがちな中小企業において、取組の利点は大きいと期待できるとされています。

A 貴社における介護休業、介護休暇、育児休業の取得の有無及び取得人数をお答えください。
また、②～⑤で「いる」と回答された方は、⑥のどのように対応されたかに○印をお付けください。

①	家族介護を行っている従業員はいますか。	いる (人)	いない	把握せず
②	過去5年間に介護休業を取得した従業員はいますか。	いる (女性 人 男性 人)	いない	いない
③	過去5年間に介護休暇を取得した従業員はいますか。	いる (女性 人 男性 人)	いない	いない
④	過去5年間に育児休業を取得した従業員はいますか。	いる (女性 人 男性 人)	いない	いない
⑤	過去5年間に育児による短時間勤務を取得した従業員はいますか。	いる (女性 人 男性 人)	いない	いない
⑥	1 代替要員の採用 2 既存従業員でカバー 3 その他【 】			

※介護休業(法第11条～15条)…対象家族1人につき要介護状態に至るごとに1回、通算して93日まで休業可。

※介護休暇(法第16条の5～6)…対象家族が1人であれば年に5日まで、2人以上であれば年に10日まで1日単位で休暇取得可。

B 従業員の真のワーク・ライフ・バランスに対するニーズを把握するため、どのようなことを行っていますか。
該当するものを以下から選び、○印をお付け下さい。(複数回答可)

1 相談窓口の設置	2 労使の話し合い	3 アンケート等による調査
4 職場の所属長からのヒアリング	5 職場内のコミュニケーション	6 特に行っていない

C 貴社における真のワーク・ライフ・バランス推進の取組状況についてお伺いします。

①～⑨のそれぞれの取組について、該当するものに○印をお付けください。それらに取り組む上での課題を⑩に、また、①～⑨のいずれにも取り組まれていない場合はその理由を⑪に御記入ください。

①	法定を超えるような先進的な休暇・休業制度の導入	取組中・検討中・検討していない
②	短時間・フレックス勤務等従業員が働きやすい制度の導入	取組中・検討中・検討していない
③	在宅勤務制度等多様な働き方のできる制度の導入	取組中・検討中・検討していない
④	業務の効率化を図るシステムの導入	取組中・検討中・検討していない
⑤	「ノー残業デー」等所定時間外労働の削減のための取組	取組中・検討中・検討していない
⑥	職場意識の改善を目的とした管理職等を対象とした研修	取組中・検討中・検討していない
⑦	有給休暇の取得促進に向けた取組	取組中・検討中・検討していない
⑧	従業員のボランティア活動に対する休暇制度等の支援	取組中・検討中・検討していない
⑨	その他の取組【 】	取組中・検討中・検討していない
⑩	課題【 】	
⑪	理由【 】	

D 貴社が真のワーク・ライフ・バランスに取り組むことにより、貴社にどのようなメリットがあるとお考えですか。
該当すると思われるものを以下から選び、○印をお付け下さい。(複数回答可)

1 仕事の能率向上	2 従業員の健康増進	3 従業員満足度の向上	4 企業イメージの向上
5 優秀な人材の採用	6 採用した人材の定着	7 多様な人材の活用による社内の活性化	
8 時間外・休日労働減少による人件費の節減	9 分からない	10 その他	
【その他】の内容について御記入ください			

E 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金制度を御存知ですか。

1 補助金を申請したことがある。	2 知っており、今後申請を検討している。
3 知っているが、申請は考えていない。	4 制度自体知らなかった。
5 その他()	

京都市では、「真のワーク・ライフ・バランス」を推進し、職場環境整備に取り組むきっかけづくりとするための補助金を交付しています。詳しくは、「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金で検索してください。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000181599.html>

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)